

佐賀県文化財調査報告書第 198 集

佐賀県内遺跡確認調査報告書 29

平成 24（2012）年 3 月

佐 賀 県 教 育 委 員 会

はじめに

この報告書は、佐賀県内で実施される農林業基盤整備事業、西九州自動車道建設事業、有明海沿岸道路整備事業、九州新幹線西九州ルート建設事業、その他の国・県所管等の公共事業の施工に先立ち実施した、埋蔵文化財の確認調査等の結果をまとめたものです。

本県には埋蔵文化財が多数存在しており、県教育委員会では、これらの貴重な文化財の保護と開発との調整を円滑に進めるために、協議があった開発予定地について現地踏査を実施しました。これにより遺跡の存在が予測される等、埋蔵文化財の有無・性格等を調査する必要があるものについては試掘・確認調査を実施し、遺跡の内容把握に努め、これをもとに埋蔵文化財の保護を進めています。

今回、農林業基盤整備事業、その他の国・県所管の公共事業の施工予定地区について文化財確認調査を行った結果、縄文時代から近世までの遺跡が確認されました。

本書を、文化財を国民の共有財産として大切に保存していくための資料として活用していただければ幸いです。

この調査に当たって、文化庁、農林水産省九州農政局、国土交通省九州地方整備局、国・県各事業関係機関、各市町教育委員会・事業担当課、並びに地元関係各位の深い御理解と御協力をいただき、心からお礼申し上げます。

平成 24 年 3 月

佐賀県教育委員会
教育長 川崎俊広

例 言

- 1 本書は、国庫補助金（県内遺跡発掘調査等事業）を受け、平成 21 年度と平成 22 年度に実施した農林業基盤整備事業、西九州自動車道建設事業、有明海沿岸道路整備事業、九州新幹線西九州ルート建設事業、その他国・県所管の公共事業等に伴う文化財確認調査等に関する調査結果報告書である。
- 2 調査は、市町教育委員会の協力を得て、佐賀県教育委員会が行った。
- 3 トレンチ（試掘坑）位置図作成、遺構実測、写真撮影等の現地における調査記録作成作業は、調査員が行った。
- 4 調査記録の整理・報告書作成作業は、佐賀県教育庁社会教育・文化財課文化財調査研究資料室で行い、一部の作業については業者に委託した。
- 5 本書に用いた方位は、原則として座標北とした。
- 6 挿図中、トレンチを□■で表記したもののうち、■は遺構・遺物が確認されたトレンチ、□は遺構・遺物が確認されなかったトレンチを示す。ただし、遺物の出土が表土・客土・攪乱層からのみであった場合は□で表す。
- 7 本書の内容は、調査員から提出された調査結果報告をもとに編集者がとりまとめた。その際、報告等の原稿で表記等について統一を図る必要性等から一部表現を変えたところがある。これらの文責は編集者に帰す。
- 8 本書の執筆は、各調査に係る部分については、各項目の最初に記す調査担当者が行い、それ以外のもの及び編集は、徳永貞紹・御厨廉平が淵ノ上隆介の協力を得て行った。
- 9 図 2・4・10・13・17・21・26・29・34・36・38 は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 25000（地図画像）を使用した『佐賀県遺跡地図』（承認番号 平 21 業複、第 755 号）の一部を転載したものである。

目次

本文目次

I	調査に至る経過	1
1	農林業基盤整備事業に係る文化財確認調査	1
2	その他の公共事業に係る文化財確認調査	1
1)	西九州自動車道建設事業に係る文化財確認調査	1
2)	有明海沿岸道路整備事業に係る文化財確認調査	2
3)	九州新幹線西九州ルート建設事業に係る文化財確認調査	2
4)	那珂川総合開発事業に係る文化財確認調査	2
5)	その他	2
3	調査組織	2
II	平成 21・22 年度実施の文化財確認調査の概要	13
1	農林業基盤整備事業に係る文化財確認調査	13
1)	三神地区の調査	13
(1)	みやき町	13
2)	佐城地区の調査	17
(1)	佐賀市	17
3)	杵西地区の調査	30
(1)	白石町	30
(2)	伊万里市	36
4)	藤津地区の調査	47
(1)	鹿島市	47
2	その他の公共事業に係る文化財確認調査	55
1)	西九州自動車道建設事業に係る文化財確認調査	55
(1)	伊万里市	55
2)	有明海沿岸道路整備事業に係る文化財確認調査	79
(1)	佐賀市	79
(2)	小城市	93
3)	九州新幹線西九州ルート建設事業に係る文化財確認調査	97
(1)	嬉野市	97
4)	那珂川総合開発事業に係る文化財確認調査	101
(1)	吉野ヶ里町	101
III	まとめ	106

挿図目次

図 1	平成 21・22 年度佐賀県内遺跡確認調査対象地区 (1/600,000)	12
図 2	県営かんがい排水事業 三養基地区 位置 (1/25,000)	14
図 3	県営かんがい排水事業 三養基地区 調査区 (1/5,000)	15
図 4	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 位置 (1/25,000)	18
図 5	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (1) 川上上流工区 調査区 (1/1,500)	19
図 6	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (1) 今山工区 調査区 (1/1,500)	20
図 7	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (2) 吐水槽その他工区 調査区 (1/2,000)	23
図 8	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (2) 江熊野工区 調査区 (1/800)	24
図 9	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (3) 吐水槽土捨場 調査区 (1/1,000)	28
図 10	県営地盤沈下対策事業 白石平野地区 位置 (1/25,000)	31
図 11	県営地盤沈下対策事業 白石平野地区 (1) 調査区 (1/500)	32
図 12	県営地盤沈下対策事業 白石平野地区 (2) 調査区 (1/1,000)	34
図 13	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 位置 (1/30,000)	37
図 14	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 丸古場ほ場整備 調査区 (1/2,000)	38
図 15	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 古子中部農道 位置 (1/1,000)	42
図 16	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 野添農業集落道 調査区 (1/1,000)	45
図 17	中山間地域総合整備事業 鹿島地区 位置 (1/25,000)	48
図 18	中山間地域総合整備事業 鹿島地区 大宮田尾地区ほ場整備 調査区 (1/4,000)	49
図 19	中山間地域総合整備事業 鹿島地区 一本松地区ほ場整備 調査区 (1/3,000)	51
図 20	中山間地域総合整備事業 鹿島地区 本浦・善王寺地区ほ場整備 調査区 (1/5,000)	53
図 21	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 位置 (1/30,000)	56
図 22	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 重橋地区 調査区 (1/2,000)	57
図 23	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 原屋敷地区 調査区 (1/2,000)	60
図 24	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招下地区 (1) (2) 調査区 (1/2,000)	63
図 25	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招上地区 調査区 (1/2,000)	67
図 26	西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 位置 (1/25,000)	72
図 27	西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 久原地区 (1) (2) 調査区 (1/2,000)	73
図 28	西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 立岩地区 調査区 (1/2,000)	77
図 29	有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区 位置 (1/25,000)	81
図 30	有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区 調査区 (1/1,000)	82
図 31	有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区 No. 7・8 トレンチ (1/150、1/50)	83
図 32	三重津海軍所跡・西寺井遺跡 出土遺物 1 (1/2、1/3、1/4)	88
図 33	三重津海軍所跡・西寺井遺跡 出土遺物 2 (1/2、1/3、1/4)	89
図 34	有明海沿岸道路整備事業 佐賀福富道路 道免地区 位置 (1/25,000)	94
図 35	有明海沿岸道路整備事業 佐賀福富道路 道免地区 調査区 (1/2,000)	95
図 36	九州新幹線西九州ルート建設事業 俵坂トンネル東工区 工事ヤード 位置 (1/25,000)	98
図 37	九州新幹線西九州ルート建設事業 俵坂トンネル東工区 工事ヤード 調査区 (1/2,000)	99
図 38	那珂川総合開発事業 五ヶ山ダム 小川内地区 位置 (1/25,000)	103
図 39	那珂川総合開発事業 五ヶ山ダム 小川内地区 調査区 (1/500)	104

表目次

表 1	平成 21 年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査対象地区	4
表 2	平成 22 年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査対象地区	8
表 3	平成 21・22 年度佐賀県内遺跡確認調査対象地区	12
表 4	三重津海軍所跡・西寺井遺跡 出土遺物	92
表 5	平成 21 年度佐賀県内遺跡確認調査結果	107
表 6	平成 22 年度佐賀県内遺跡確認調査結果	108

写真図版目次

写真図版 1	県営かんがい排水事業 三養基地区	16
写真図版 2	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (1)	21
写真図版 3	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (2) 1	25
写真図版 4	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (2) 2	26
写真図版 5	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (3)	29
写真図版 6	県営地盤沈下対策事業 白石平野地区	35
写真図版 7	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 丸古場ほ場整備 1	39
写真図版 8	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 丸古場ほ場整備 2	40
写真図版 9	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 古子中部農道	43
写真図版 10	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 野添農業集落道	46
写真図版 11	中山間地域総合整備事業 鹿島地区 本浦・善王寺地区ほ場整備	54
写真図版 12	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 重橋地区	58
写真図版 13	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 原屋敷地区・府招下地区 (1)	64
写真図版 14	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招下地区 (2)	65
写真図版 15	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招上地区	68
写真図版 16	西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 久原地区 (1)	74
写真図版 17	西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 久原地区 (2)	75
写真図版 18	西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 立岩地区	78
写真図版 19	有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区 1	84
写真図版 20	有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区 2	85
写真図版 21	有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区 3	86
写真図版 22	有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区 4	87
写真図版 23	三重津海軍所跡・西寺井遺跡 出土遺物 1	90
写真図版 24	三重津海軍所跡・西寺井遺跡 出土遺物 2	91
写真図版 25	有明海沿岸道路整備事業 佐賀福富道路 道免地区	96
写真図版 26	九州新幹線西九州ルート建設事業 俵坂トンネル東工区 工事ヤード	100
写真図版 27	那珂川総合開発事業 五ヶ山ダム 小川内地区	105

I 調査に至る経過

1 農林業基盤整備事業に係る文化財確認調査

1) 農林業基盤整備事業に係る協議

農林業基盤整備事業については、昭和 53 年 4 月（昭和 59 年 4 月 1 日一部改正）に県農林部（当時）と県教育委員会が交わした「農業基盤整備事業に係る埋蔵文化財の保護に関する確認事項」に基づき、翌年度工事予定地区に関し文化財確認調査の有無等について協議を実施している。

国の機関（農林水産省九州農政局の事業所や林野庁九州森林管理局の森林管理署等）や県農林事業担当課あて事業照会を行い、これに対する事業協議を受けて、関係市町教育委員会と協力して検討を行った。これらの事業は、九州農政局（筑後川下流農業水利事務所・佐賀中部農地防災事業所・筑後川下流白石平野農業水利事業所）・林野庁九州森林管理局（佐賀森林管理署）所管の国営事業、県土づくり本部・農林水産商工本部所管の県営事業、市町所管の事業等に区分される。

これらの検討・調整の結果、施工予定地区のうち、予備調査（分布・試掘・確認調査）が必要となった地区は、平成 21 年度においては、三神地区 2 市 3 町（鳥栖市・神埼市・基山町・みやき町・吉野ヶ里町）の 322.34ha、佐城地区 3 市（佐賀市・多久市・小城市）の 277.05ha、杵西地区 2 市 4 町（伊万里市・武雄市・有田町・大町町・江北町・白石町）の 338.41ha、東松地区 1 市（唐津市）の 30.20ha、藤津地区 2 市 1 町（鹿島市・嬉野市・太良町）の 15.43ha の合計 983.43ha（表 1）、平成 22 年度においては、三神地区 2 市 4 町（鳥栖市・神埼市・基山町・みやき町・吉野ヶ里町・上峰町）の 17.10ha、佐城地区 3 市（佐賀市・多久市・小城市）の 307.92ha、杵西地区 2 市 4 町（伊万里市・武雄市・有田町・大町町・江北町・白石町）の 427.13ha、東松地区 1 市（唐津市）の 1.92ha、藤津地区 2 市 1 町（鹿島市・嬉野市・太良町）の 1.53ha の合計 755.60ha である（表 2）。

2) 文化財確認調査

協議を行った施工計画について現地踏査などの結果をもとに検討を行うと共に、当該市町（教育委員会・農林担当課）、県（県土づくり本部・農林水産商工本部の事業所管課と農林事務所）、農林水産省九州農政局（筑後川下流農業水利事務所、佐賀中部農地防災事業所）と、「農林業基盤整備事業等に係る文化財の保護に関する第 1 回協議会」を県教育委員会が主催して開催した。第 1 回協議会においては、事業計画に関わる文化財の取扱いを協議し、文化財確認調査が必要と認められた地区については調査の円滑な実施方法について調整を図った。確認調査は、地形や工事計画に応じて適宜設定し、埋蔵文化財の有無、性格、範囲などを調査した。

3) 農林業基盤整備事業と文化財保護に関する調整

例年、これらの確認調査の結果を受けて、12 月に次年度の農林業基盤整備事業に係る文化財の保護に関する第 2 回協議会を開催していたが、確認された遺跡が少なかったため、全体協議から個別協議に切り替え、確認調査の結果をもとに、文化財の保存について工事計画との調整を図った。

2 その他の公共事業に係る文化財確認調査

農林業基盤整備事業以外の国・県主体の公共事業について平成 21・22 年度に確認調査を実施したのは、国土交通省九州地方整備局佐賀国道事務所所管の西九州自動車道建設事業（唐津伊万里道路、伊万里松浦道路）、国土交通省九州地方整備局所管の有明海沿岸道路整備事業（大川佐賀道路）、佐賀県所管の有明海沿岸道路整備事業（佐賀福富道路）、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構所管の九州新幹線西九州ルート建設事業、福岡県五ヶ山ダム建設事務所所管の那珂川総合開発事業（五ヶ山ダム建設）に係る確認調査である。

1) 西九州自動車道建設事業に係る文化財確認調査

西九州自動車道は、福岡県福岡市から糸島市、佐賀県唐津市、伊万里市、長崎県松浦市、佐世保市を經由して佐賀県武雄市に至り九州横断自動車道長崎大分線と合流する総延長約 150km の高規格幹線道路であり、国土交通省九州地方整備局の事業である。佐賀県内の区間は、唐津道路（福岡県鹿家 IC ～唐津 IC）、唐津伊万里道路（唐津 IC ～伊万里東 IC）、伊万里道路（伊万里東 IC ～伊万里西 IC）、伊万里松浦道路（伊万里西 IC ～長崎県松浦 IC）の

4 区間に分かれており、唐津道路については暫定 2 車線で供用されている。平成 6 年度から佐賀県教育委員会が路線予定地の踏査及び確認調査を実施し、本格的な発掘調査については平成 7 年度から現在に至るまで継続中である。

平成 21・22 年度の確認調査は、唐津伊万里道路の 5 箇所と伊万里松浦道路の 3 箇所について実施した。

2) 有明海沿岸道路整備事業に係る文化財確認調査

有明海沿岸道路は、福岡県大牟田市からみやま市、柳川市、大川市、佐賀県佐賀市、小城市、杵島郡白石町を経由して鹿島市に至る総延長約 55km の地域高規格道路である。佐賀県内の区間は、大川佐賀道路（大野島 IC ～佐賀市嘉瀬町）、佐賀福富道路（佐賀市嘉瀬町～白石町福富）、福富佐賀道路（白石町福富～鹿島市）の 3 区間に分かれており、大川佐賀道路は国土交通省九州地方整備局の事業、佐賀福富道路と福富佐賀道路については佐賀県の事業として進められている。

平成 21・22 年度の確認調査は、大川佐賀道路の 1 箇所と佐賀福富道路の 1 箇所について実施した。

3) 九州新幹線西九州ルート建設事業に係る文化財確認調査

九州新幹線は、全国新幹線鉄道整備法に基づく整備新幹線であり、福岡市から鳥栖市を経由して長崎市にいたる西九州ルートが独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局により建設中である。西九州ルートについては、武雄温泉―諫早間が平成 20 年 4 月に着工しており、長崎県との県境を貫く俵坂トンネルを中心に工事が進められている。

平成 21・22 年度の確認調査は、俵坂トンネル東工区工事ヤードの 1 箇所について実施した。

4) 那珂川総合開発事業に係る文化財確認調査

五ヶ山ダムは、那珂川水系那珂川の福岡県筑紫郡那珂川町大字五ヶ山地先に福岡県が建設を進めている多目的ダムで、那珂川総合開発事業の一環をなすものである。ダム軸は福岡県筑紫郡那珂川町大字五ヶ山に位置するが、その貯水域並びに影響範囲は五ヶ山地内のみならず佐賀県神埼郡吉野ヶ里町松隈の小川内地区に及ぶ。

五ヶ山ダム事業に係る埋蔵文化財の確認調査については、福岡県五ヶ山ダム建設事務所長からの依頼を受けて、平成 17 年度から平成 19 年度に実施した確認調査で中近世集落跡の遺構・遺物が確認され、旧小川内集落中枢部を小川内遺跡、旧小川内小学校跡一帯を小川内小学校遺跡として周知化した。

平成 21・22 年度の確認調査は、ダム水没区域内の未調査地区 1 箇所について実施した。

5) その他

国土交通省佐賀国道事務所所管の事業については全体調整会議を開催し、その後当該市町との個別協議を進めた。また、佐賀県県土づくり本部所管の土木事業については、県内の各土木事務所単位で協議を行い、事業計画と文化財の保護との調整を図り、当該市町教育委員会で確認調査を行った。

3 調査組織（平成 21・22 年度）

調査主体 佐賀県教育委員会

局 長	江島 秋人	社会教育・文化財課長
次 長	七田 忠昭	社会教育・文化財課参事
	蒲原 宏行	社会教育・文化財課副課長（平成 21 年度）
	寺島 克敏	社会教育・文化財課副課長（平成 21 年度）
	森田 孝志	社会教育・文化財課副課長（平成 22 年度）
	古川 英生	社会教育・文化財課副課長（平成 22 年度）
庶務会計	磯口 力	社会教育・文化財課吉野ヶ里担当係長（平成 21 年度）
	上村 亜紀子	社会教育・文化財課吉野ヶ里担当主査（平成 21 年度）
	五島 昌也	社会教育・文化財課文化財指導・世界遺産推進担当係長
	吉田 顕徳	社会教育・文化財課文化財指導・世界遺産推進担当副主査（平成 21 年度）
	古川 直樹	社会教育・文化財課地域・家庭教育担当主査（平成 21 年度）
	島ノ江 喜昭	社会教育・文化財課吉野ヶ里遺跡担当主幹（平成 22 年度）

	黒田 康裕	社会教育・文化財課吉野ヶ里遺跡担当主事（平成 22 年度）
	井手 弘幸	社会教育・文化財課文化財指導・世界遺産推進担当主査（平成 22 年度）
	宮本 宏之	社会教育・文化財課地域・家庭教育担当主査（平成 22 年度）
調査主任	徳富 則久	社会教育・文化財課文化財指導・世界遺産推進担当主幹
調査員	徳永 貞紹	社会教育・文化財課文化財指導・世界遺産推進担当係長
	宮武 正登	社会教育・文化財課文化財指導・世界遺産推進担当主査
	細川 金也	社会教育・文化財課文化財指導・世界遺産推進担当主査
	古川 直樹	社会教育・文化財課文化財指導・世界遺産推進担当主査（平成 21 年度）
	吉富 清昭	社会教育・文化財課文化財指導・世界遺産推進担当主査
	徳島 崇	社会教育・文化財課文化財指導・世界遺産推進担当副主査（平成 22 年度）
	樋口 秀信	社会教育・文化財課文化財調査担当主幹（平成 21 年度）
	市川 浩文	社会教育・文化財課文化財調査担当主査
	井上 倫生	社会教育・文化財課文化財調査担当主査（平成 22 年度）

調査協力

佐賀市教育委員会	唐津市教育委員会	鳥栖市教育委員会	多久市教育委員会	
伊万里市教育委員会	武雄市教育委員会	鹿島市教育委員会	小城市教育委員会	
嬉野市教育委員会	神埼市教育委員会	吉野ヶ里町教育委員会	基山町教育委員会	
上峰町教育委員会	みやき町教育委員会	玄海町教育委員会	有田町教育委員会	
大町町教育委員会	江北町教育委員会	白石町教育委員会	太良町教育委員会	地元各位

（農林業基盤整備事業）

農林水産省九州農政局：筑後川下流農業水利事務所 佐賀中部農地防災事業所
筑後川下流白石平野農業水利事業所

林野庁九州森林管理局：佐賀森林管理署

佐賀県県土づくり本部：農地整備課 農山漁村課 森林整備課 下水道課

佐賀県農林水産商工本部：生産支援課 農産課 園芸課 畜産課 林業課 水産課

佐賀中部農林事務所 鳥栖農林事務所 武雄農林事務所 鹿島農林事務所

伊万里農林事務所 唐津農林事務所

各市町農林担当課 富士大和森林組合

（その他公共事業）

国土交通省九州地方整備局：佐賀国道事務所 福岡国道事務所 武雄河川事務所 筑後川河川事務所

独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構九州新幹線建設局

福岡県五ヶ山ダム建設事務所

佐賀県県土づくり本部：建設・技術課 まちづくり推進課 下水道課 河川砂防課 道路課

佐賀土木事務所 神埼土木事務所 鳥栖土木事務所 唐津土木事務所 伊万里土木事務所 武雄土木事務所

鹿島土木事務所 有明海沿岸道路整備事務所

佐賀県教育庁：教育支援課

表 1 平成 21 年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査対象地区

地区	市町名	対象地区名	事業名	調査対象 面積 (ha)	遺跡面積 (㎡)	遺跡名
三 神 地 区	鳥栖市	鳥栖地区	県営かんがい排水事業	0.10	0.00	江島遺跡
	鳥栖市	本村	予防治山事業	0.20	0.00	未周知
	鳥栖市	九千部山横断線 2－2工区	道整備交付金事業	0.20	0.00	勝尾城筑紫氏遺跡
	鳥栖市	九千部山横断線 2－1工区	道整備交付金事業	0.20	0.00	勝尾城筑紫氏遺跡
	神埼市	四ノ角	復旧治山事業	0.50	0.00	未周知
	神埼市	犬井谷	復旧治山事業	0.10	0.00	未周知
	神埼市	蓮畑	復旧治山事業	0.20	0.00	未周知
	神埼市	岩屋	復旧治山事業	0.10	0.00	未周知
	神埼市	川頭	復旧治山事業	0.10	0.00	未周知
	神埼市	荒瀬線	森林環境保全整備事業	0.05	0.00	未周知
	吉野ヶ里町	吉野ヶ里南部	経営体育成基盤整備事業	318.00	0.00	未周知
	吉野ヶ里町	折敷野	復旧治山事業	0.50	0.00	未周知
	基山町	向江	復旧治山事業	0.20	0.00	未周知
	基山町	吉ヶ谷	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	基山町	園部	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	基山町	白木谷	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	基山町	寺ノ谷	予防治山事業	0.20	0.00	未周知
	みやき町	三養基地区	県営かんがい排水事業	0.08	0.00	未周知
	みやき町	三養基地区	県営かんがい排水事業	0.25	0.00	未周知
	みやき町	三養基地区	県営かんがい排水事業	0.57	0.00	若宮八幡神社遺跡、本村遺跡
	みやき町	新村地区	農山漁村活性化プロジェクト交付金 (基盤整備促進事業)	0.43	0.00	未周知
	みやき町	蘆原	予防治山事業	0.06	0.00	未周知
	合計			322.34	0.00	
佐 城 地 区	佐賀市 小城市	筑後川下流地区	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高城線	1.94	1.40	東山田一本杉遺跡、織島東分 遺跡、竜王遺跡ほか
	佐賀市	大授搦・大搦	経営体育成基盤整備事業	40.00	0.00	未周知
	佐賀市	蓮池	経営体育成基盤整備事業	1.45	0.00	柴尾橋下流遺跡
	佐賀市	久保田	地域水田農業支援緊急整備事業	19.00	0.00	上恒安遺跡、後藤館跡
	佐賀市	諸富	地域水田農業支援緊急整備事業	30.00	0.00	太田本村遺跡、唐人廟遺跡ほか
	佐賀市	東与賀	地域水田農業支援緊急整備事業	8.00	0.00	未周知
	佐賀市	大詫間	地域水田農業支援緊急整備事業	52.00	0.00	未周知
	佐賀市	佐賀南部	地域水田農業支援緊急整備事業	20.00	0.00	未周知
	佐賀市	富士南部 (柚木 1 号農道)	中山間地域総合整備事業	0.20	0.00	未周知
	佐賀市	富士南部 (下小副川 1 号水路)	中山間地域総合整備事業	0.10	0.00	谷田城跡
	佐賀市	諸富	漁業経営構造改善事業	0.08	0.00	未周知
	佐賀市	南川副	漁業経営構造改善事業	0.64	0.00	未周知
	佐賀市	久保田	漁業経営構造改善事業	0.30	0.00	未周知
	佐賀市	東与賀	漁業経営構造改善事業	0.20	0.00	未周知
	佐賀市	鈴熊	復旧治山事業	0.10	0.00	梅ヶ谷遺跡
	佐賀市	金立山	復旧治山事業	0.10	0.00	大門古墳群
	佐賀市	下小副川	予防治山事業	0.10	0.00	未周知

表 1 平成 21 年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査対象地区

地区	市町名	対象地区名	事業名	調査対象面積 (ha)	遺跡面積 (㎡)	遺跡名
佐城地区	佐賀市	一本松	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	佐賀市	鍋島東地区	県営ほ場整備事業土壌調査	89.00	0.00	蛸久遺跡、津留遺跡、四郎丸遺跡、角目遺跡
	小城市 多久市	筑後川下流地区	筑後川下流農業水利事業 多久導水路	2.50	0.00	大工田遺跡、大工田古墳群、 上田町遺跡、羽佐間遺跡ほか
	多久市	鬼ヶ鼻	地すべり防止事業	0.10	0.00	未周知
	小城市	高柳	筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業 白石平野揚水機場建設工事	1.01	0.00	大戸ヶ里遺跡に近接
	小城市	高柳	筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業 白石平野揚水機場ポンプ製作据付建設工事	0.83	0.00	大戸ヶ里遺跡に近接
	小城市	三日月北部 (5号用水路)	土地改良総合整備事業	0.10	0.00	土生遺跡
	小城市	三日月北部 (20号用排水路)	土地改良総合整備事業	0.10	0.00	土生遺跡、久蘇遺跡
	小城市	三日月北部 (2号用水路)	土地改良総合整備事業	0.10	0.00	戊遺跡
	小城市	山崎地区	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	9.00	0.00	坂井山古墳群
	合計			277.05	1.40	
杵西地区	伊万里市	伊万里西部地区 (a-1福母井堰)	中山間地域総合整備事業	0.10	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 (a-7福川内導水路)	中山間地域総合整備事業	0.20	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 (a-8田代導水路)	中山間地域総合整備事業	0.35	0.00	田代池遺跡
	伊万里市	伊万里西部地区 (b-1中田・広川用排水路)	中山間地域総合整備事業	0.13	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 (b-2炭山北部用排水路)	中山間地域総合整備事業	0.15	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 (1古子中部農道)	中山間地域総合整備事業	0.21	0.00	腰岳遺跡群
	伊万里市	伊万里西部地区 (1丸古場ほ場整備)	中山間地域総合整備事業	2.70	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 (2日南郷ほ場整備)	中山間地域総合整備事業	2.40	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 (1持田暗渠排水)	中山間地域総合整備事業	10.90	0.00	南ノ原遺跡、山ノ口遺跡
	伊万里市	伊万里西部地区 (2川内野暗渠排水)	中山間地域総合整備事業	9.00	0.00	中田代遺跡、川内野遺跡
	伊万里市	伊万里西部地区 (3飯盛川内集落道)	中山間地域総合整備事業	0.45	0.00	早川遺跡
	伊万里市	伊万里西部地区 (2北川・吉野集落道)	中山間地域総合整備事業	0.12	0.00	中里一本杉遺跡
	伊万里市	島田ため池	ため池等整備事業	0.04	0.00	未周知
	伊万里市	櫻ノ峠	復旧治山事業	1.00	0.00	未周知
	伊万里市	牟田	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	伊万里市	平山	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	伊万里市	川向	予防治山事業	0.10	0.00	腰岳遺跡群
	伊万里市	小原	予防治山事業	0.20	0.00	未周知
	伊万里市	腰岳	予防治山事業	0.10	0.00	腰岳遺跡群
	伊万里市	山口	山地災害減災対策治山事業	0.30	0.00	未周知
	伊万里市	東田代	水源流域地域保全事業	0.30	0.00	未周知
	伊万里市	駒鳴	奥地保安林保全緊急対策事業	0.10	0.00	未周知
	伊万里市	滝野 1 工区	道整備交付金事業	0.02	0.00	未周知
	武雄市	白石平野地区	地盤沈下対策事業	0.20	0.00	権現元遺跡、後田遺跡、久津具遺跡、檜正津遺跡
	武雄市	二位道地区	ため池等整備事業	0.08	0.00	御手水遺跡
	武雄市	片白	予防治山事業	0.03	0.00	東福寺古墳群
	武雄市	中館	予防治山事業	0.11	0.00	黒尾神社裏遺跡
	武雄市	山東	予防治山事業	0.30	0.00	勇猛寺古墳群、勇猛山古墳群
	武雄市	草場	予防治山事業	0.60	0.00	未周知

表 1 平成 21 年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査対象地区

地区	市町名	対象地区名	事業名	調査対象面積 (ha)	遺跡面積 (㎡)	遺跡名
杵西地区	武雄市	神六	森林環境保全整備事業	0.18	0.00	未周知
	武雄市	神六	森林環境保全整備事業	0.15	0.00	未周知
	有田町	樋杓川ため池	ため池等整備事業	0.08	0.00	未周知
	有田町	岩崎	予防治山事業	0.20	0.00	歴史的景観形成地域、風致保全地区
	有田町	風吹	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	有田町	大木牧	奥地保安林保全緊急対策事業	0.10	0.00	未周知
	有田町	広瀬山	奥地保安林保全緊急対策事業	0.10	0.00	未周知
	有田町	竹ノ上	地すべり防止事業	0.10	0.00	未周知
	有田町	黒岩	県営治山事業	0.10	0.00	未周知
	有田町	開田～北ノ川内線	道整備交付金事業	0.21	0.00	未周知
	大町町	大町地区	経営体育成基盤整備事業	1.82	0.00	未周知
	大町町	大町東	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(大町東その2工区)工事	0.05	0.00	未周知
	大町町	大町	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(大町工区)工事	0.05	0.00	未周知
	大町町	下大町	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(高良川横断工)工事	2.89	0.00	未周知
	大町町 白石町	小通	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(六角川横断工その3)工事	0.63	0.00	未周知
	江北町	下分	筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業 佐賀西部導水路白石線横断建設工事	0.52	0.00	未周知
	江北町	城ノ井	筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業 佐賀西部導水路白石線(城ノ井その2工区)工事	0.62	0.00	未周知
	江北町	西分	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(西分工区)工事	2.78	0.00	未周知
	江北町	東区	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(古川横断工)工事	0.71	0.00	未周知
	江北町	東区	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(東区工区)工事	1.02	0.00	未周知
	江北町	下小田東	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(下小田東工区)工事	0.38	0.00	未周知
	江北町	下小田西	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(下小田西工区)工事	0.52	0.00	未周知
	江北町	一本杉	県営治山事業	0.01	0.00	未周知
	白石町	深通	筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業 白石導水路白石東調圧水槽建設工事	0.15	0.00	未周知
	白石町	深通	筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業 白石導水路白石東線他接続水路工事	0.02	0.00	未周知
	白石町	下蓑具	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路山脚調圧水槽建設工事	0.31	0.00	未周知
	白石町	下蓑具	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 白石平野導水路山脚線接続水路工事	0.03	0.00	未周知
	白石町	白石地区	地域水田農業支援整備事業	70.00	0.00	馬洗上黒木遺跡、妻山遺跡、 船野遺跡、湯崎遺跡ほか
	白石町	杵島南部地区	地域水田農業支援整備事業	220.00	0.00	松土居跡
	白石町	白石平野地区	地盤沈下対策事業	1.45	0.00	辺田三本松遺跡、田野上一本松遺跡
	白石町	白石平野地区	地盤沈下対策事業	0.35	0.00	未周知
	白石町	廻里江地区	海岸保全施設整備事業	0.30	0.00	未周知
	白石町	新明	漁業経営構造改善事業	0.55	0.00	未周知
	白石町	須古地区	農業集落排水事業	1.50	0.00	妻山遺跡、馬洗上黒木遺跡、 湯崎遺跡ほか
	白石町	嘉瀬川	山地災害減災対策治山事業	0.04	0.00	嘉瀬川遺跡
	合計			338.41	0.00	
東松地区	唐津市	釜蓋	地すべり対策事業	16.00	0.00	未周知
	唐津市	蔵野地区	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金			
			①耐久性畦畔工	4.50	0.00	重要文化的景観 「蔵野の棚田」
			②総合鳥獣被害防止施設	2.50	0.00	重要文化的景観 「蔵野の棚田」

表 1 平成 21 年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査対象地区

地区	市町名	対象地区名	事業名	調査対象面積 (ha)	遺跡面積 (㎡)	遺跡名
東松地区	唐津市	杵井戸地区	団体営ため池等整備事業	0.01	0.00	宇木汲田遺跡
	唐津市	唐津市浦	(仮)強い農業づくり交付金 (キャトルステーション)	2.50	0.00	野原遺跡
	唐津市	呼子先方	漁業経営構造改善事業	0.06	0.00	未周知
	唐津市	本川内	復旧治山事業	0.10	0.00	未周知
	唐津市	内浦	復旧治山事業	0.10	0.00	未周知
	唐津市	野々平	復旧治山事業	0.10	0.00	未周知
	唐津市	鶴	復旧治山事業	0.02	0.00	未周知
	唐津市	上大谷	山地災害減災対策治山事業	0.10	0.00	未周知
	唐津市	大谷	予防治山事業	0.01	0.00	未周知
	唐津市	桃原	予防治山事業	0.01	0.00	未周知
	唐津市	六郎屋	予防治山事業	0.01	0.00	平野谷遺跡に近接
	唐津市	瀬戸	奥地保安林保全緊急対策事業	0.01	0.00	千々賀瀬戸古墳群、十二社権現経塚
	唐津市	野々平	奥地保安林保全緊急対策事業	3.50	0.00	未周知
	唐津市	千束	地域防災対策総合治山事業	0.06	0.00	未周知
	唐津市	佐里	地すべり防止事業	0.02	0.00	未周知
	唐津市	菜畑	県営治山事業	0.06	0.00	未周知
	唐津市	袋底	県営治山事業	0.03	0.00	未周知
	唐津市	陣の山線 2 工区	森林環境保全整備事業	0.09	0.00	未周知
	唐津市	陣の山線 3 工区	森林環境保全整備事業	0.04	0.00	未周知
	唐津市	向野線	森林環境保全整備事業	0.22	0.00	未周知
	唐津市	塩木線	森林環境保全整備事業	0.15	0.00	未周知
	合計			30.20	0.00	
藤津地区	鹿島市	七浦干拓地区	経営体育成基盤整備事業	1.50	0.00	未周知
	鹿島市	鹿島地区 (本浦) ほ場整備	中山間地域総合整備事業	5.50	0.00	本浦遺跡に近接
	鹿島市	鹿島地区 (善王寺) ほ場整備	中山間地域総合整備事業	1.30	0.00	本浦遺跡に近接
	鹿島市	鹿島地区 (飯田) 農道	中山間地域総合整備事業	0.30	0.00	本浦遺跡に近接
	鹿島市	鹿島地区 (一本松) ほ場整備	中山間地域総合整備事業	2.10	0.00	未周知
	鹿島市	鹿島地区 (大宮田尾) ほ場整備	中山間地域総合整備事業	4.50	0.00	未周知
	鹿島市	庵ノ前	復旧治山事業	0.02	0.00	未周知
	鹿島市	本谷	奥地保安林保全緊急対策事業	0.03	0.00	未周知
	鹿島市	長日	奥地保安林保全緊急対策事業	0.03	0.00	未周知
	鹿島市	勘場	奥地保安林保全緊急対策事業	0.03	0.00	未周知
	嬉野市	藤山線	森林環境保全整備事業	0.10	0.00	未周知
	太良町	上中山	山地災害減災対策治山事業	0.02	0.00	未周知
	太良町	角ノ内線	森林環境保全整備事業	—	0.00	未周知
	合計			15.43	0.00	
総 計				983.43	1.40	

表 2 平成 22 年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査対象地区

地区	市町名	対象地区名	事業名	調査対象 面積 (ha)	遺跡面積 (㎡)	遺跡名
三 神 地 区	鳥栖市	鳥栖地区	県営かんがい排水事業	0.20	0.00	立石古墳群
	鳥栖市	鳥栖地区	県営かんがい排水事業	0.25	0.00	未周知
	鳥栖市	鳥栖南部地区	水利区域内農地集積促進整備事業	1.90	0.00	幸津霞堤
	鳥栖市	本村地区	復旧治山事業	0.10	0.00	未周知
	鳥栖市	三子谷地区	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	鳥栖市	九千部山横断線 2 - 2 工区	道整備交付金事業	0.02	0.00	勝尾城筑紫氏遺跡
	鳥栖市 基山町	九千部山横断線	森林基幹道維持管理	5.52	0.00	勝尾城筑紫氏遺跡
	神埼市	横山地区	ため池等整備	0.11	0.00	未周知
	神埼市	千代田中央 2 期地区	クリーク防災機能保全対策事業	3.00	0.00	未周知
	神埼市	四ノ角	復旧治山事業	0.10	0.00	未周知
	神埼市	川頭	復旧治山事業	0.30	0.00	未周知
	神埼市	荒瀬線	森林環境保全整備事業	0.06	0.00	未周知
	吉野ヶ里町	吉野ヶ里南部地区	経営体育成基盤整備事業	2.00	0.00	下藤貝塚、箱川上分環濠集落
	吉野ヶ里町	折敷野	復旧治山事業	0.20	0.00	未周知
	吉野ヶ里町	永山	災害関連緊急治山事業	0.10	0.00	未周知
	吉野ヶ里町	永山	県営治山事業	0.10	0.00	未周知
	上峰町	坊所地区	農業集落排水事業（農山漁村地域整備交 付金）（機能強化対策）	0.05	0.00	未周知
	基山町	向江地区	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	基山町	南谷地区	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	みやき町	三養基地区	県営かんがい排水事業	0.45	0.00	中原遺跡
	みやき町	三養基地区	県営かんがい排水事業	0.60	0.00	一反原遺跡、地藏町遺跡
	みやき町	三養基地区	県営かんがい排水事業	0.50	0.00	本村遺跡
	みやき町	三養基地区	県営かんがい排水事業	0.03	0.00	本村遺跡
	みやき町	松枝地区	農山漁村活性化プロジェクト交付金（基 盤整備促進事業）	1.01	0.00	東津二本松遺跡
	みやき町	深底地区	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	みやき町	堂の瀬地区	溪流等県土保全緊急対策治山事業	0.10	0.00	未周知
	合計			17.10	0.00	
佐 城 地 区	佐賀市	筑後川下流	国営かんがい排水事業	0.19	0.00	大願寺遺跡・大願寺一本杉遺 跡・今山八幡籠遺跡ほか
	佐賀市	筑後川下流	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線	0.52	0.00	西山田四本松遺跡
	佐賀市 小城市	佐賀西部高域地区	水利区域内農地集積促進整備事業	7.55	0.00	船塚古墳ほか
	佐賀市	蓮池地区	経営体育成基盤整備事業	49.00	0.00	未周知
	佐賀市	大授搦・大搦地区	経営体育成基盤整備事業	42.00	0.00	未周知
	佐賀市	鍋島東地区	県営経営体育成基盤整備事業	80.90	0.00	都留遺跡、蛸久遺跡、四郎丸 遺跡
	佐賀市	佐賀南部地区	地域水田農業支援緊急整備事業	3.00	0.00	未周知
	佐賀市	諸富地区	地域水田農業支援緊急整備事業	60.00	0.00	三重本村遺跡、三重庚神茶屋 遺跡
	佐賀市	久保田地区	地域水田農業支援緊急整備事業	40.00	0.00	未周知
	佐賀市	川副西 2 期地区	クリーク防災機能保全対策事業	7.00	0.00	未周知
	佐賀市	市の江東部 2 期地区	クリーク防災機能保全対策事業	6.00	0.00	未周知
	佐賀市	佐賀中部地区 （久留間排水機場）	県営地盤沈下対策事業	0.25	0.00	未周知
	佐賀市	金立山	復旧治山事業	0.10	0.00	未周知

表 2 平成 22 年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査対象地区

地区	市町名	対象地区名	事業名	調査対象面積 (ha)	遺跡面積 (㎡)	遺跡名
佐城地区	佐賀市	馬渡	復旧治山事業	1.00	0.00	未周知
	佐賀市	一本松	溪流等県土保全緊急対策事業	0.10	0.00	未周知
	佐賀市	三反田	県営治山事業	0.10	0.00	未周知
	佐賀市	永淵	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	佐賀市	大野原	県営治山事業	0.10	0.00	未周知
	佐賀市	勝打 1 号	県営治山事業（災害復旧）	0.10	0.00	未周知
	佐賀市	勝打 2 号	県営治山事業（災害復旧）	0.10	0.00	未周知
	小城市	筑後川下流	国営かんがい排水事業	0.69	0.00	自在遺跡、布施ヶ里遺跡、中町遺跡、ハッ戸遺跡ほか
	小城市	筑後川下流	国営かんがい排水事業	0.01	0.00	岡本遺跡に近接
	小城市	高柳	筑後川下流白石平野（一期）農業水利事業 白石平野揚水機場ポンプ製作据付建設工事	0.01	0.00	大戸ヶ里遺跡に近接
	佐賀市 小城市	佐賀西部高域地区	水利区域内農地集積促進整備事業	7.55	0.00	宿遺跡、栗原一本松遺跡、坂井遺跡ほか
	小城市	三日月北部地区	県営土地改良総合整備事業	0.27	0.00	赤司遺跡
	小城市	佐賀中部地区 （三日月南部用水路）	県営地盤沈下対策事業	0.16	0.00	千葉殿の森遺跡
	小城市	佐賀中部地区 （三日月東部排水路）	県営地盤沈下対策事業	0.60	0.00	未周知
	小城市	石体	県営治山事業（災害復旧）	0.10	0.00	未周知
	多久市	筑後川下流	国営かんがい排水事業	0.02	0.00	上田町遺跡群ほか
	多久市	岸川地区	県営防災ダム事業	0.20	0.00	未周知
	多久市	原口	県営治山事業	0.10	0.00	未周知
	多久市	袖山	県営治山事業（災害復旧）	0.10	0.00	未周知
	合計			307.92	0.00	
杵西地区	伊万里市	大川谷下地区	ため池等整備事業	0.17	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 （牧ノ地揚水施設）	中山間地域総合整備事業	0.01	0.00	城休遺跡
	伊万里市	伊万里西部地区 （脇野揚水施設）	中山間地域総合整備事業	0.28	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 （脇野湧水処理）	中山間地域総合整備事業	0.37	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 （川内野湧水処理）	中山間地域総合整備事業	0.12	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 （炭山湧水処理）	中山間地域総合整備事業	0.93	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 （米山農業集落道）	中山間地域総合整備事業	0.17	0.00	内ノ馬場遺跡
	伊万里市	伊万里西部地区 （野添農業集落道）	中山間地域総合整備事業	0.24	0.00	吉野遺跡、早川遺跡
	伊万里市	伊万里西部地区 （川内・中古場農業集落道）	中山間地域総合整備事業	0.11	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 （一本杉農業集落排水路）	中山間地域総合整備事業	0.14	0.00	中里一本杉遺跡
	伊万里市	伊万里西部地区 （形人田農業集落排水路）	中山間地域総合整備事業	0.16	0.00	東山代栗山遺跡、東山代松葉遺跡、柳山遺跡
	伊万里市	伊万里西部地区 （中原農業集落排水路）	中山間地域総合整備事業	0.12	0.00	未周知
	伊万里市	伊万里西部地区 （脇野交流施設基盤）	中山間地域総合整備事業	0.13	0.00	神林遺跡
	伊万里市	立目	予防治山	0.10	0.00	念作遺跡
	伊万里市	平山	予防治山	0.10	0.00	未周知
	伊万里市	小原	予防治山	0.20	0.00	未周知
	伊万里市	峰	予防治山	0.30	0.00	飯盛城跡
	伊万里市	駒鳴	予防治山	0.30	0.00	未周知
	伊万里市	東田代	水源流域地域保全	1.00	0.00	未周知
	伊万里市	川向	地すべり防止	0.50	0.00	腰岳遺跡群ほか

表 2 平成 22 年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査対象地区

地区	市町名	対象地区名	事業名	調査対象面積 (ha)	遺跡面積 (㎡)	遺跡名
杵西地区	伊万里市	烏帽子岳線	道整備交付金事業	0.15	0.00	未周知
	武雄市	白石平野地区	県営地盤沈下対策事業	0.20	0.00	北上滝遺跡
	武雄市	南片白	予防治山事業	0.30	0.00	南片白遺跡、立石古墳群
	武雄市	神六	森林環境保全事業	0.16	0.00	未周知
	武雄市	若木町岳の山	さかの強い園芸農業確立対策事業	0.02	0.00	未周知
	武雄市	武内町柿の原	さかの強い園芸農業確立対策事業	0.10	0.00	未周知
	有田町	大野	予防治山	0.10	0.00	未周知
	有田町	大木牧	奥地保安林保全緊急対策	0.10	0.00	未周知
	有田町	広瀬山	奥地保安林保全緊急対策	0.10	0.00	未周知
	有田町	竹ノ山	地すべり防止	0.10	0.00	未周知
	大町町	下大町	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路下大町分水工工事	0.01	0.00	未周知
	大町町	小通	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路小通分水工工事	0.02	0.00	未周知
	大町町	大町地区	県営経営体育成基盤整備事業	12.00	0.00	小通砦跡
	大町町	正治山	さかの強い園芸農業確立対策事業	0.01	0.00	未周知
	江北町	西分	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(西分工区)工事	1.25	0.00	未周知
	江北町	東区	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路(東分工区)工事	3.15	0.00	未周知
	白石町	深通	筑後川下流白石平野(一期)農業水利事業 白石導水路白石東調圧水槽建設工事	0.15	0.00	未周知
	白石町	下養具	筑後川下流白石平野(二期)農業水利事業 山脚導水路山脚調圧水槽建設工事	0.31	0.00	未周知
	白石町	白石地区	県営地域水田農業支援緊急整備事業	180.00	0.00	馬洗神辺遺跡、馬田遺跡、馬洗上黒木遺跡ほか
	白石町	杵島南部地区	県営地域水田農業支援緊急整備事業	220.00	0.00	未周知
	白石町	白石平野地区	県営地盤沈下対策事業	0.10	0.00	辺田三本松遺跡
	白石町	白石平野地区	県営地盤沈下対策事業	0.70	0.00	未周知
	白石町	須古地区	農業集落排水事業	1.50	0.00	堤遺跡、湯崎東遺跡、須古城跡
	白石町	古渡	予防治山事業	0.20	0.00	未周知
	白石町	渡平	県単治山	0.10	0.00	未周知
	白石町	新明	漁業経営構造改善事業	0.85	0.00	未周知
	合計			427.13	0.00	
東松地区	唐津市	内浦	復旧治山事業	0.01	0.00	未周知
	唐津市	鶴	復旧治山事業	0.02	0.00	未周知
	唐津市	萬田代	復旧治山事業	0.01	0.00	未周知
	唐津市	平原	復旧治山事業	0.50	0.00	未周知
	唐津市	天川	予防治山事業	0.03	0.00	未周知
	唐津市	砂田	予防治山事業	0.20	0.00	未周知
	唐津市	山添	予防治山事業	0.01	0.00	未周知
	唐津市	西大島	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	唐津市	東大島	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	唐津市	篠の坂	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	唐津市	中屋敷	予防治山事業	0.10	0.00	未周知
	唐津市	弁方	予防治山事業	0.01	0.00	未周知
	唐津市	西蔵野	予防治山事業	0.01	0.00	重要文化的景観 「蔵野の棚田」

表 2 平成 22 年度農林業基盤整備事業地区内埋蔵文化財調査対象地区

地区	市町名	対象地区名	事業名	調査対象 面積 (ha)	遺跡面積 (㎡)	遺跡名
東 松 地 区	唐津市	千束	地域防災対策総合治山事業	0.07	0.00	未周知
	唐津市	陣の山線	道整備交付金事業	0.10	0.00	未周知
	唐津市	向野線	道整備交付金事業	0.20	0.00	未周知
	唐津市	塩木線	道整備交付金事業	0.29	0.00	未周知
	唐津市	呼子先方	漁業経営構造改善事業	0.06	0.00	未周知
	合計			1.92	0.00	
藤 津 地 区	鹿島市	鹿島地区	県営中山間地域総合整備事業	0.15	0.00	未周知
	鹿島市	勘場	奥地保安林保全緊急対策事業	0.20	0.00	未周知
	鹿島市	昇立	奥地保安林保全緊急対策事業	0.20	0.00	未周知
	鹿島市	小峯	予防治山事業	0.20	0.00	未周知
	鹿島市	飯田立石	さかの強い園芸農業確立対策事業	0.02	0.00	未周知
	鹿島市	飯田	さかの強い園芸農業確立対策事業	0.08	0.00	未周知
	鹿島市	音成下屋敷	さかの強い園芸農業確立対策事業	0.03	0.00	未周知
	嬉野市	藤山線	森林環境保全整備事業	0.30	0.00	未周知
	太良町	角の内	農山漁村地域整備交付金	0.35	0.00	未周知
	合計			1.53	0.00	
総 計				755.60	0.00	

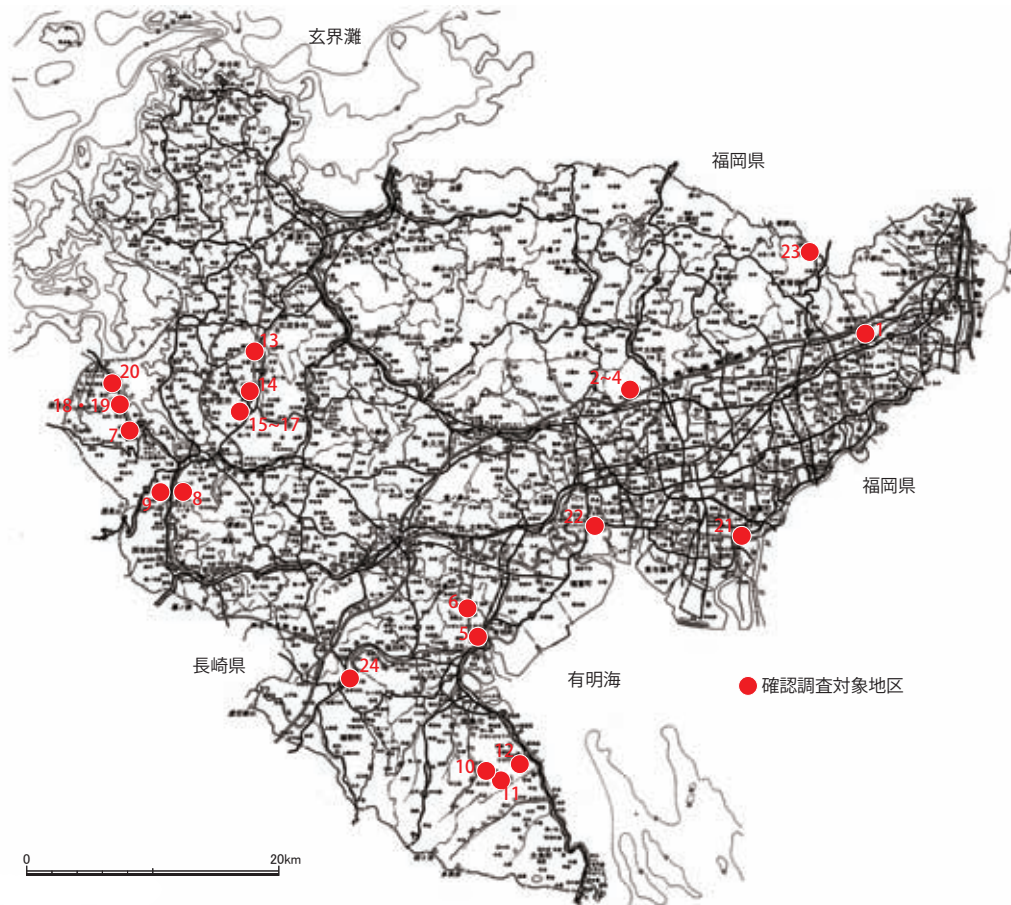


図1 平成21・22年度佐賀県内遺跡確認調査対象地区 (1/600,000)

表3 平成21・22年度佐賀県内遺跡確認調査対象地区

確 認 調 査 地 区	農林業基盤整備事業
	三神地区
	1 みやき町（県営かんがい排水事業 三養基地区）
	佐城地区
	2 佐賀市（筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線（1））
	3 佐賀市（筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線（2））
	4 佐賀市（筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線（3））
	杵西地区
	5 白石町（県営地盤沈下対策事業 白石平野地区（1））
	6 白石町（県営地盤沈下対策事業 白石平野地区（2））
	7 伊万里市（中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 丸古場ほ場整備）
	8 伊万里市（中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 古子中部農道）
	9 伊万里市（中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 野添農業集落道）
	藤津地区
	10 鹿島市（中山間地域総合整備事業 鹿島地区 大宮田尾地区ほ場整備）
	11 鹿島市（中山間地域総合整備事業 鹿島地区 一本松地区ほ場整備）
	12 鹿島市（中山間地域総合整備事業 鹿島地区 本浦・善王寺地区ほ場整備）
	その他の公共事業
	13 伊万里市（西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 重橋地区）
	14 伊万里市（西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 原屋敷地区）
	15 伊万里市（西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招下地区（1））
	16 伊万里市（西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招下地区（2））
	17 伊万里市（西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招上地区）
	18 伊万里市（西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 久原地区（1））
	19 伊万里市（西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 久原地区（2））
	20 伊万里市（西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 立岩地区）
	21 佐賀市（有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区）
	22 小城市（有明海沿岸道路整備事業 佐賀福富道路 道免地区）
	23 吉野ヶ里町（那珂川総合開発事業 五ヶ山ダム 小川内地区）
	24 嬉野市（九州新幹線西九州ルート建設事業 俵坂トンネル東工区 工事ヤード）

Ⅱ 平成 21・22 年度実施の文化財確認調査の概要

1 農林業基盤整備事業に係る文化財確認調査

1) 三神地区の調査

(1) みやき町

① 県営かんがい排水事業 三養基地区 (図 2～3、写真図版 1)

調査対象地所在地	三養基郡みやき町大字簗原地内
調査対象面積	2,280㎡ (調査面積 42.75㎡)
調査担当者	みやき町教育委員会 社会教育課 社会教育担当 岡毅
調査期間	平成 22 年 1 月 18 日～1 月 20 日

調査対象地区の立地

調査対象地は、標高約 45 m 前後の丘陵地で、脊振山系南麓の洪積段丘上に位置する。筑後川支流である寒水川の東岸約 250 ～ 350 m に立地し、河岸段丘上という地形的特長も兼ね備えている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査対象地は、若宮八幡神社遺跡に含まれており、西北に隣接して本村遺跡が存在する。東西に延びる農道の西北にあたる田地では、圃場整備事業に伴い本村遺跡の発掘調査が実施され、古代～中世の集落遺跡を検出している。南北に延びる町道周辺では、圃場整備事業に伴う確認調査で遺跡は確認されていない。対象地の約 500 m 南方には、弥生時代中期から古墳時代前期の墳墓群である姫方遺跡が存在し、遺構の一部は県史跡として保存されている。

調査方法

事前の踏査により確認調査が必要と判断された簗原若宮八幡神社北側の東西に延びる農道部分と南北に延びる町道部分に 6 箇所のトレンチを設定し、重機及び人力にて掘削を行った。

調査内容

(検出遺構)

検出しなかった。

(出土遺物)

出土しなかった。

所見・その他

No. 1～4 トレンチでは、造成土直下に地山面が検出され、大規模な削平工事が過去に行われたことを示していた。No. 5・6 トレンチも一部堆積土が見受けられたが、堆積層としては薄く、削平を受けていたことは否めない。

調査後の取り扱い

支障なし。

14

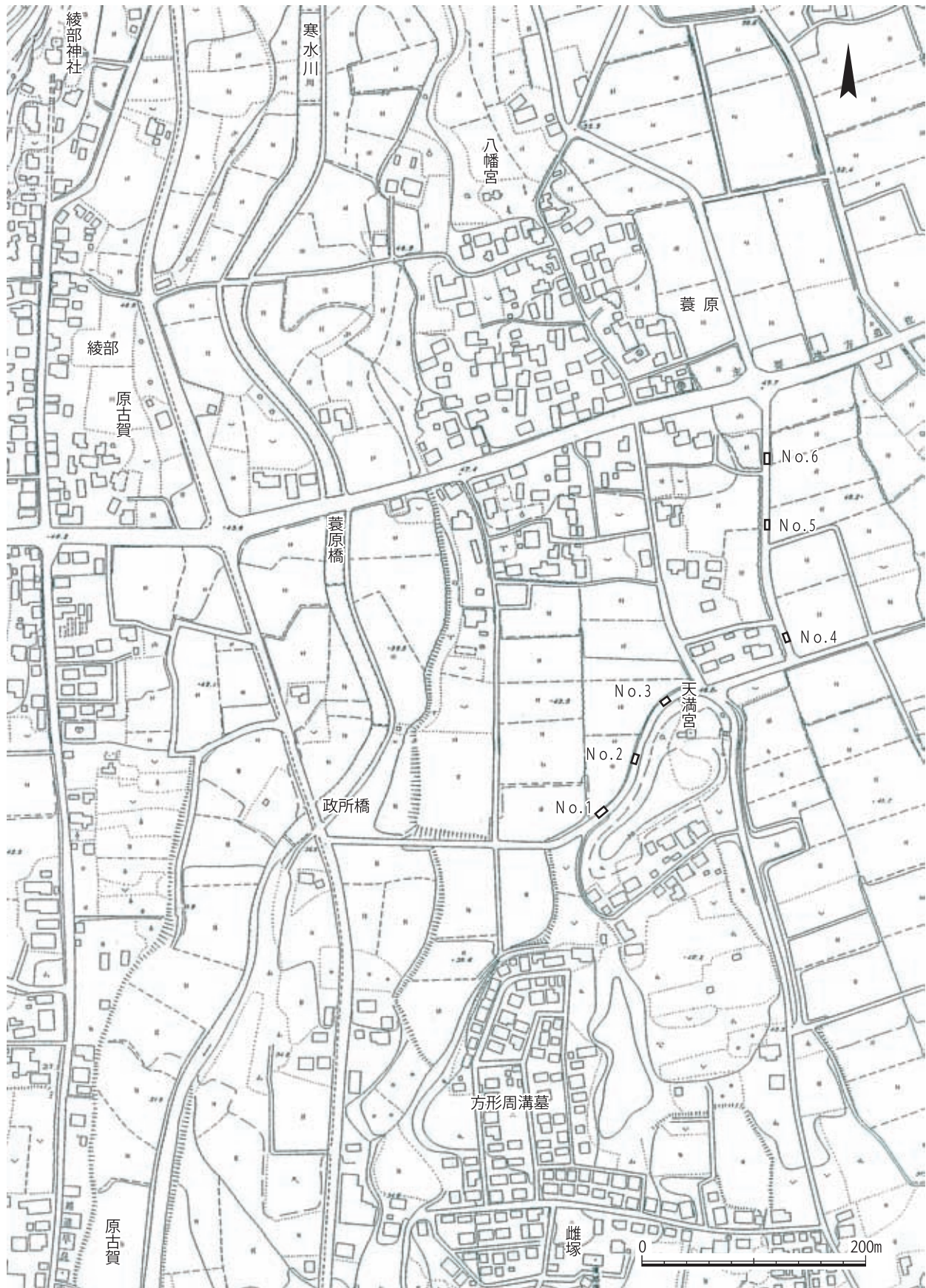


図3 県営かんがい排水事業 三養基地区 調査区 (1/5,000)

写真図版1 県営かんがい排水事業 三養基地区



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 4 トレンチ



No. 5 トレンチ



No. 6 トレンチ



No. 6 トレンチ土層



作業状況

2) 佐城地区の調査

(1) 佐賀市

① 筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (1) (図4～6、写真図版2)

調査対象地所在地	佐賀市大和町大字川上、大字久留間地内
調査対象面積	1,424㎡ (調査面積 26.6㎡)
調査担当者	佐賀市教育委員会 文化振興課 文化財係 松本隆昌
調査期間	平成 21 年 10 月 5 日～ 10 月 7 日

調査対象地区の立地

脊振山系の南側山麓に発達した扇状地で、嘉瀬川西岸に位置する。調査対象地区は、川上地区の川上上流工区と久留間地区の今山工区である。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

川上上流工区が位置する川上地区には弥生～中世までの集落を中心とする東山田・西山田遺跡群が分布し、調査対象地は西山田天神遺跡と一部が東山田一本杉遺跡に含まれる。今山工区が位置する久留間地区には船塚古墳や古墳時代の集落遺跡等が分布し、調査対象地は今山西谷遺跡に含まれる。

調査方法

川上上流工区(西山田天神遺跡、東山田一本杉遺跡)で5箇所、今山工区(今山西谷遺跡)で2箇所のトレンチを設定した。掘削機(バックホー)によって表土を除去し、遺構検出作業は人力によって実施した。

調査内容

(検出遺構)

西山田天神遺跡のNo. 2 トレンチで土坑・小穴・溝、No. 3・5 トレンチで小穴群、No. 4 トレンチで大溝もしくは谷部の一部を検出した。東山田一本杉遺跡(No. 1 トレンチ)では遺構は検出しなかった。今山西谷遺跡ではNo. 7 トレンチで溝かと思われる性格不明の落ち込みを検出した。

(出土遺物)

西山田天神遺跡ではNo. 4 トレンチの最下層部から弥生土器、No. 3 トレンチで平安時代の土師器が出土した。No. 1 トレンチを設定した東山田一本杉遺跡では遺物は出土しなかった。今山西谷遺跡ではNo. 7 トレンチで弥生土器かと思われる土器細片が出土した。

所見・その他

西山田天神遺跡では、広範囲に遺構が存在すると考えられる。東山田一本杉遺跡では、遺構・遺物は確認されなかった。今山西谷遺跡では、遺構の可能性のある性格不明の落ち込みを検出した。

調査後の取り扱い

川上上流工区のうち西山田天神遺跡については、遺構の広がりが確認されたため、平成 21 年度に佐賀市教育委員会が記録保存のための発掘調査を実施した。東山田一本杉遺跡については支障なし。今山工区の今山西谷遺跡については、小城市域の織島東分遺跡の確認調査でも時期不詳の落ち込みを確認するに留まったことと併せ、佐賀市教育委員会が隣接する未調査箇所で実施した確認調査でも遺構・遺物が検出されなかったため、支障なし。



図4 筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 位置 (1/25,000)

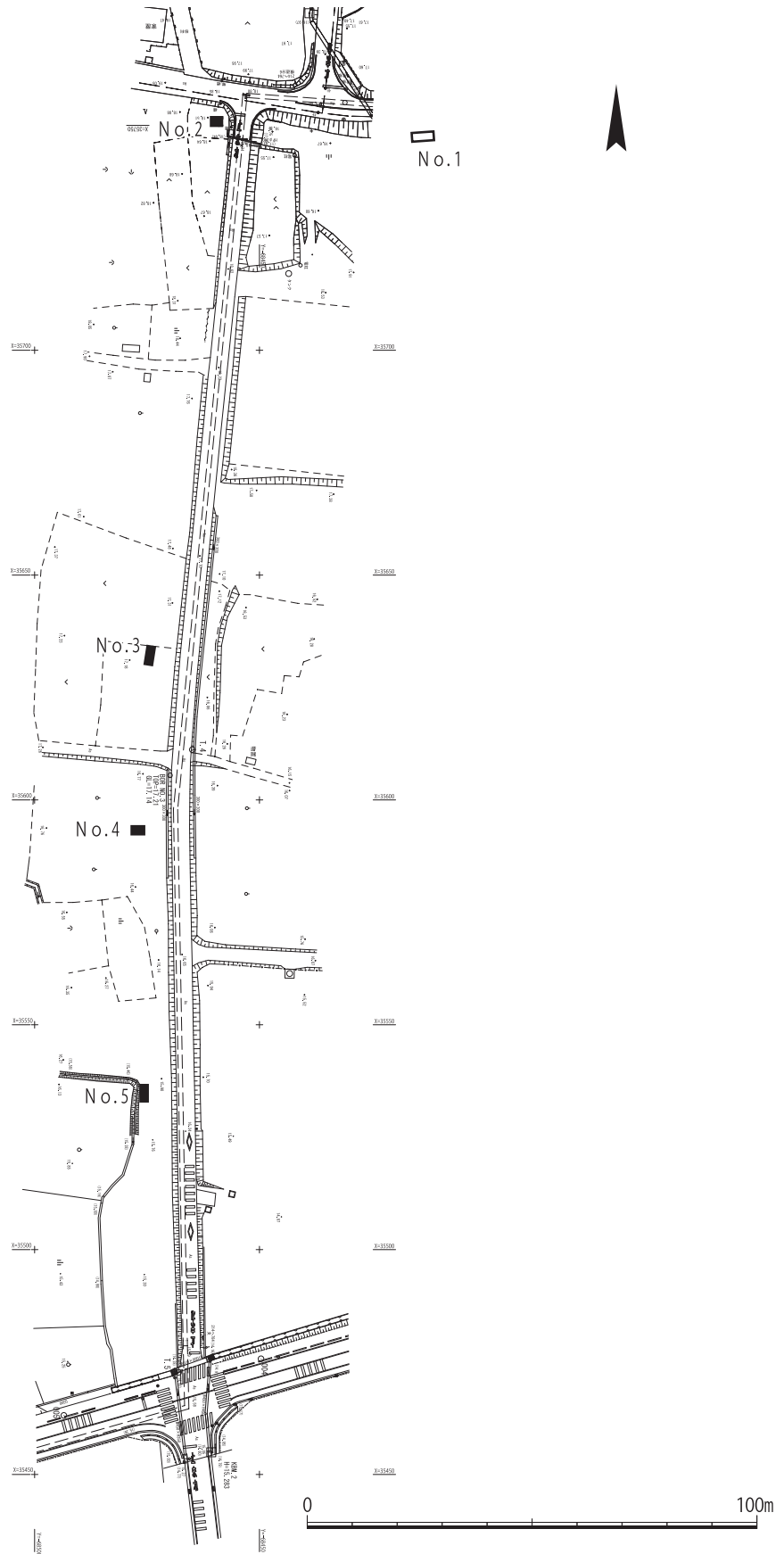


図5 筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線(1) 川上上流工区 調査区(1/1,500)

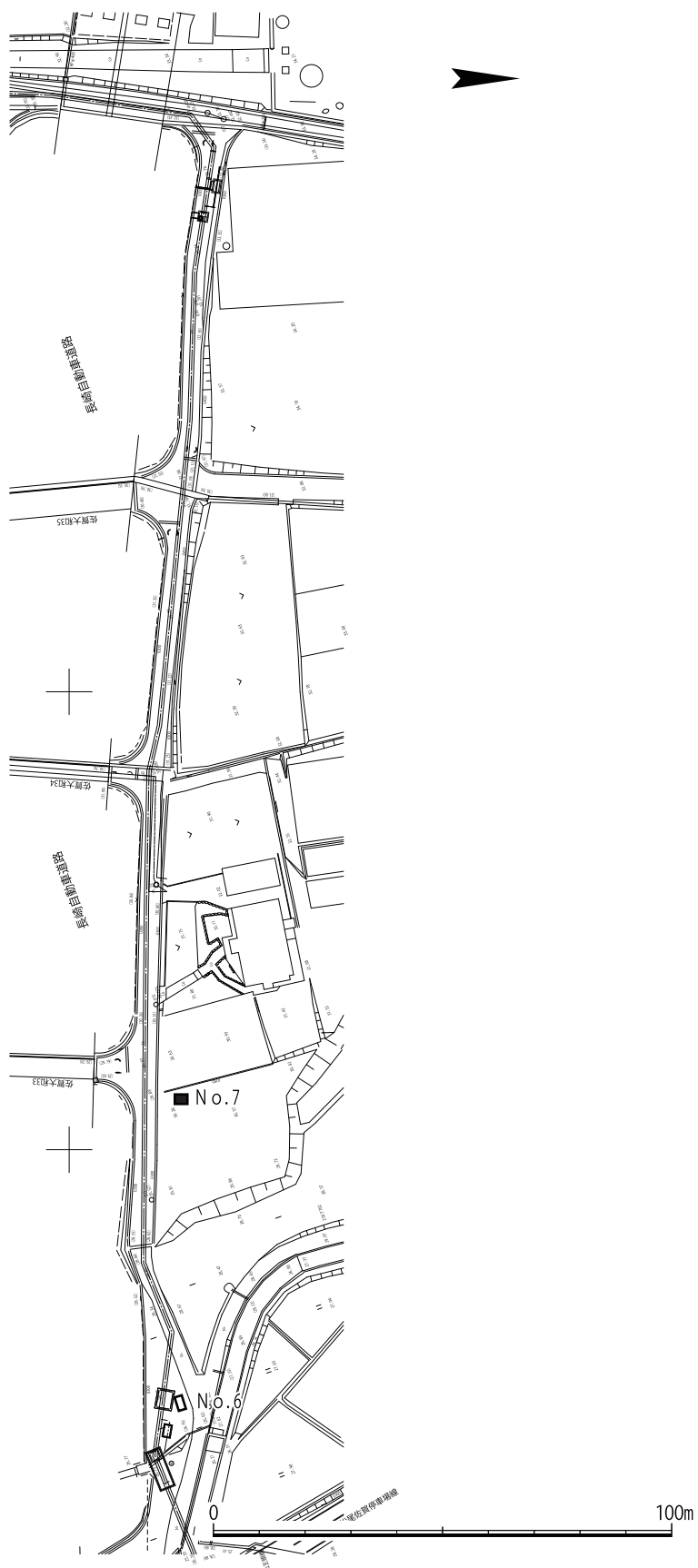


図6 筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線 (1) 今山工区 調査区 (1/1,500)



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 4 トレンチ



No. 5 トレンチ



No. 6 トレンチ



No. 7 トレンチ



作業状況

② 筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線（2）（図4・7～8、写真図版3～4）

調査対象地所在地	佐賀市大和町大字川上、大字久留間地内
調査対象面積	5,010㎡（調査面積 40㎡）
調査担当者	佐賀市教育委員会 文化振興課 文化財係 松本隆昌
調査期間	平成21年12月8日～12月18日

調査対象地区の立地

脊振山系の南側山麓に発達した扇状地で、嘉瀬川西岸に位置する。調査対象地区は、川上地区の吐水槽その他工区と久留間地区の江熊野工区である。

現況はミカン園を中心とした樹園地が広がっており、その他は畑地や雑種地となっている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

吐水槽その他工区が位置する川上地区には弥生～中世までの集落を中心とする東山田・西山田遺跡群や独立丘陵上に小隈古墳・小隈南古墳、古代の大願寺廃寺などが分布し、調査対象地は小隈五本松遺跡・小隈天神遺跡・卯和尾遺跡、小隈遺跡に含まれる。江熊野工区が位置する久留間地区には船塚古墳や古墳時代の集落跡が分布し、調査対象地は今山八幡籠遺跡に含まれる。

調査方法

吐水槽その他工区で12箇所（小隈五本松遺跡 No. 1～2、小隈天神遺跡 No. 1～6、卯和尾遺跡 No. 1、小隈遺跡 No. 1～3）、江熊野工区で1箇所（今山八幡籠遺跡 No. 1）のトレンチを設定した。掘削機（バックフォー）によって表土を除去し、遺構検出作業は人力によって実施した。

調査内容

（検出遺構）

小隈遺跡 No. 3 トレンチで小穴2基が検出されたが、覆土にしまりがなく果樹園の耕作関連のものと考えられる。

（出土遺物）

出土しなかった。

所見・その他

今山八幡籠遺跡、卯和尾遺跡は、周辺部の調査結果もあわせて考えると遺構の分布が希薄な地域と考えられる。

小隈五本松遺跡、小隈天神遺跡、小隈遺跡は、脊振山系の南麓に展開する扇状地部分の谷部で、豪雨等により自然流路の河道が変化、移動しやすい状況で地形的には不安定であったと考えられる。

小隈遺跡の一部は山の急傾斜地を近年、切り開いて農道、果樹園を造成しており、今回の工事区に遺構の存在する可能性は低い。

調査後の取り扱い

支障なし。



図7 筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線(2) 吐水槽その他工区 調査区(1/2,000)

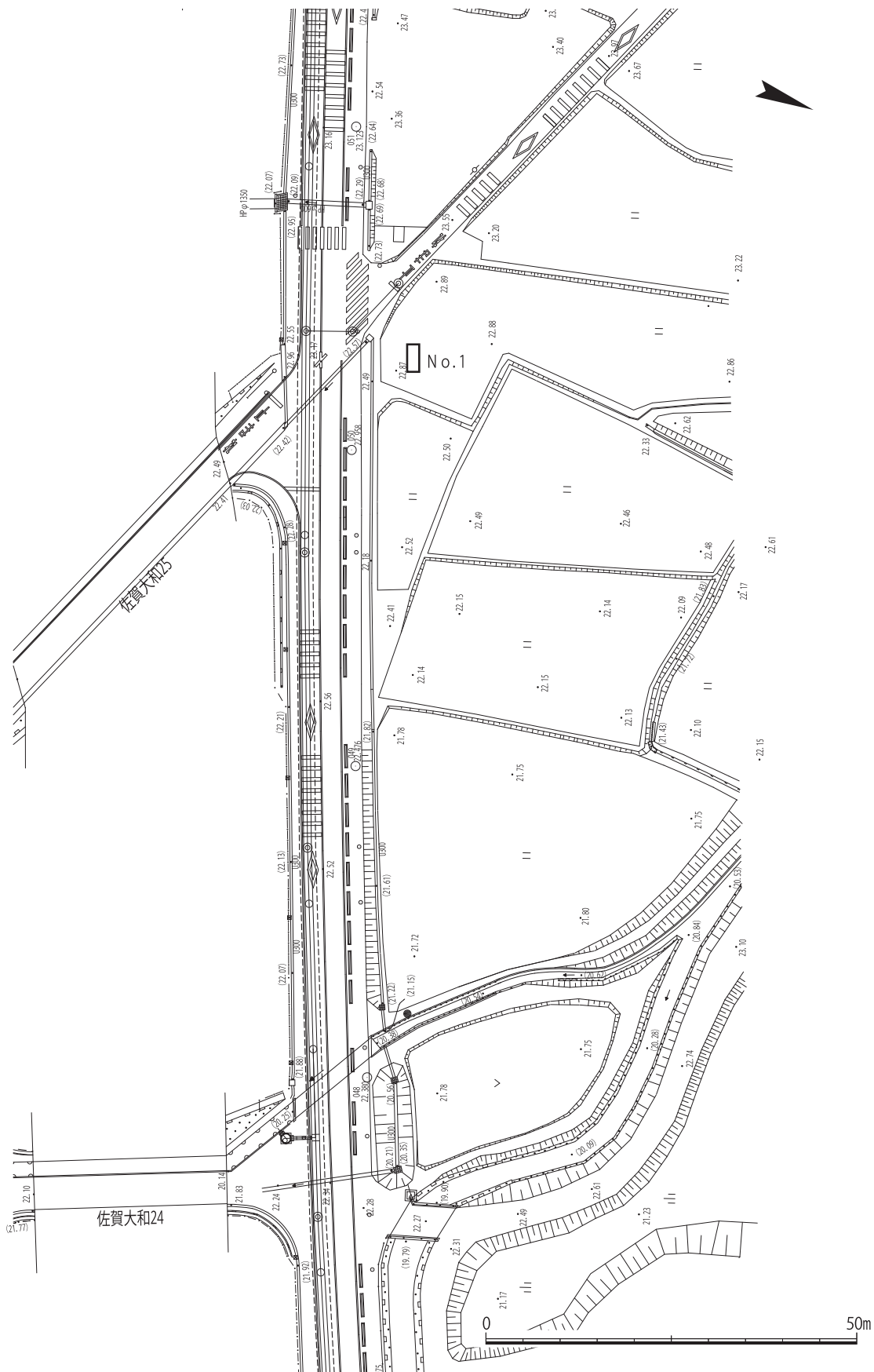


図8 筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線(2) 江熊野工区 調査区(1/800)



今山八幡籠遺跡 調査地現況



今山八幡籠遺跡 No. 1 トレンチ



小隈五本松遺跡 No. 1 トレンチ



小隈五本松遺跡 No. 2 トレンチ



小隈天神遺跡 調査地現況



小隈天神遺跡 No. 1 トレンチ



小隈天神遺跡 No. 2 トレンチ



小隈天神遺跡 No. 3 トレンチ



小隈天神遺跡 No. 4 トレンチ



小隈天神遺跡 No. 5 トレンチ



小隈天神遺跡 No. 6 トレンチ



卯和尾遺跡 No. 1 トレンチ



小隈遺跡 No. 1 トレンチ



小隈遺跡 No. 2 トレンチ



小隈遺跡 No. 3 トレンチ



作業状況

③ 筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線（3）（図4・9、写真図版5）

調査対象地所在地	佐賀市大和町大字川上地内
調査対象面積	5,291㎡（調査面積 19㎡）
調査担当者	佐賀市教育委員会 文化振興課 文化財係 松本隆昌
調査期間	平成23年2月7日～2月9日

調査対象地区の立地

佐賀平野は脊振山地南麓に広がる洪積世の段丘、沖積世の扇状地および三角州に大別される。このうち佐賀市から三養基郡みやき町の山麓部は洪積世の段丘が見られ、佐賀市、小城市の山麓部の南には扇状地が発達し嘉瀬川を中心に東西の小河川によって複合的な扇状地が発達している。今回の調査区はこの山麓の南の段丘間にあたる地点で、権現山南麓と独立丘陵の小隈山に挟まれる谷地である。東側はこの地形を利用してため池が造られている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査対象地区は西山田四本松遺跡の西端部にあたる。35 m南側の丘陵上には県史跡小隈山古墳が所在し、この丘陵部一帯は小隈遺跡・小隈古墳群として周知されている。また、対象地区の北側に隣接して古代の須恵器蔵骨器出土伝承地（小隈蔵骨器出土地）がある。

調査方法

高域線吐水槽その他工区に伴う土捨場予定地内6箇所にトレンチを設定し、重機による表土除去後、人力によるトレンチ内の清掃を行い遺構の有無を確認した。

調査内容

（検出遺構）

検出しなかった。

（出土遺物）

出土しなかった。

所見・その他

周辺に分布する古墳群は南麓の斜面に点在するが、今回の調査区は谷部の底部に近く、各トレンチにおいても礫を含む崩落土が堆積しており、古墳等を築造するには不安定な場所であったことが窺われ、今回の開発予定地内に遺構が存在する可能性は低いと考えられる。

調査後の取り扱い

支障なし。

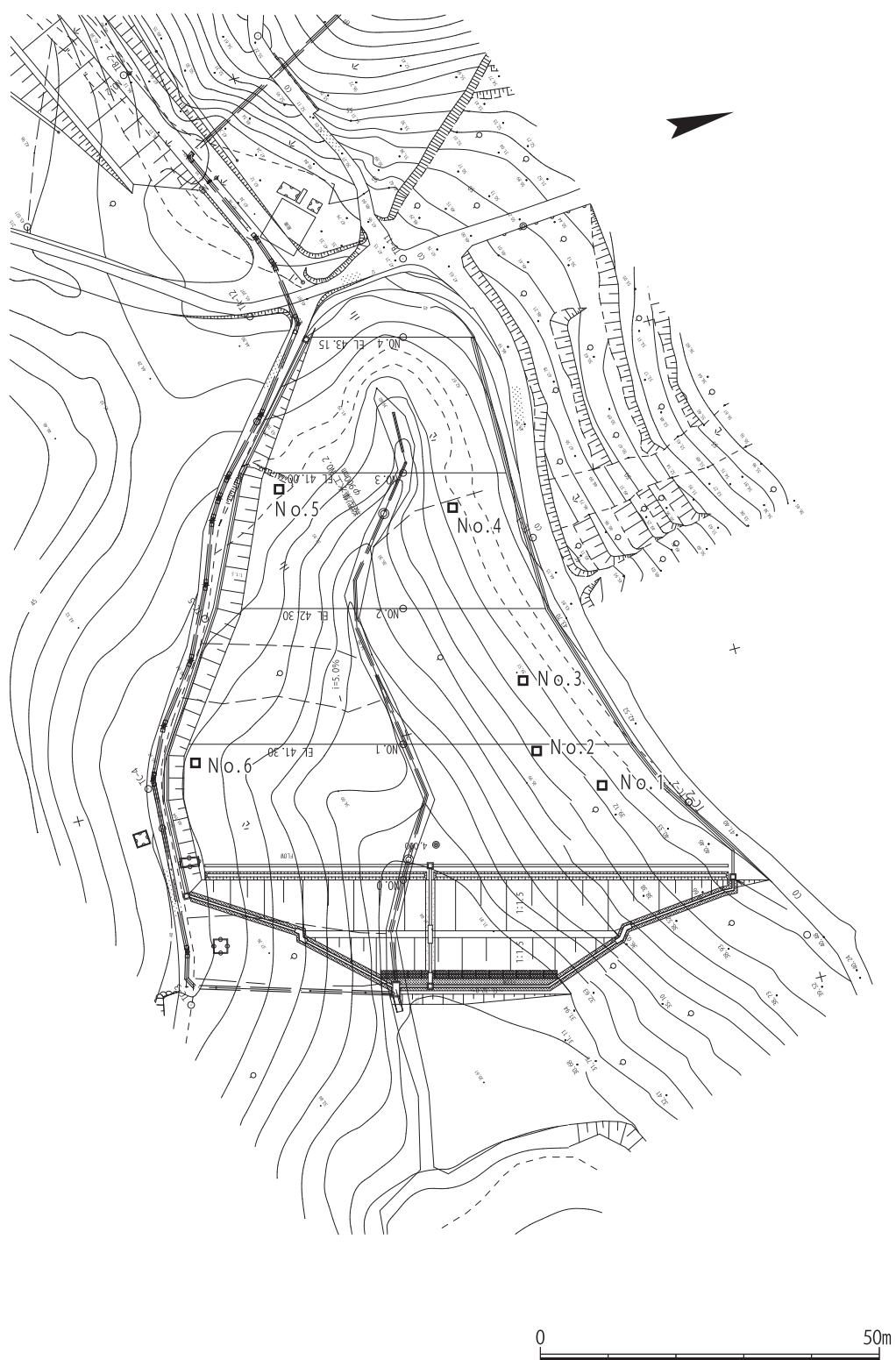


図9 筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高城線（3）吐水槽土捨場 調査区（1/1,000）



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 4 トレンチ



No. 5 トレンチ



No. 5 トレンチ土層



No. 6 トレンチ



作業状況

3) 杵西地区の調査

(1) 白石町

① 県営地盤沈下対策事業 白石平野地区(1)(図10～11、写真図版6)

調査対象地所在地	杵島郡白石町大字坂田地内
調査対象面積	120㎡(調査面積 6㎡)
調査担当者	白石町教育委員会 生涯学習課 生涯学習係 渡部俊哉
調査期間	平成21年5月19日

調査対象地区の立地

白石町西側に、武雄市・嬉野市との境界をなす杵島山系が南北に延びているが、その南端にあたる白岩山から南東にのびる小丘陵の北側山麓部にあたり、標高2m前後の田園地帯である。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

当該地区は弥生～中世の散布地とされる坂田三本松遺跡の東端部に接する。北西の山麓部には弥生～中世の散布地とされる坂田二本松遺跡があり、南側の東に延びる小丘陵東端上には5世紀後半～6世紀の龍王崎古墳群(県史跡)や6世紀後半の龍王峠古墳群が存在する。

調査方法

用水路予定地の3箇所にトレンチを設定し、掘削機を使用し、掘削、調査員による精査・記録後、掘削機で埋め戻した。

調査内容

(検出遺構)

検出しなかった。

(出土遺物)

No.3トレンチで耕作土直下の明青灰色粘土より青磁碗小片、地山(淡黄灰色粘土)中に埋没した状態で、布留系の土師器甕片が出土した。

所見・その他

No.3トレンチでの遺物はいずれも遺構に伴うものではなく、土師器は地山に埋没した状態での出土であるから、他所よりの流れ込みと考えられる。おそらく、調査対象地区より西側の山麓部付近で、古墳時代前期の集落跡の存在が推定される。

調査後の取り扱い

慎重工事。

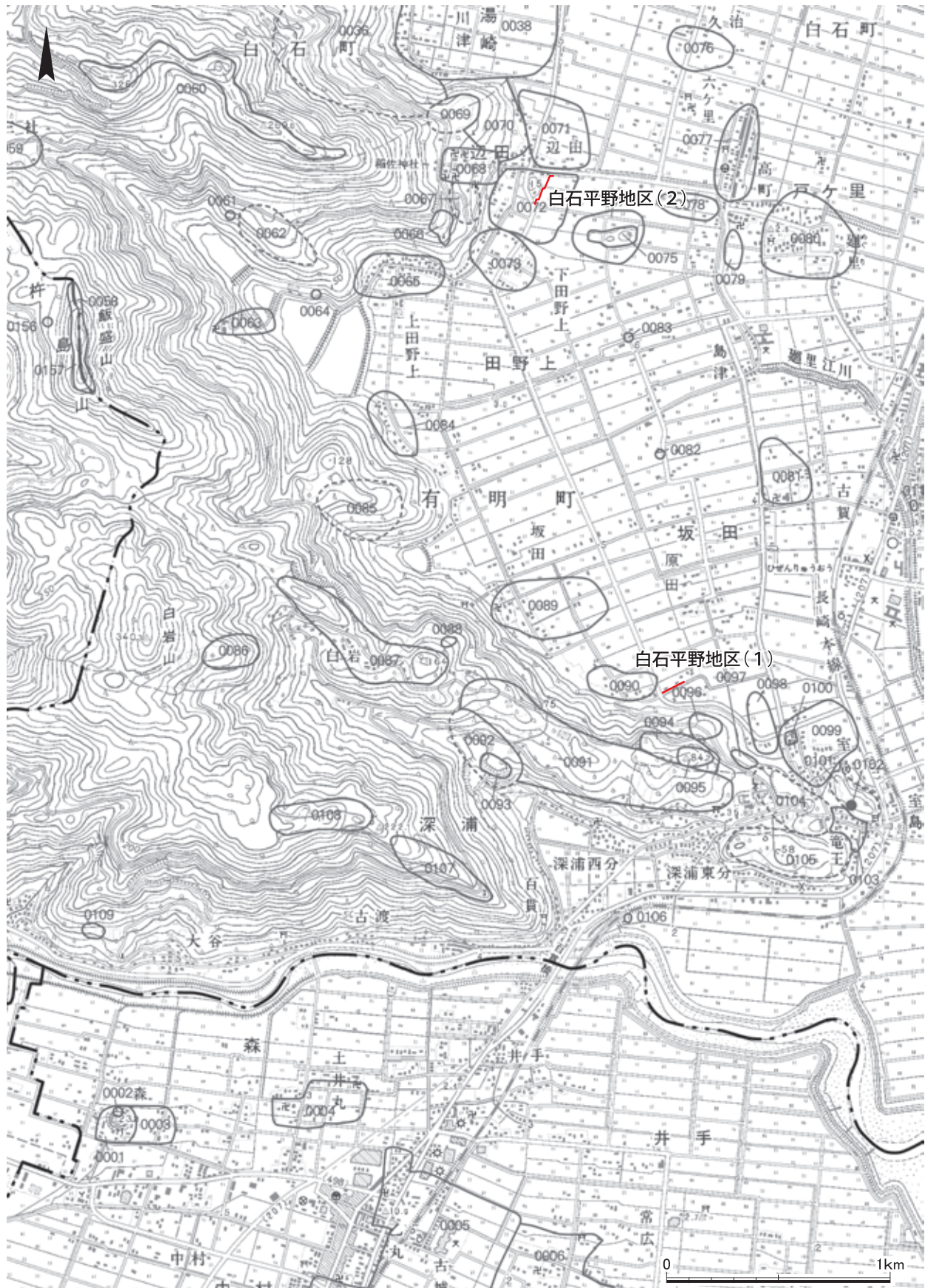


図 10 県営地盤沈下対策事業 白石平野地区 位置 (1/25,000)

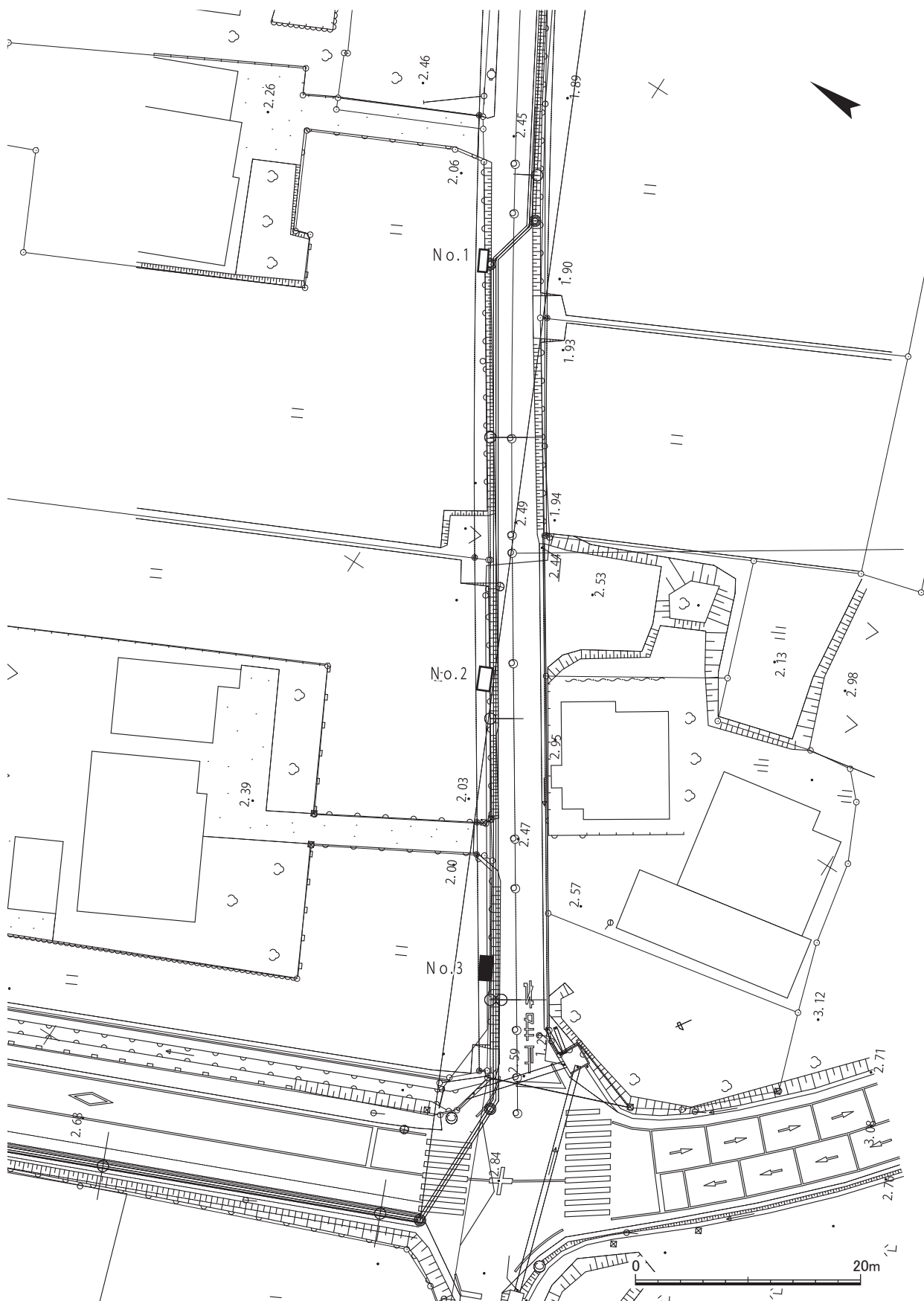


図 11 県営地盤沈下対策事業 白石平野地区 (1) 調査区 (1/500)

② 県営地盤沈下対策事業 白石平野地区（2）（図 10・12、写真図版 6）

調査対象地所在地	杵島郡白石町大字辺田地内
調査対象面積	266㎡（調査面積 50㎡）
調査担当者	白石町教育委員会 生涯学習課 生涯学習係 渡部俊哉
調査期間	平成 22 年 11 月 17 日・平成 23 年 1 月 20 日

調査対象地区の立地

稲佐神社の鎮座する嶽山の東山麓部、標高約 2.5 mを測る水田地帯。調査区西側を南北に広域農道が走り、北側には圃場整備に伴う小水路が屈曲している。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査対象地は弥生時代から中世の散布地とされる辺田三本松遺跡に含まれる。南東方向約 500 mには、南北朝時代の南朝方白石氏他の拠点の一つであった平山城の島津城跡がある。

調査方法

用水路予定地の 3 箇所にトレンチを設定し、掘削機を使用しての掘削、調査員による調査・記録後、掘削機での埋戻しを行った。

調査内容

（検出遺構）

検出しなかった。

（出土遺物）

No. 1 トレンチ南端の圃場整備に伴う導水管埋設土から青磁片、同 2 層（暗灰黄色粘土）より 15 世紀代の土師器杯・皿片・瓦質土器片が出土した。No. 2 トレンチからは 2 層（茶褐色粒混在淡灰黄色粘土）より糸切底土師器杯片・布目痕丸瓦片が出土した。No. 3 トレンチからは地山である茶褐色粒混在明黄青色粘土の直上より糸切底土師器杯小片が少数出土した。

所見・その他

No. 1 トレンチの 3 層からは比較的まとまって糸切底土師器が出土したが、遺構に伴うものではない。No. 3 トレンチでは糸切底土師器杯小片が少数検出されたが、地山の直上からであり遺構に伴うものではない。

東方にしこ名「たち」が確認されていることから、在地領主の館の存在も推定されるが、工事予定地はその周辺部にあたると考えられる。

調査後の取り扱い

慎重工事。

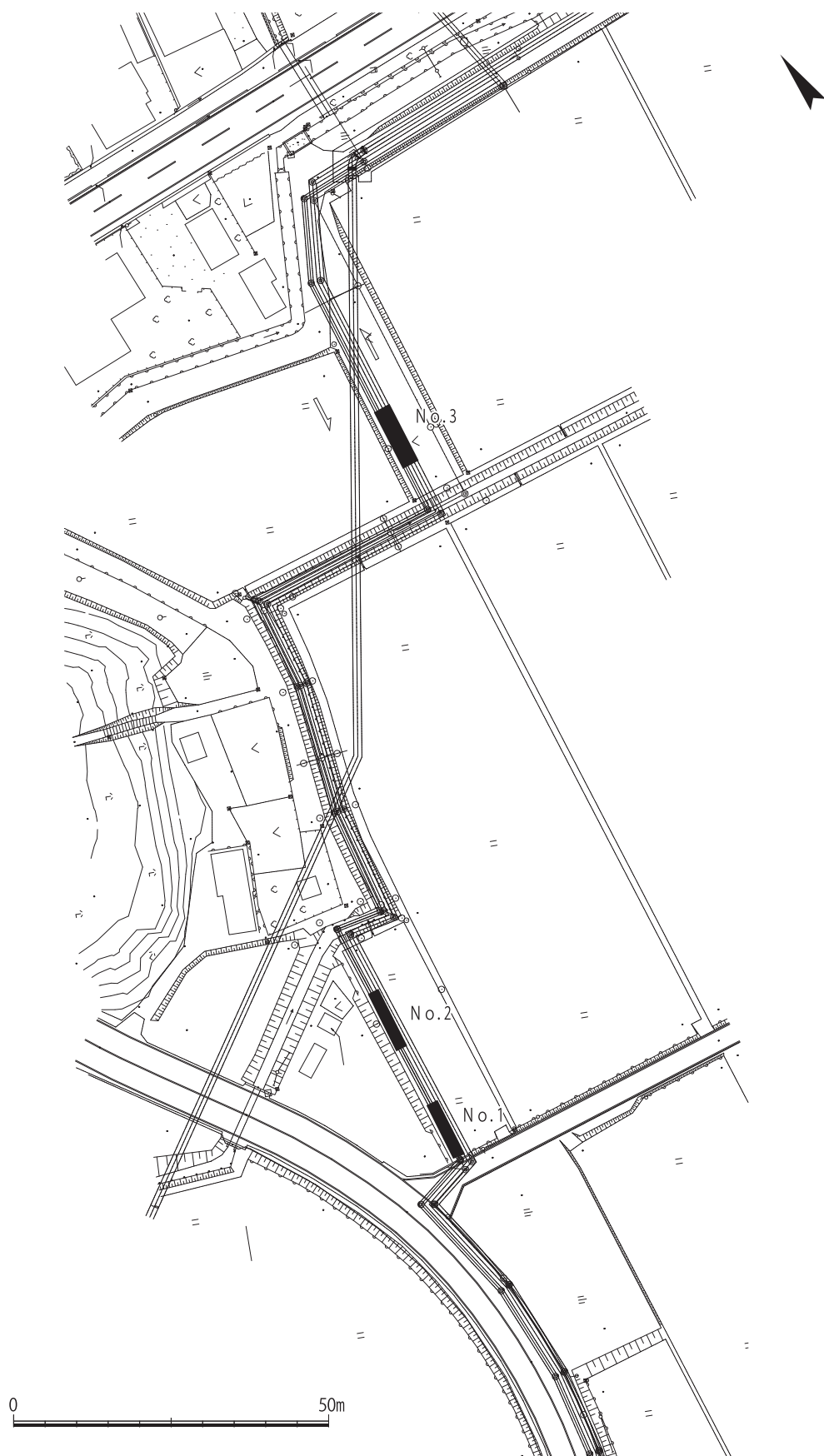


図 12 県営地盤沈下対策事業 白石平野地区（2）調査区（1/1,000）



白石平野地区（1） No. 1 トレンチ



白石平野地区（1） No. 2 トレンチ



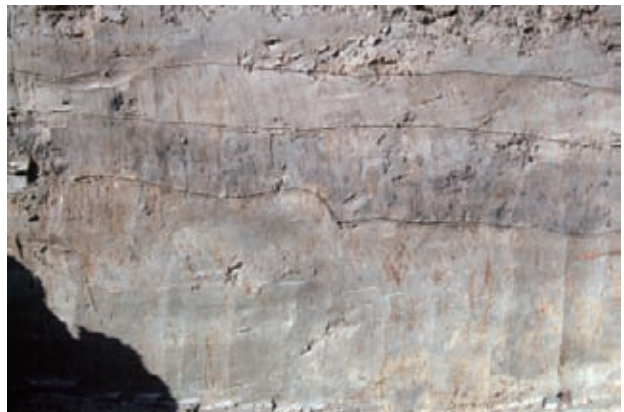
白石平野地区（1） No. 3 トレンチ



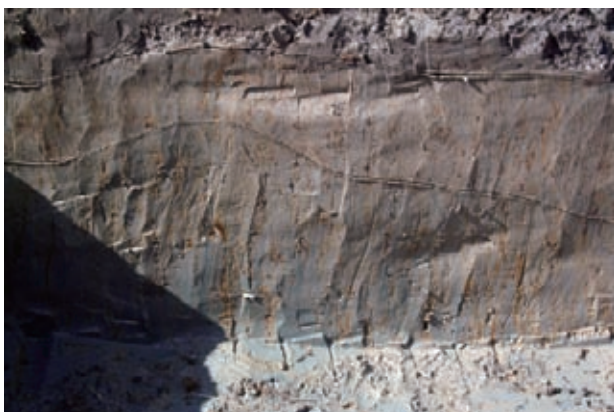
白石平野地区（1） 作業状況



白石平野地区（2） 調査地現況



白石平野地区（2） No. 1 トレンチ土層



白石平野地区（2） No. 2 トレンチ土層



白石平野地区（2） No. 3 トレンチ

(2) 伊万里市

③ 中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 丸古場ほ場整備(図 13～14、写真図版 7～8)

調査対象地所在地	伊万里市山代町福川内地内
調査対象面積	30,000㎡(調査面積 96㎡)
調査担当者	伊万里市教育委員会 生涯学習課 文化財係 徳久幸江
調査期間	平成 21 年 11 月 9 日～ 11 月 16 日

調査対象地区の立地

調査地点は南から北へ緩やかに傾斜する谷部の一端に位置する。周辺地域は水田・畑地・住宅地である。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査地点の周辺には縄文時代の散布地である杉谷遺跡・金戸遺跡や縄文時代から弥生時代の散布地である山崎遺跡が所在している。

調査方法

対象地区に 32 箇所のトレンチを設定し、掘削機及び人力を用いた試掘調査を行った。

調査内容

(検出遺構)

検出しなかった。

(出土遺物)

出土しなかった。

所見・その他

水田の床土の下は盛土と礫層が確認され、調査地北側の標高が低い地点では岩盤層を確認することができた。多くのトレンチで水が湧き出し、崩落の危険性が高かったため、途中で掘り下げを中止した。また、地域住民の話では、水田を造成する際にボタ等を嵩上げに使用したとのことだったが、調査地東側でコークス状の燃え滓を多く含んだ層を確認した。

調査後の取り扱い

支障なし。



図 13 中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 位置 (1/30,000)



図 14 中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 丸古場ほ場整備 調査区 (1/2,000)



調査地現況



No. 1 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 6 トレンチ



No. 7 トレンチ



No.10 トレンチ



No.14 トレンチ



No.16 トレンチ



No.19 トレンチ



No.21 トレンチ



No.22 トレンチ



No.24 トレンチ



No.27 トレンチ



No.30 トレンチ



No.32 トレンチ



作業状況

④ 中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 古子中部農道（図 13・15、写真図版 9）

調査対象地所在地	伊万里市二里町中里乙地内
調査対象面積	1,900㎡（調査面積 20㎡）
調査担当者	伊万里市教育委員会 生涯学習課 文化財係 徳久幸江
調査期間	平成 22 年 3 月 29 日～3 月 30 日

調査対象地区の立地

開発予定地は西から東へ傾斜している斜面地の一端にあり、水路の通る部分は南から北に向けて若干傾斜している。水路付近までは東から里道がある。周辺地域は水田及び果樹園、林地である。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査地点は、黒曜石原産地遺跡として著名な腰岳遺跡群の範囲内である。

調査方法

6箇所の特レンチを設定し、人力による掘り下げを行った。

調査内容

（検出遺構）

検出しなかった。

（出土遺物）

黒曜石の原石・剥片が出土した。

所見・その他

当該地は、果樹園、植林のため部分的に整地がなされていたが、ほぼ旧地形のままと思われ、特レンチを6箇所設置した。No. 1～4特レンチを果樹園の跡地に設定したところ、No. 2特レンチは約1mの盛土が確認され、黒曜石の原石が多量に出土した。それ以外の特レンチでは約15～40cmの表土の下、砂岩・安山岩の礫を多量に含んだ褐色粘質土の自然層が確認された。いずれも黒曜石の原石が出土しているが、その多くは表土からである。

No. 5・6特レンチは里道近くに設定した。No. 5特レンチは竹などの植林により表土の下はすぐに岩盤層を確認した。また黒曜石は表土から少量出土した。No. 6特レンチはNo. 1・3・4特レンチとほぼ同様の土層堆積が確認された。

調査結果および周辺部の地形から類推すると、当該地は、西から東に大きく傾斜している斜面地の一端を果樹園、植林のため部分的に平坦に造成しているものと考えられる。

調査後の取り扱い

支障なし。

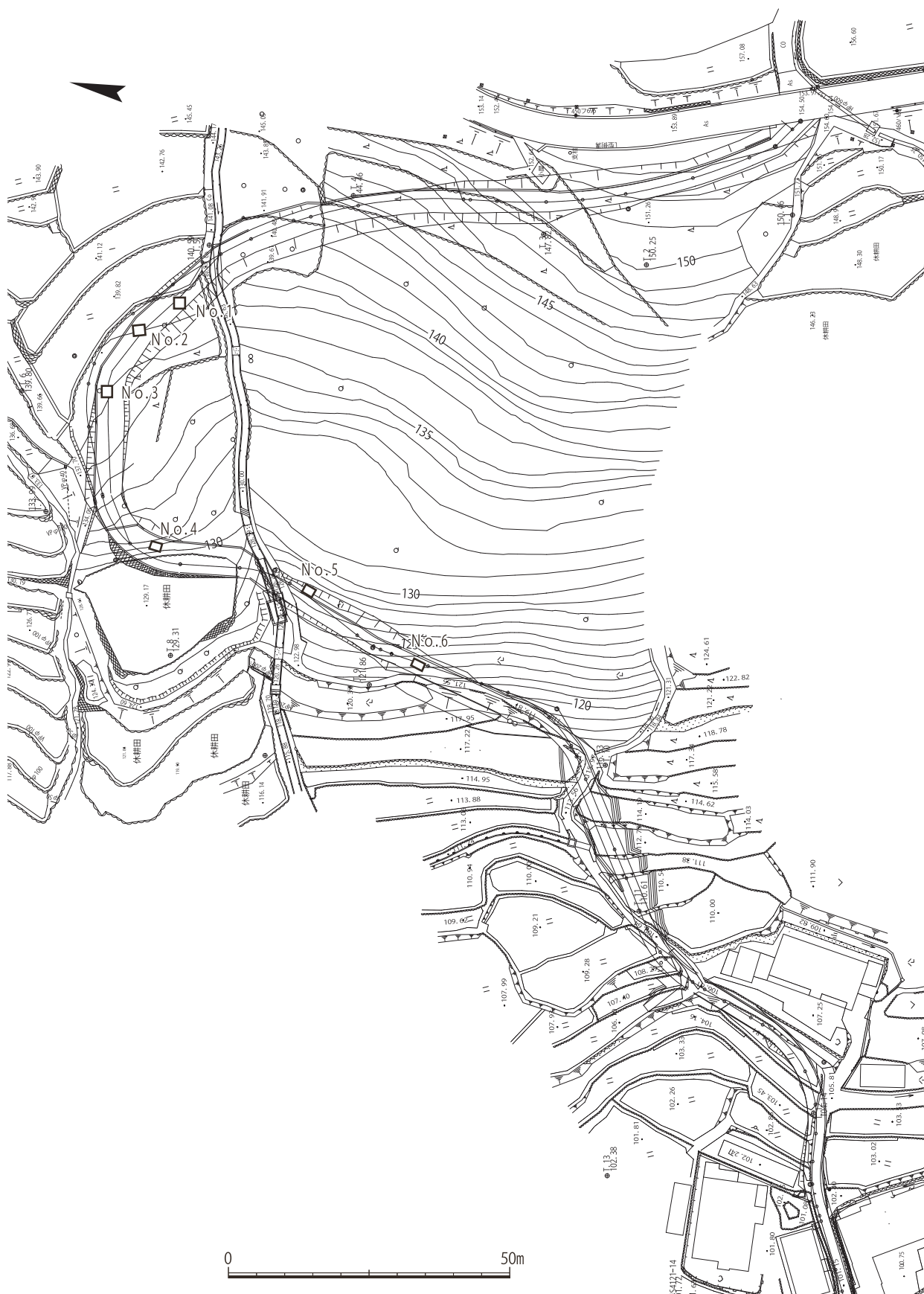


図 15 中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 古子中部農道 調査区 (1/1,000)



調査地現況



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 4 トレンチ



No. 5 トレンチ



No. 6 トレンチ



作業状況

⑤ 中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 野添農業集落道 (図 13・16、写真図版 10)

調査対象地所在地	伊万里市二里町中里甲地内
調査対象面積	377㎡ (調査面積 16㎡)
調査担当者	伊万里市教育委員会 生涯学習課 文化財係 徳久幸江
調査期間	平成 23 年 3 月 18 日～3 月 22 日

調査対象地区の立地

野添集落は縄文時代・弥生時代の散布地である吉野遺跡にあり、調査対象地区は遺跡の西側に位置している。また、大きく西から東へと傾斜する丘陵の北東側、標高 45 ～ 70 m に立地しており、調査対象地区は南から北へと吉野川に向かって傾斜している。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

周辺は、縄文時代・弥生時代の散布地が丘陵ごとに点在しており、調査対象地区の南側には縄文・弥生の散布地である早川遺跡が隣接している。また、有田川を越えた東側には黒曜石原産地である腰岳遺跡群があり、地元住民の話では、以前は畑から黒曜石の石器が頻繁に発見されたとのことである。

調査方法

集落内を東西方向に走る道路北側の丘陵尾根部分にあたる標高約 70 m の畑に 4 箇所、集落内を南北方向に走る道路東側の標高約 45 ～ 50 m の畑に 4 箇所のトレンチを設定し、作業員による人力掘削で調査を行った。

調査内容

(検出遺構)

検出しなかった。

(出土遺物)

No. 2・3・5・6・7 トレンチの表土及び盛土から、近世・近代の陶磁器片が出土した。

所見・その他

野添集落は近世に集落として形成され、現在に至っている。そのため、家屋等の建設・増改築、田畑の開墾・造成時には、黒曜石の原石・石器と共に近世・近代の陶磁器片も相当量出土したという。今回、遺物は全て表土(畑の土)及び嵩上げによる盛土の中から出土している。また、一番大きいもので約 4 cm、小さいものは約 0.5 cm という小破片ばかりであり、破損が著しい。集落形成のあり方から見て、この場でこれらの遺物が廃棄された可能性は高いが、田畑の土を別の場所からもってきているため、その中に混入していたとも考えられる。

また、吉野遺跡は縄文・弥生の遺跡であるが、それを示唆する遺物・遺構は今回発見されなかった。

調査後の取り扱い

支障なし。



図 16 中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 野添農業集落道 調査区 (1/1,000)



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 4 トレンチ



No. 5 トレンチ



No. 6 トレンチ



No. 7 トレンチ



No. 8 トレンチ

4) 藤津地区の調査

(1) 鹿島市

① 中山間地域総合整備事業 鹿島地区 大宮田尾地区ほ場整備 (図 17 ～ 18)

調査対象地所在地	鹿島市大字音成地内
調査対象面積	45,000m ² (調査面積 102m ²)
調査担当者	鹿島市教育委員会 生涯学習課 文化係 江島賢一・広瀬正孝
調査期間	平成 21 年 10 月 1 日～ 10 月 5 日

調査対象地区の立地

調査対象地区の所在する鹿島市大字音成の大宮田尾地区は、多良岳山系から放射状に延びる丘陵地帯の中腹、標高約 215 m ～ 147 m の谷地に位置する。大宮田尾地区は多良岳横断林道沿いに位置する細長い谷地形であり、狭小な水田が数段にわたって設けられ、斜面部分は山林となっている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査地内及び近隣には周知の埋蔵文化財包蔵地は存在しない。

調査方法

工事予定区域内に 3 m × 2 m を基本としたトレンチを 17 箇所設定し調査を行った。掘削機で適当な深さまで掘削を行い、その後必要に応じて人力での掘削・精査を行った。

調査内容

(検出遺構)

検出しなかった。

(出土遺物)

出土しなかった。

所見・その他

遺構・遺物ともに発見されないことから、工事予定区域内においては、遺跡の存在は認められない。

調査後の取り扱い

支障なし。



図 17 中山間地域総合整備事業 鹿島地区 位置 (1/25,000)

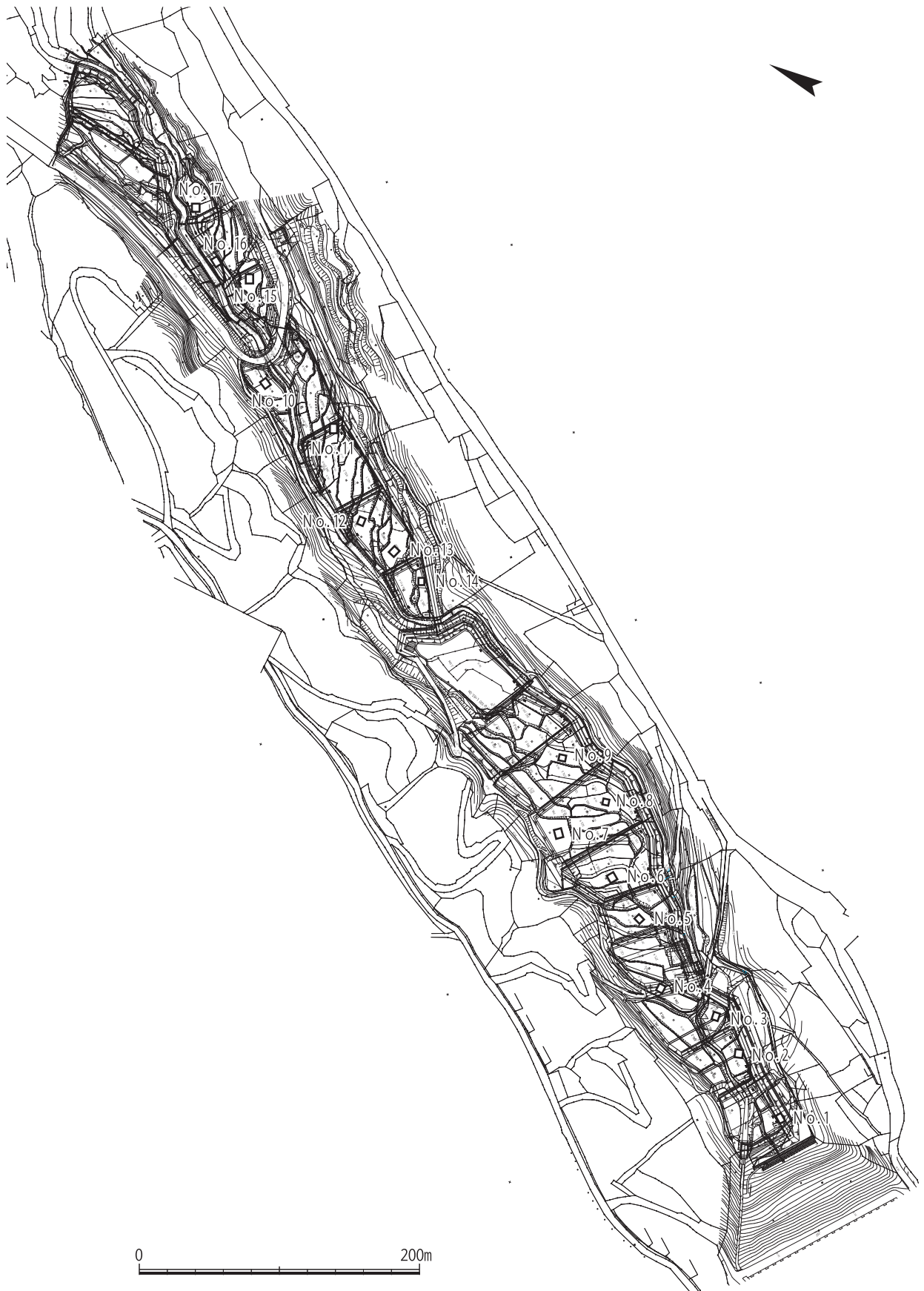


図 18 中山間地域総合整備事業 鹿島地区 大宮田尾地区ほ場整備 調査区 (1/4,000)

② 中山間地域総合整備事業 鹿島地区 一本松地区ほ場整備（図 17・19）

調査対象地所在地	鹿島市大字飯田地内
調査対象面積	21,000m ² （調査面積 66m ² ）
調査担当者	鹿島市教育委員会 生涯学習課 文化係 江島賢一・広瀬正孝
調査期間	平成 21 年 9 月 29 日

調査対象地区の立地

調査対象地区の所在する鹿島市大字飯田の一本松地区は、多良岳山系から放射状に延びる丘陵地帯の中腹、標高約 163 m～194 m の谷地に位置する。一本松地区は多良岳横断林道沿いの細長い谷地形であり、狭小な水田が数段にわたって設けられ、斜面部分は山林となっている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査地内及び近隣には周知の埋蔵文化財包蔵地は存在しない。

調査方法

工事予定区域内に 3 m×2 m を基本としたトレンチを 11 箇所設定し調査を行った。掘削機で適当な深さまで掘削を行い、その後必要に応じて人力での掘削・精査を行った。

調査内容

（検出遺構）

検出しなかった。

（出土遺物）

出土しなかった。

所見・その他

遺構・遺物ともに発見されないことから、工事予定区域内においては、遺跡の存在は認められない。

調査後の取り扱い

支障なし。

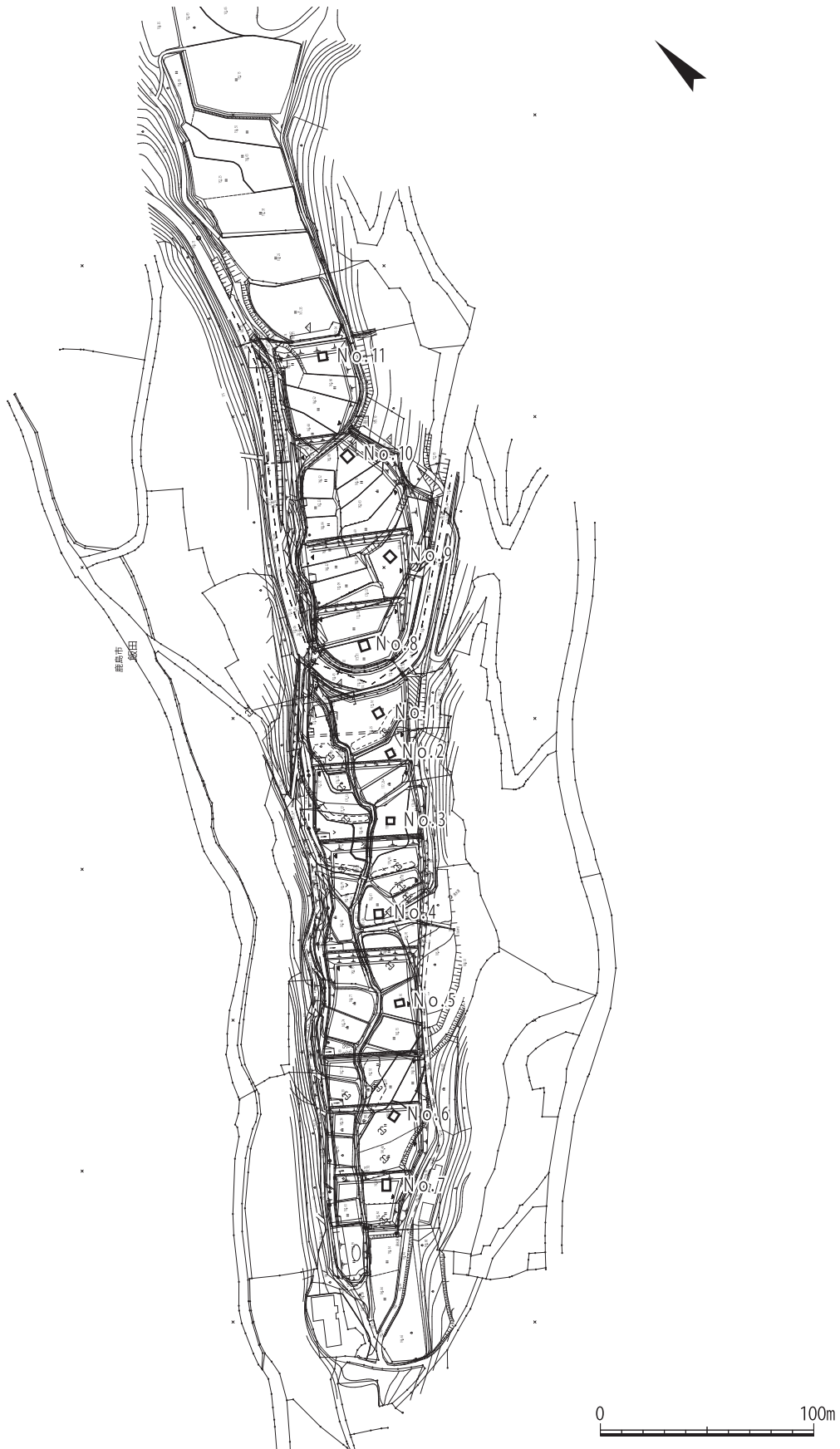


図 19 中山間地域総合整備事業 鹿島地区 一本松地区ほ場整備 調査区 (1/3,000)

③ 中山間地域総合整備事業 鹿島地区 本浦・善王寺地区ほ場整備（図 17・20、写真図版 11）

調査対象地所在地	鹿島市大字飯田地内
調査対象面積	71,000㎡（調査面積 312㎡）
調査担当者	鹿島市教育委員会 生涯学習課 文化係 江島賢一・広瀬正孝
調査期間	平成 22 年 3 月 12 日～3 月 19 日

調査対象地区の立地

調査対象地区の所在する鹿島市大字飯田の本浦・善王寺地区は、多良岳山系から放射状に延びる丘陵地帯の先端近く、標高約 4 m～70 mの緩やかな丘陵とそれらに挟まれた谷地に位置する。

善王寺地区の大部分を占める丘陵地にはみかん園が開かれ、一部は畑地および雑種地となっている。細長い谷地部分に広がる本浦地区には狭小な水田が数段にわたって設けられ、斜面にはみかん園が広がっている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査地の東側の丘陵部には飯田遺跡が存在し、近年の調査では中世の山城があったことも分かっている。

調査方法

工事予定区域内に 3 m×2 mを基本としたトレンチを 52 箇所設定し調査を行った。掘削機で適当な深さまで掘削を行い、その後必要に応じて人力での掘削・精査を行った。

調査内容

（検出遺構）

検出しなかった。

（出土遺物）

出土しなかった。

所見・その他

遺構・遺物ともに発見されないことから、工事予定区域内においては、遺跡の存在は認められない。

調査後の取り扱い

支障なし。

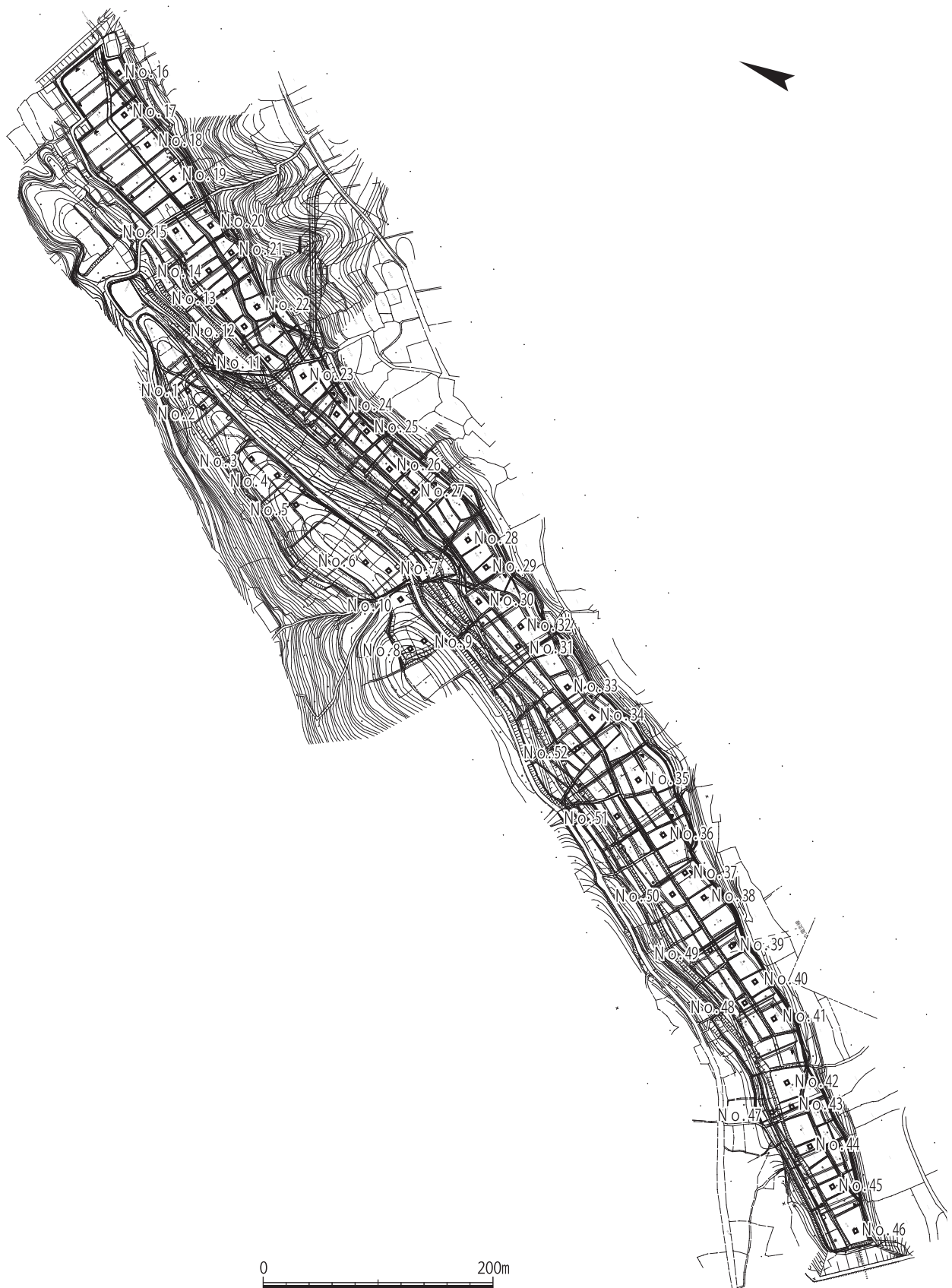


図 20 中山間地域総合整備事業 鹿島地区 本浦・善王寺地区ほ場整備 調査区 (1/5,000)



調査地現況



No. 5 トレンチ



No.10 トレンチ



No.18 トレンチ



No.29 トレンチ



No.35 トレンチ



No.40 トレンチ



No.50 トレンチ

2 その他の公共事業に係る文化財確認調査

1) 西九州自動車道建設事業に係る文化財確認調査

(1) 伊万里市

① 唐津伊万里道路 重橋地区 (図 21 ～ 22、写真図版 12)

調査対象地所在地	伊万里市南波多町重橋地内
調査対象面積	7,000㎡ (調査面積 80㎡)
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財調査担当 市川浩文 文化財指導・世界遺産推進担当 徳島崇
調査期間	平成 22 年 9 月 24 日

調査対象地区の立地

徳須恵川の支流、板治川に開析された平野部の北側丘陵部に位置し、対象地の標高は約 40 ～ 60 m、川からの比高差は約 15 m である。

ほぼ全面が果樹園造成により耕地化されており、旧地形の起伏は判然としないが、河川に面した高台である点、西側に近接して周知の埋蔵文化財包蔵地である本城跡 (川副城跡) が位置することから、遺跡の存在が推定された。なお、唐津市との市境からは、約 700 m の位置にあたる。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査地は本城跡 (川副城跡) が近接する以外は、周辺部に縄文の散布地が散在するのみで、発掘調査例はない。また、平野部沿いに設けられていたと推定される唐津街道からは約 1000 m の距離がある。

調査方法

対象地内の 7 箇所にトレンチを設定し、掘削機により掘下げを行い、人力による精査を行った。記録については、写真撮影及び平面図・土層略図を作成し、調査後は埋め戻しを行った。

調査内容

(検出遺構)

検出しなかった。

(出土遺物)

出土しなかった。

所見・その他

旧地形は狭い尾根と谷部からなる起伏の大きな地形であり遺跡の立地の可能性が低いことに加え、耕地化に伴い大きく改変されていることから、遺構が存在する可能性は極めて低いものと推定される。

調査後の取り扱い

支障なし。



図 21 西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 位置 (1/30,000)

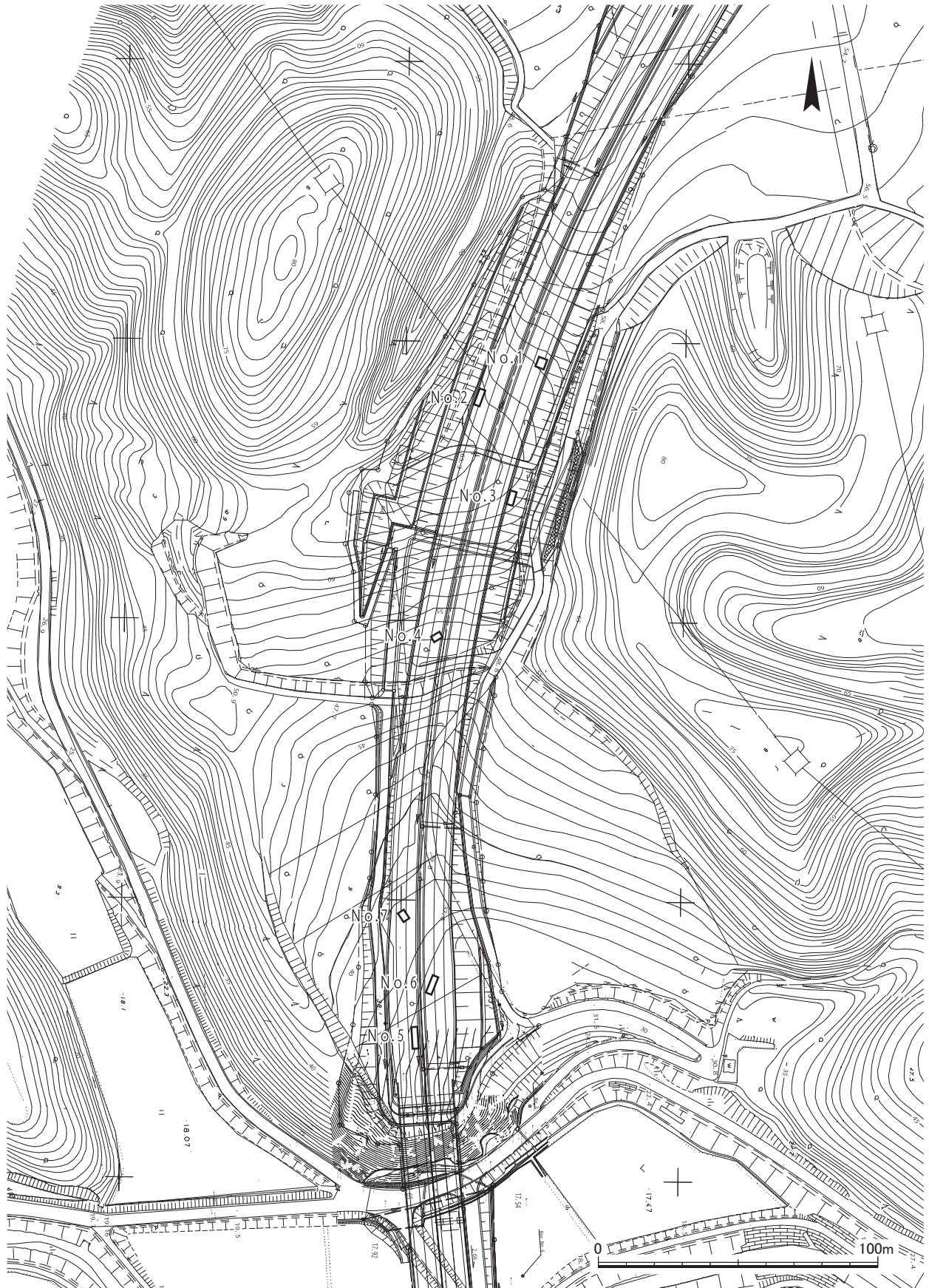


図 22 西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 重橋地区 調査区 (1/2,000)



調査地現況



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 4 トレンチ



No. 5 トレンチ



No. 6 トレンチ



No. 7 トレンチ

② 唐津伊万里道路 原屋敷地区（図 21・23、写真図版 13）

調査対象地所在地	伊万里市南波多町原屋敷地内
調査対象面積	3,200㎡（調査面積 60㎡）
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財調査担当 市川浩文
調査期間	平成 21 年 10 月 20 日

調査対象地区の立地

大野岳（標高 424 m）と城古岳に挟まれた谷間、標高約 55 ～ 56 m にあたり、徳須恵川の支流である原屋敷川が東南流する。対象地の現状は全面が水田であり、さらに過去の圃場整備により、大きく段造成がなされている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

対象地に隣接する丘陵部は中世山城、新久田城が所在し、曲輪・土塁がみられる。また、大野岳の東裾、及び原屋敷川が徳須恵川に合流する部分の低い丘陵部には、裏ノ原遺跡・平木場遺跡・京ノ峰遺跡などの縄文時代散布地が立地するが、今回の調査対象地については、遺跡分布上は空白地である。

調査方法

対象地内の 5 箇所にトレンチを設定し、掘削機により掘下げを行い、人力による精査を行った。記録については、写真撮影及び平面図・土層略図を作成し、調査後は埋め戻しを行った。

調査内容

（検出遺構）
検出しなかった。
（出土遺物）
黒曜石片 2 点

所見・その他

各トレンチでは圃場整備に伴う造成土が確認され、その下位より原屋敷川の旧河道に伴う氾濫原堆積物、その下に玄武岩基盤の風化面が検出されており、圃場整備による改変がかなり大規模であることが明らかとなった。上記のとおり、旧地形が大きく失われていることから遺物包含層の残存も見込み難く、また地山面の精査においても遺構は確認できなかった。

よって確認調査の結果、遺跡は存在しないものと考えられる。

調査後の取り扱い

支障なし。

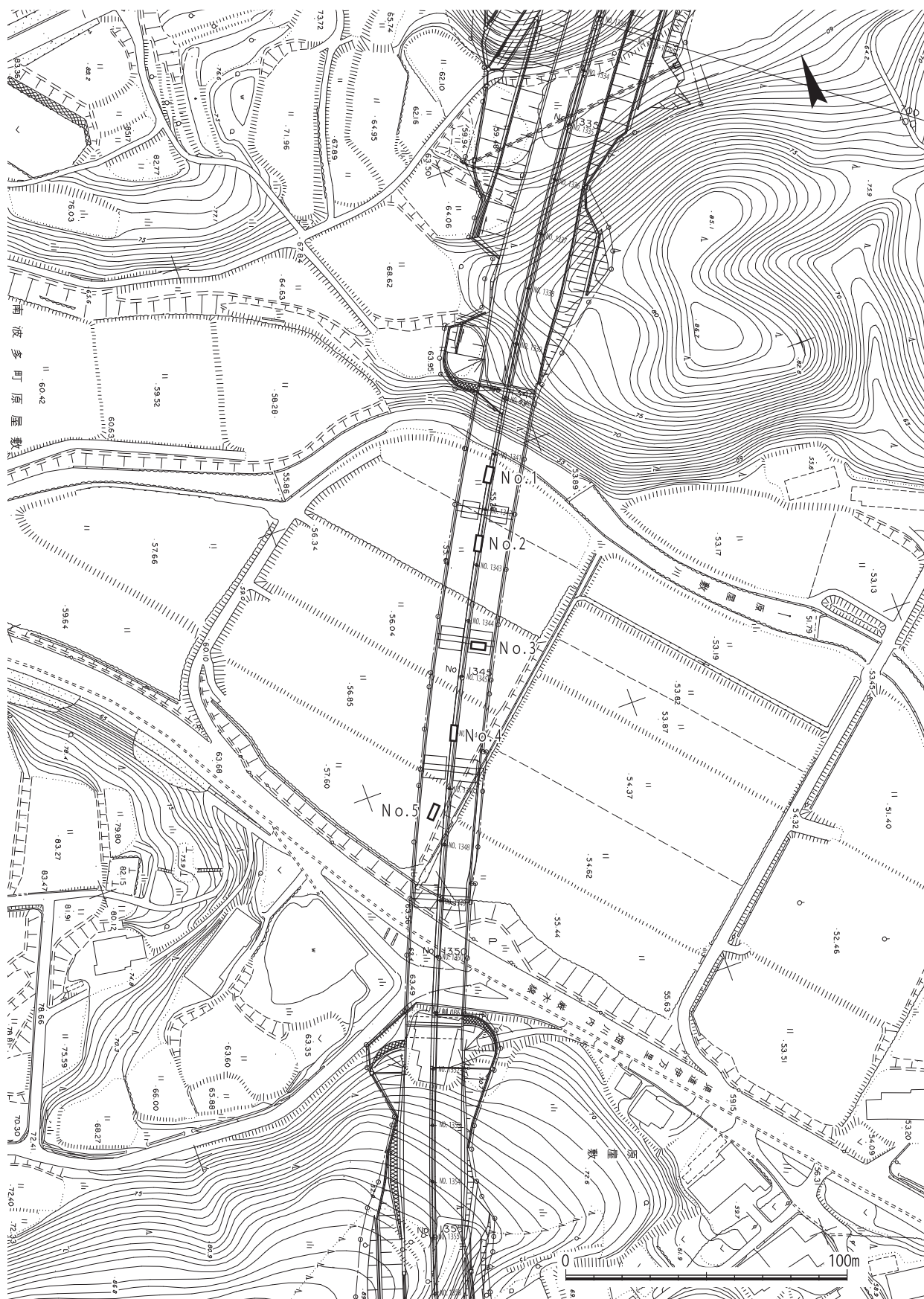


図 23 西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 原屋敷地区 調査区 (1/2,000)

③ 唐津伊万里道路 府招下地区（1）（図 21・24、写真図版 13）

調査対象地所在地	伊万里市南波多町府招下地内
調査対象面積	5,000㎡（調査面積 46㎡）
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財調査担当 市川浩文
調査期間	平成 21 年 11 月 18 日

調査対象地区の立地

城古岳（404.0 m）の東麓、徳須恵川沿いの狭い平野部へと延びる丘陵に挟まれた標高 51 ～ 53 m の狭い谷部にあたる。全面が水田化されて旧地形は判然としないが、かつては、現在、南側尾根を流下する川に面した段丘状の地形であったと思われる。現状では北側・南側の尾根に挟まれた、幅 100 m 程の谷部であり、川は南側尾根の裾部に沿って流れている。対象地は大きな高低差はないものの、水田によって区画化されており、現在の川も付け替えによるものである。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査対象地から約 500 m 離れた対象地南側の尾根が平野部を望む先端部付近は新屋敷遺跡（縄文時代の散布地）となっており、周辺部にも縄文時代の散布地が散在するが、いずれも発掘調査例はなく実態は不明である。また平野部沿いに設けられていたと推定される唐津街道からは約 500 m の距離がある。

調査方法

対象地内の 4 箇所にトレンチを設定し、掘削機により掘下げを行い、人力による精査を行った。記録については、写真撮影及び平面図・土層略図を作成し、調査後は埋め戻しを行った。

調査内容

（検出遺構）

検出しなかった。

（出土遺物）

出土しなかった。

所見・その他

調査の結果、各トレンチでは、耕作土下で厚さ 0.5 m 程の盛土が見られ、その下面で褐色あるいは灰褐色の玄武岩の風化土壌からなる地山が検出された。地山は特に No. 1・2 トレンチでは風化礫の混入具合が少なく、地山の削平は比較的浅いものと推定される。一方、山側にあたる No. 3・4 トレンチでは同じく造成土下より地山が確認されているが、地山面での風化礫の混入はより多く、No. 1・2 トレンチ付近よりも地山の掘削がより深くまで及んでいるようである。

各トレンチの精査の結果、遺構・遺物は検出できず、耕地化による切り盛りも考慮すると、遺構が遺存している可能性は極めて低いものと考えられる。

調査後の取り扱い

支障なし。

④ 唐津伊万里道路 府招下地区（2）（図 21・24、写真図版 14）

調査対象地所在地	伊万里市南波多町府招下地内
調査対象面積	6,500㎡（調査面積 81㎡）
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財調査担当 市川浩文
調査期間	平成 22 年 9 月 29 日

調査対象地区の立地

大野岳（424.0 m）の南麓、徳須恵川沿いの狭い平野部へと延びる丘陵尾根上にあたる。この尾根上の東方には、周知の埋蔵文化財包蔵地である下万場遺跡（縄文時代の散布地）がある。当該地の一つ南側の尾根では、平野部を望む先端部付近が新屋敷遺跡（縄文時代の散布地）となっている。

全面が耕地化されて旧地形の起伏は判然とせず、現況は放棄された水田である。なお、30 年以上前に一部を除いて耕作は止めており、開拓された時期ははっきりとしないものの、明治ないし大正期と考えられている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査対象地は下万場遺跡・新屋敷遺跡が近接する以外は周辺部に縄文時代の散布地が散在するのみである。また、新屋敷遺跡についても発掘調査例はなく、実態は不明である。平野部沿いに設けられていたと推定される唐津街道から約 500 m の距離がある。

調査方法

対象地内の 6 箇所にトレンチを設定し、掘削機により掘下げを行い、人力による精査を行った。記録については、写真撮影及び平面図・土層略図を作成し、調査後は埋め戻しを行った。

調査内容

（検出遺構）

検出しなかった。

（出土遺物）

トレンチ内からの出土遺物はないが、No. 3～No. 6 トレンチを設定した水田耕作土表面より、黒曜石片、近世陶磁器（肥前陶器刷毛目皿・灯明皿、染付碗）小片を採集した。黒曜石は 60 点余りがあり、1 cm 以下の碎片が主体であるが、石鏃 2 点もある。

所見・その他

表面に一定量の黒曜石の散布がみられ、開拓時期が近代に遡るため遠隔地から客土したことは考え難いので、かつて周辺部に遺跡が存在した可能性が考えられるが、現況地形は尾根状地形が大きく改変されており、遺構が存在する可能性は極めて低いものと推定される。

調査後の取り扱い

支障なし。

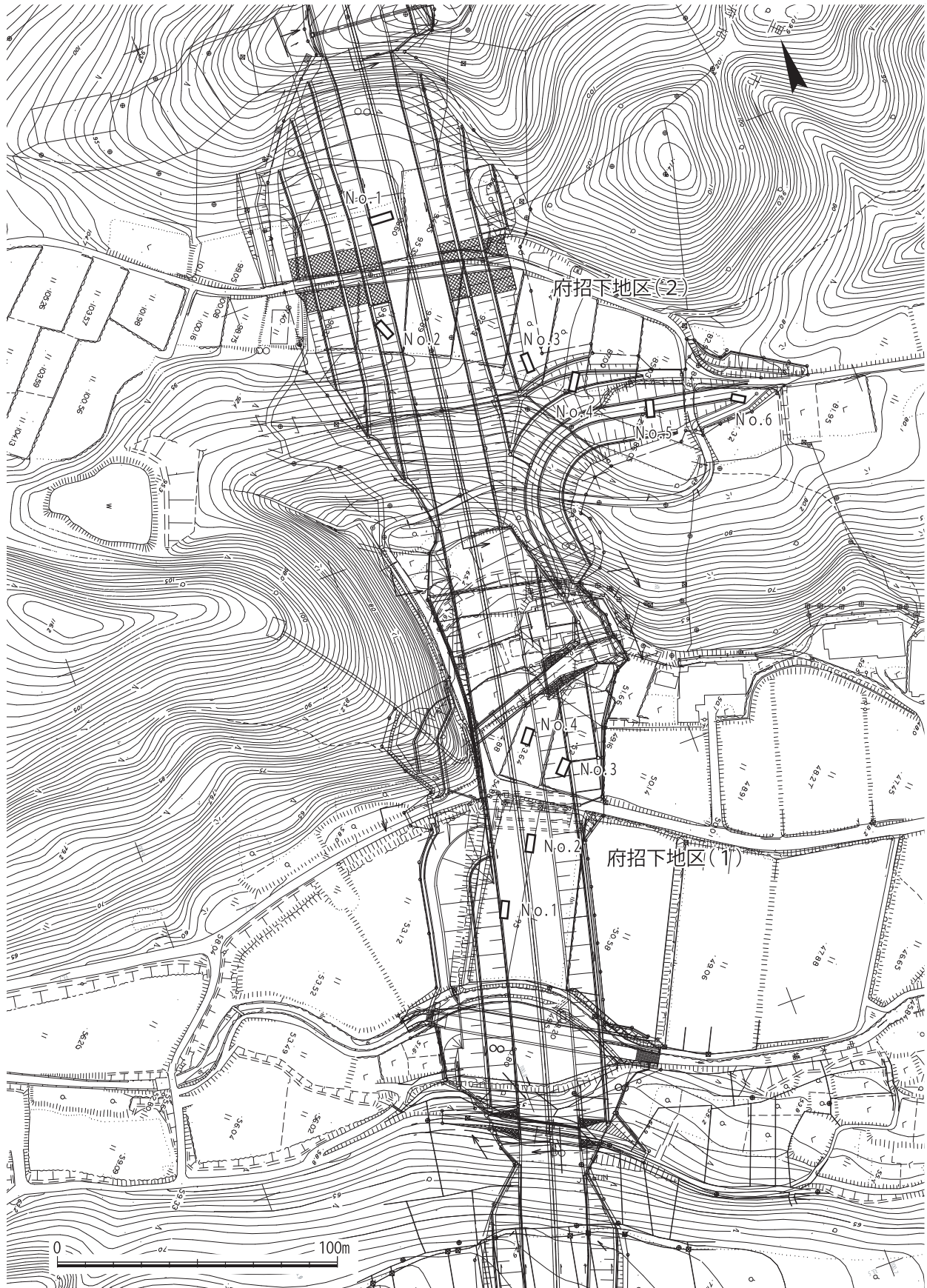


図 24 西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招下地区 (1) (2) 調査区 (1/2,000)



原屋敷地区 調査地現況



原屋敷地区 No. 1 トレンチ



原屋敷地区 No. 3 トレンチ



原屋敷地区 No. 5 トレンチ



府招下地区（1） 調査地現況



府招下地区（1） No. 1 トレンチ



府招下地区（1） No. 2 トレンチ



府招下地区（1） No. 4 トレンチ



府招下地区（2） 調査地現況



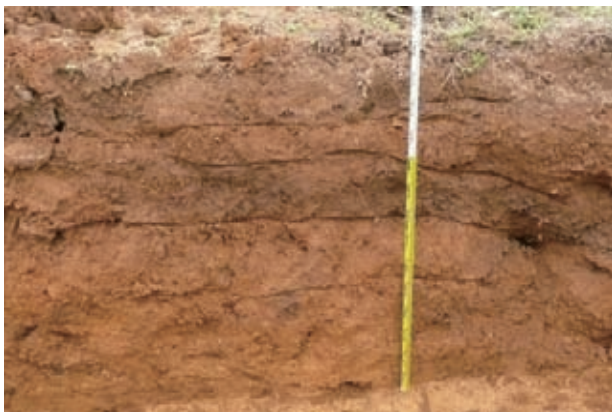
府招下地区（2） No. 1 トレンチ



府招下地区（2） No. 2 トレンチ



府招下地区（2） No. 3 トレンチ



府招下地区（2） No. 3 トレンチ土層



府招下地区（2） No. 4 トレンチ



府招下地区（2） No. 5 トレンチ



府招下地区（2） No. 6 トレンチ

⑤ 唐津伊万里道路 府招上地区（図 21・25、写真図版 15）

調査対象地所在地	伊万里市南波多町府招上地内
調査対象面積	9,000㎡（調査面積 120㎡）
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財調査担当 市川浩文 文化財指導・世界遺産推進担当 徳島崇
調査期間	平成 22 年 12 月 20 日～ 12 月 22 日

調査対象地区の立地

大野岳（424.0 m）の南麓、徳須恵川沿いの狭い平野部へと延びる丘陵尾根に挟まれた谷部にあたる。近隣の遺跡は少なく、北方約 300 m の尾根上に新屋敷遺跡が知られているが、平成 21 年度に実施した確認調査では地形の改変が著しく、遺跡は確認されていない。

対象地の全面は水田化されて大きくは緩やかな地形となっており、山側（西側）の水田の多くは放置されている。なお、最終的な圃場整備は昭和 50 年とのことである。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査対象地は新屋敷遺跡が近接する以外は周辺部に縄文時代の散布地が散在するのみである。また平野部沿いに設けられていたと推定される唐津街道からは約 200 m の距離がある。

調査方法

対象地内の 8 箇所にてトレンチを設定し、掘削機により掘下げを行い、人力による精査を行った。記録については、写真撮影及び平面図・土層略図を作成し、調査後は埋め戻しを行った。

調査内容

（検出遺構）

No. 5・7 トレンチで旧水田に伴う杭・横木が検出されたのみで、明確な遺構は検出されなかった。

（出土遺物）

No. 2 トレンチから近世陶器碗小片、No. 3 トレンチから近世陶器皿小片、No. 4 トレンチから近世磁器小片、No. 5 トレンチから黒曜石剥片・近世陶器片の各トレンチで遺物が出土したが、いずれも造成土中である。

所見・その他

調査の結果、調査区内に二つの谷が埋没しており、現況地形は現状よりも地形の起伏が大きかったことが明らかとなった。近代以降、繰り返された耕地化により旧地形が大きく改変されている上、旧地形についても、谷部の傾斜が比較的急である一方、尾根は狭く痩せており、いずれも集落等の遺跡が存在していた可能性は低いものと判断される。また、東側の最も低い部分（No. 7 トレンチ）では、湧水も著しく、かつては湿地状の地形であったことが想像される。以上のことより、対象地内に遺構が存在する可能性は極めて低いものと推定される。

調査後の取り扱い

支障なし。

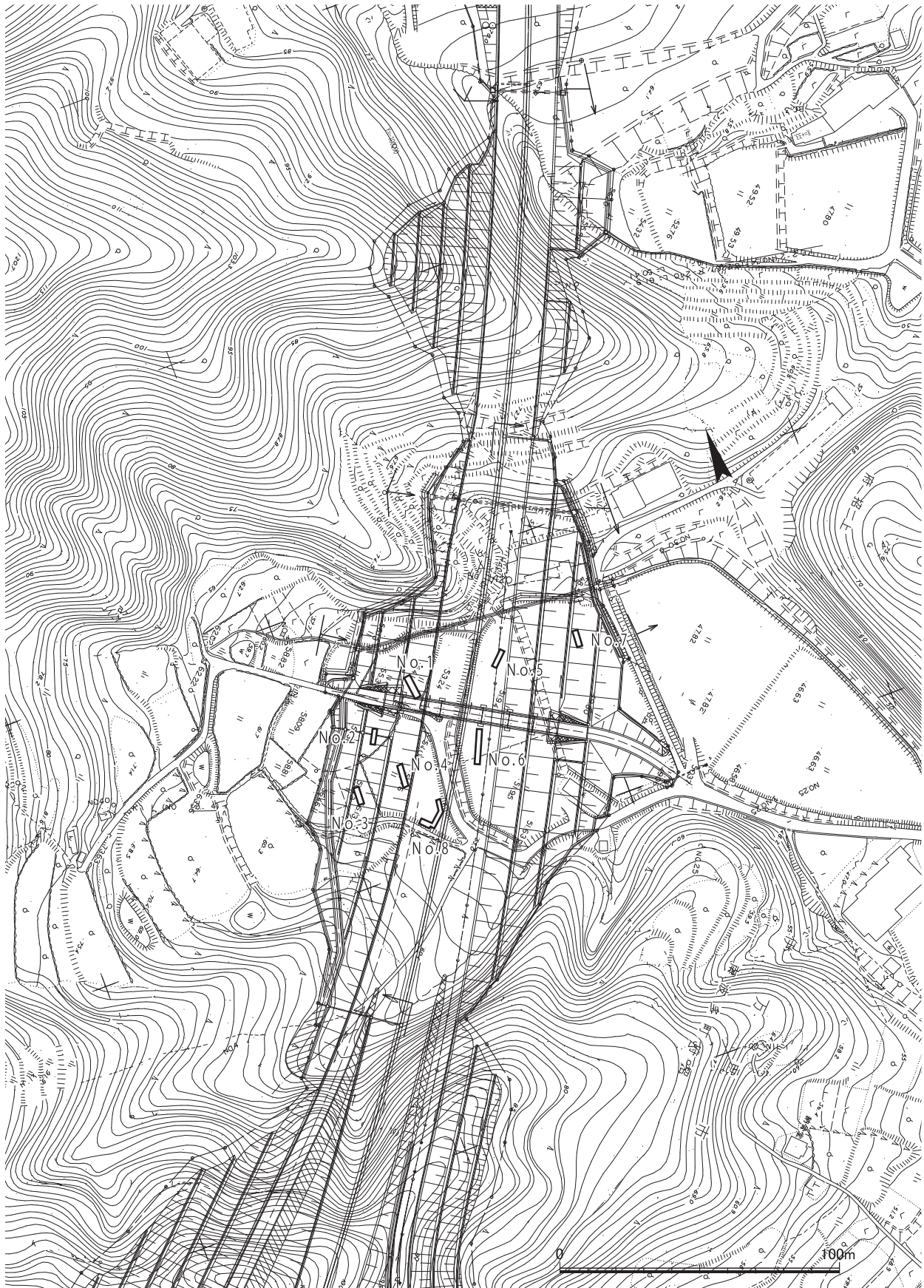


図 25 西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招上地区 調査区 (1/2,000)



調査地現況



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 5 トレンチ



No. 6 トレンチ



No. 7 トレンチ



No. 8 トレンチ

⑥ 伊万里松浦道路 久原地区（１）（図 26～27、写真図版 16）

調査対象地所在地	伊万里市山代町久原地内
調査対象面積	4,000㎡（調査面積 108㎡）
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財調査担当 市川浩文 文化財指導・世界遺産推進担当 徳島崇
調査期間	平成 22 年 8 月 2 日～8 月 3 日

調査対象地区の立地

中世山城が立地する城山（346 m）の北東山麓、伊万里湾に向かって細く延びる丘陵に挟まれた谷部にあたり、対象地の標高は海拔 2～10 m である。旧地形では、西側の丘陵部から、かつて潟であった東側にむかって斜面となっていたと推定されるが、現状では丘陵側が水田化されている一方、潟に近い部分では宅地となっている。

調査対象地区の東に沿って走る旧道は、安政 5（1858）年の絵図では、潟に面した海沿いの道として描かれており、中世以前までは波の打ち寄せる海岸部であったと考えられる。この潟部分も近世後期（宝暦・明和年間）に大波瀬・小波瀬堀の干拓に伴い造成され、近代以降は宅地が進んでいる。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査対象地の西側に隣接して打越遺跡（縄文時代・古墳時代、散布地）が存在するが、調査例はない。一方、東方約 700 m の小島には古墳時代後期の小島古墳が位置しているほか、調査対象地の二つ南の尾根上にあたる小波瀬遺跡（縄文時代・古墳時代、散布地）では石棺材と思われる板石がみられるなど、周辺に当該期の墓域が広がっていることも想定される。そのほか、前述した安政 5 年の絵図では、調査対象地内に集落が描写されており、やや本線から外れるものの、平戸道にそった街村といえる。

調査方法

対象地内の 7 箇所にトレンチを設定し、掘削機により掘下げを行い、人力による精査を行った。記録については、写真撮影及び平面図・土層略図を作成し、調査後は埋め戻しを行った。

調査内容

（検出遺構）

No. 2 トレンチで黒曜石剥片を含む遺物包含層と小穴を検出した。

（出土遺物）

No. 2 トレンチから黒曜石剥片と近世の陶磁器・土師器・瓦が出土した。

所見・その他

東側の宅地跡部分に設定した No. 2 トレンチにおいて、黒曜石を含む遺物包含層・近世段階と思われる小穴を確認した。当該部分では、砂岩基盤層からなる地山が大きな削平を被らず比較的良好に遺存しているものと推定される。その一方で、No. 1 トレンチではより低いレベルで砂岩基盤層が確認されたことにより、海に向かって地形的に下がっていく様子がみられたほか、No. 3 トレンチでは宅地化による攪乱が大きいなど、遺跡が残存する範囲は限られる。おそらくその広がりも、No. 2 トレンチ北側に位置する玄武岩巨石の南面を中心とした約 600㎡と推定される。

特に玄武岩巨石の南面は庇状にやや張り出すような形状で、埋没している部分を含めると横穴状の窪みとなっているように観察される。伊万里湾沿岸地域では、白蛇山岩陰遺跡（県史跡）・源平岩洞穴遺跡など縄文時代の岩陰・洞穴遺跡が多く確認されているが、これらでは、砂岩・玄武岩の岩盤・巨石の、南向き・東向きの範囲に生活面が確認されているなど当調査区との類似点が多く、当調査地についても縄文時代の岩陰遺跡の可能性が考えられる。また、その時期については、土器が未確認であるものの、石器の種類・形態から、今のところ後期～晩期と推定さ

れる。

またそのほか、小穴・近世陶磁器（江戸中期・後期）がみられることから、絵図でも描写があるように近世の集落も重複しているものと考えられる。

調査後の取り扱い

周知の埋蔵文化財包蔵地である打越遺跡の隣接地で縄文時代と近世の遺跡が存在することを確認し、打越遺跡の範囲を拡大して登録した。

今回の対象地区のうち遺跡の広がりを確認した範囲については、平成 23 年度に佐賀県教育委員会が記録保存のための発掘調査を実施した。

⑦ 伊万里松浦道路 久原地区（2）（図 26～27、写真図版 17）

調査対象地所在地	伊万里市山代町久原地内
調査対象面積	3,600m ² （調査面積 96m ² ）
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財調査担当 市川浩文 文化財指導・世界遺産推進担当 徳島崇
調査期間	平成 23 年 2 月 21 日～2 月 23 日、3 月 4 日～8 日

調査対象地区の立地

中世山城が立地する城山(346 m)の北東山麓にあたり、細い尾根が伊万里湾に向かって幾筋も延びている一方、尾根の間は狭い谷状地形となっている。尾根の先端部は、海岸付近において浸食され崖状の地形となっているが、谷の出口部分となる旧汀線付近は現在埋め立てられ、集落が立地する標高 2～3 m の平地となっている。尾根に挟まれた谷部は、現状では耕地化により畑地となっているが、旧地形では比較的緩やかな斜面であったと推定される。また谷部南側の尾根上についても、その尾根筋はある程度幅を持つ緩斜面となっている。調査対象地の標高は 15～30 m である。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査対象地の南側丘陵部は打越遺跡（縄文時代・古墳時代・近世、散布地）に含まれ、平成 22 年度の確認調査で縄文時代と推定される遺跡が確認されている。東方約 700 m の小島には古墳時代後期の小島古墳が位置しているほか、調査対象地の二つ南の尾根上にあたる小波瀬遺跡（縄文時代・古墳時代、散布地）では石棺材と思われる板石がみられるなど、周辺に当該期の墓域が広がっていることも想定される。

調査方法

対象地内の 12 箇所にトレンチを設定し、掘削機の搬入が困難であったため、人力により掘下げを実施し、併せて精査を行った。記録については、写真撮影及び平面図・土層略図を作成し、調査後は埋め戻しを行った。

調査内容

（検出遺構）

No. 1 トレンチの近現代の石採り跡と No. 8 トレンチの時期不詳の小穴のみで、明確な遺構は検出されなかった。

（出土遺物）

No. 9 トレンチの造成土中より黒曜石剥片と近世～近代染付片、No.10 トレンチの造成土中より近代染付片、No.12 トレンチの造成土中より黒曜石小片と近世陶磁器片が出土した。これらの出土遺物は記録後に埋戻した。

所見・その他

丘陵部では大規模な地形改変は認められないが、遺構・遺物は検出できず、遺跡が存在していた可能性は低い。また、谷部分は畑地造成等により大きく切り盛りがなされており、遺跡の痕跡は確認できなかった。

調査後の取り扱い

支障なし。

72

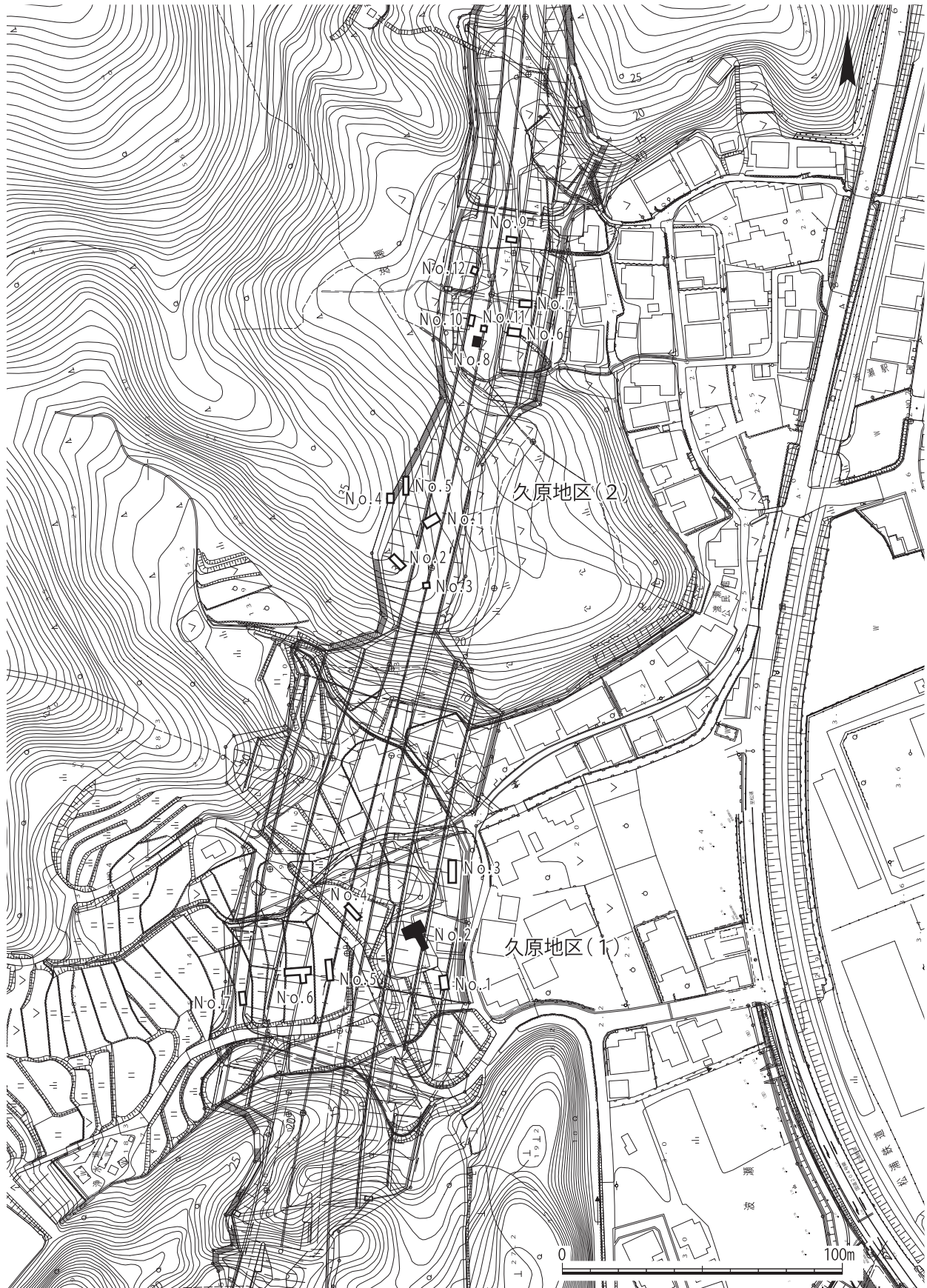


図 27 西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 久原地区 (1) (2) 調査区 (1/2,000)



調査地現況



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 4 トレンチ



No. 5 トレンチ



No. 6 トレンチ



No. 7 トレンチ



No. 1 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 5 トレンチ



No. 6 トレンチ



No. 7 トレンチ



No. 8 トレンチ



No.10 トレンチ



No.12 トレンチ

⑧ 伊万里松浦道路 立岩地区（図 26・28、写真図版 18）

調査対象地所在地	伊万里市山代町立岩地内
調査対象面積	6,000㎡（調査面積 50㎡）
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財調査担当 市川浩文 文化財指導・世界遺産推進担当 徳島崇
調査期間	平成 23 年 1 月 19 日

調査対象地区の立地

国見岳（495.0 m）の東麓は旧海岸線に面した部分で標高 50 m 前後の起伏の小さい台地状の丘陵部をなしている。この丘陵は海岸付近では浸食による崖状の地形となっているが、崖裾の旧汀線付近から海側に向かっては近世後期段階から埋立てが行われ、現在は集落が立地する標高 2～3 m の低地となっている。調査対象地は、旧地形ではこの海側に面した丘陵斜面から裾部分にあたるが、昭和 50 年代の鉱害復旧事業に伴い段造成が行われ、標高 2～10 m の水田となっている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査対象地は西側の丘陵上の観音谷遺跡をはじめ、縄文時代の散布地が広範囲に知られているが、発掘調査を経たものではなく、黒曜石等の石器は各所で表採されるものの、詳細は不明である。丘陵下の旧汀線部分は平戸街道のルートとなっており、佐代川を越えて浦之崎番所へと延びている様子が安政年間の絵図に描かれている。

調査方法

対象地内の 4 箇所にトレンチを設定し、掘削機により掘下げを行い、人力による精査を行った。記録については、写真撮影及び平面図・土層略図を作成し、調査後は埋め戻しを行った。

調査内容

（検出遺構）

検出されなかった。

（出土遺物）

No. 3 トレンチの造成土中より黒曜石片数点が出土した。

所見・その他

No. 1～3 トレンチでは表土下に鉱害復旧の盛土、ボタが厚く堆積し、その下面で砂岩の基盤層を検出した。その標高は海面付近の標高に近く、埋め立て前の旧地形は海岸の汀線付近と推定されるため、遺跡が存在していた可能性は低い。No. 4 トレンチでは削平された地山面を確認し、丘陵斜面も大きく削平されており、旧地形も残存していないようである。表土・盛土から少量の黒曜石片が出土したのみで、その他の遺物は確認されておらず、周辺に遺跡が存在していた痕跡は確認できていない。

調査後の取り扱い

支障なし。



図 28 西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 立岩地区 調査区 (1/2,000)



調査地現況



調査地現況



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 2 トレンチ土層



No. 3 トレンチ



No. 4 トレンチ



No. 4 トレンチ土層

2) 有明海沿岸道路整備事業に係る文化財確認調査

(1) 佐賀市

① 大川佐賀道路 為重地区 (図 29～33、写真図版 19～24、表 4)

調査対象地所在地	佐賀市諸富町大字為重地内
調査対象面積	23,500㎡ (調査面積 84.7㎡)
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財指導・世界遺産推進担当 細川金也 吉富清昭
調査期間	平成 21 年 8 月 12 日・11 月 18～19 日、平成 22 年 2 月 16 日～3 月 13 日

調査対象地区の立地

当該地は、佐賀平野の南部、筑後川の支流である早津江川の右岸に位置する標高 2～3 m の沖積地である。この地域は、福岡県との県境域であり、対岸は福岡県大川市大野島となる。東側には佐賀市諸富町の寺井津地区、南西側には佐賀市川副町の早津江津地区が、いずれも早津江川右岸に沿って形成されている。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

対象地は、三重津海軍所跡の北端部付近とその西側隣接地にあたり、東方には中世において筑後川河口部の重要港湾であった寺井津が位置している。

三重津海軍所は、藩の御船蔵（御船屋）の一つがあった三重津に幕末佐賀藩海軍の拠点として置かれたもので、早津江川沿いに長さ約 600 m に及ぶ。

今回の調査対象地の南側は三重津海軍所跡 2 区として旧諸富町教育委員会が堤防改修に伴う発掘調査を実施しており、北側は三重津海軍所跡 8－3 区・17 区（8－1・8－2 区を含む）として佐賀市教育委員会が内容確認のための発掘調査を実施している。これらの調査では、海軍所の遺構と海軍所設置の母体となった施設の遺構が発見されており、関連する遺構が一带に広がっているものと考えられる。

調査方法

確認調査は 3 次に分けて実施し、三重津海軍所跡の北西側隣接地で西寺井集落の西側にあたる地区に No. 1・2・5・6 トレンチ、三重津海軍所跡の北東部にあたる地区のうち早津江川堤防より陸側に No. 7・8 トレンチ、堤防より河川側に No. 3・4 トレンチの計 8 箇所のトレンチを設定して、掘削機を用いて掘り下げた後、作業員による精査を行った。なお、No. 7・8 トレンチについては、有明海沿岸道路計画に伴う確認調査のトレンチ番号としては一連番号で表記するが、三重津海軍所跡の調査区としては、No. 7 トレンチを三重津海軍所跡 8－4 区、No. 8 トレンチを三重津海軍所跡 8－5 区と読み替えている。

調査内容

(検出遺構)

No. 1 トレンチで南北方向の溝 1 条、小穴 1 基、No. 2 トレンチでも南北方向の溝 1 条、小穴 1 基を検出した。No. 1・2 トレンチで検出した溝は、いずれも幅約 0.4 m で、埋土は暗黒褐色土であり、走向から同一の遺構と考えられる。No. 1・2 トレンチの遺構は、基盤層の青灰色粘質土に掘り込まれている。

No. 3・4 トレンチでは、近世以前の明確な遺構は検出しなかった。

No. 5・6 トレンチでは、耕作の関係で基盤層まで掘り下げることができなかったが、中世後期から近世にかけての遺物を包含する灰色粘質土を検出した。No. 5 トレンチでは、この遺物包含層に掘り込まれた小穴 1 基を検出したが、遺構の時期は不詳である。

No. 7 トレンチは 15 × 10 m の調査区として設定し、灰褐色粘質土に掘り込まれた土坑 2 基 (SK01・SK02)、溝状遺構 5 条、不明遺構 3 基、小穴多数を検出した。SK01 は、長軸 0.65 m、短軸 0.45 m の東西方向に長い楕円形をした柱穴状の土坑で、埋土は炭化物を含む暗褐色粘質土である。SK02 は、平面楕円形で北西―南東方向に長

軸をとる土坑で、西側は調査区外に続く。埋土は灰褐色粘質土で分層できず、側壁に沿って杉皮を検出した。小穴については、直線的に並ぶ箇所もあるが、掘立柱建物跡として認定できるものはなかった。溝状遺構のうち4条は北西―南東の向きで並列し、埋土は黒褐色粘質土であるが、サブトレンチ（中央サブトレンチ）で断面観察した所見では下位の灰褐色粘質土との境は漸移的であり、これが変色した可能性がある。遺構が掘り込まれた灰褐色粘質土については、トレンチの北西・北東隅と中央の3箇所にサブトレンチを設定して掘下げ、近世後期以降の遺物を含む人為的な盛土（造成土）であることを確認した。No. 8 トレンチでは、全面に現代の造成層（褐色砂質土）が広がっており、調査期間等の関係で今回はトレンチ西側の幅約2 m分の掘下げに留まったため、No. 7 トレンチで検出した遺構群の広がりを確認することができなかったが、北西部分に設定したサブトレンチを更に掘下げたところ、No. 7 トレンチと同じ人為的な盛土（造成土）と考えられる灰褐色粘質土層を確認し、この粘質土層内で木杭を検出した。

（出土遺物）

No. 1・2 トレンチで検出した遺構から近世後期頃の陶磁器片や土師器細片が出土したが、取り上げは行わず現地保存した。

No. 3・4 トレンチからは近現代の陶磁器片が出土したのみであり、採集しなかった。

No. 5・6 トレンチの遺物包含層からは、中世後期から近世の陶磁器・土器・瓦・土錘が出土しており、中世後期の遺物が目立っている。

No. 7 トレンチから一部を掘下げた SK01 や SK02 の埋土から陶磁器・土器等の他、鉄滓・石炭等が出土した。陶磁器は19世紀前半～中頃に盛期がある資料が主で、先行するものを一部含み、おおむね近世後期～幕末期の所産である。また、小片とはいえ鍋島の出土は注意される。中央サブトレンチの灰褐色粘質土層には本瓦の破片がやや目立つほか、少量ながら18～19世紀代の陶磁器等が含まれており、遺構が掘り込まれた灰褐色粘質土層が近世後期～幕末の盛土（造成土）であることが確認された。

No. 8 トレンチでは、現代の造成層からであるが近世後期から近代の陶磁器・土器が出土した。

所見・その他

三重津海軍所跡の北東部にあたる地区に設定した No. 7・8 トレンチでは、近世後期～幕末期の大規模な盛土（造成土）層が確認され、この盛土層に掘り込まれた19世紀の遺構を検出した。これらの遺構は、三重津海軍所もしくは海軍所設置の母体となった藩の施設に関連するものと考えられる。今回の確認調査では遺構の有無と範囲の確認を主な目的とし、遺構の掘下げについては最小限しか行っていないため、遺構の時期や性格を絞り込むことは難しいが、三重津海軍所跡に特徴的な「海」「船」等の銘を持つ磁器がないことや周辺の調査状況から推測すると、海軍所の整備・拡充が進んだ安政6年（1859）より以前の施設に関する遺構の可能性はある。

なお、堤防より河川側にあたる No. 3・4 トレンチでは、明確な遺構を検出しなかったが、「三重津御船屋図」の描写では御船屋の外縁部にあたることから、平成23年度に No. 3・4 トレンチの東側で追加調査を実施している。

No. 1・2・5・6 トレンチでは、中世後期から近世にかけての遺構・遺物包含層が確認され、周辺にも遺物の散布が見られることから中世から近世の集落跡が広がっていると判断される。ただ、三重津海軍所跡の範囲に見られる大規模な盛土（造成土）は認められず、No. 1・2 トレンチで検出した遺構も青灰色粘質土の基盤層に掘り込まれていて、No. 7・8 トレンチの様相とは明らかに異なっている。

調査後の取り扱い

三重津海軍所跡は、遺跡の重要性に鑑み、史跡指定を目指した範囲・内容確認のための調査が佐賀市教育委員会により進められている。今回の確認調査で関連する遺構の存在が明らかになった地区については、史跡としての価値を損ねることのないよう、事業計画との調整を図っているところである。

三重津海軍所跡の西側で新たに発見された遺跡については、中世～近世集落跡の西寺井遺跡として登録した。事業実施の前に発掘調査による記録保存を含めた保存措置が必要である。

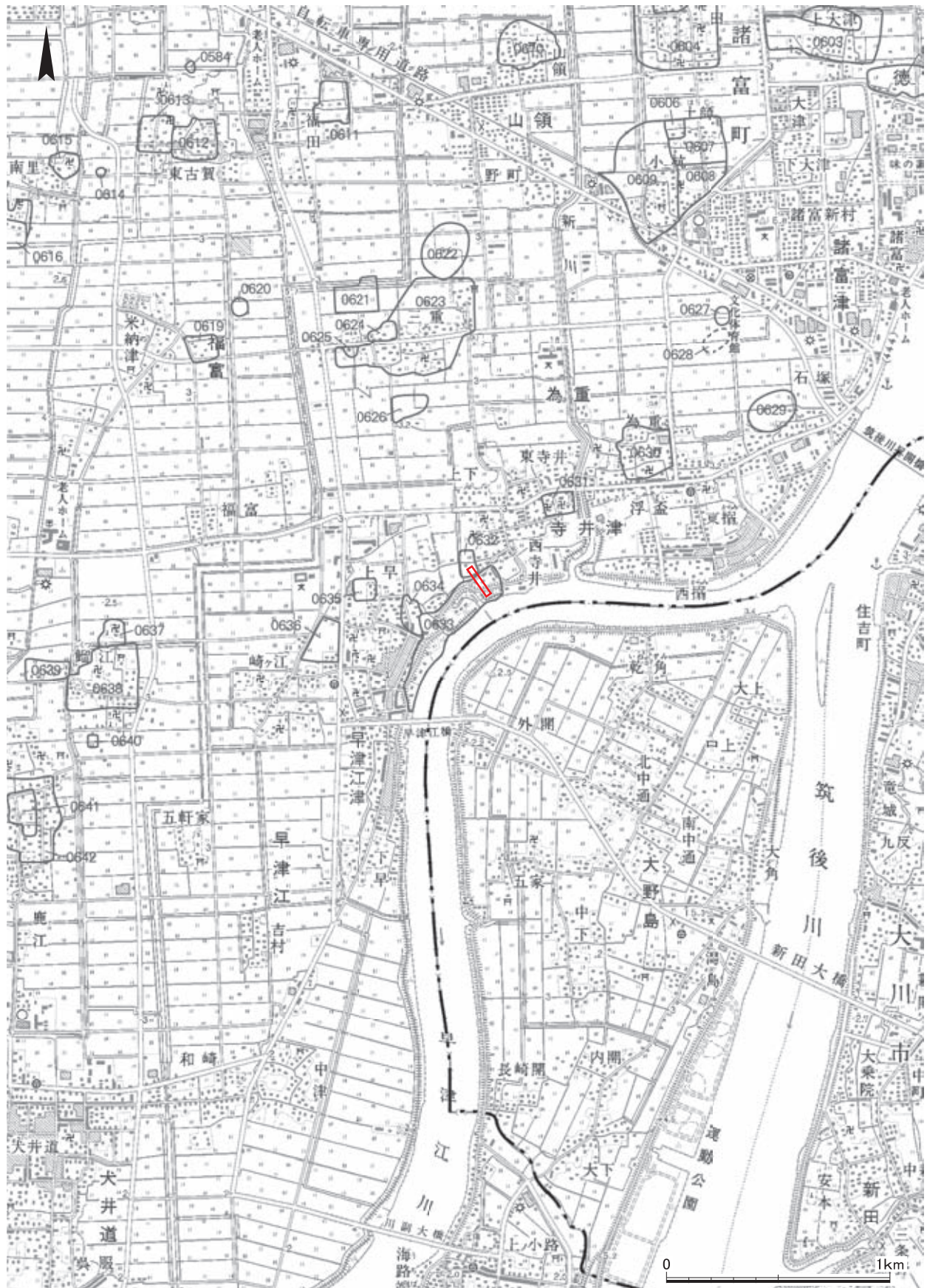


図 29 有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区 位置 (1/25,000)

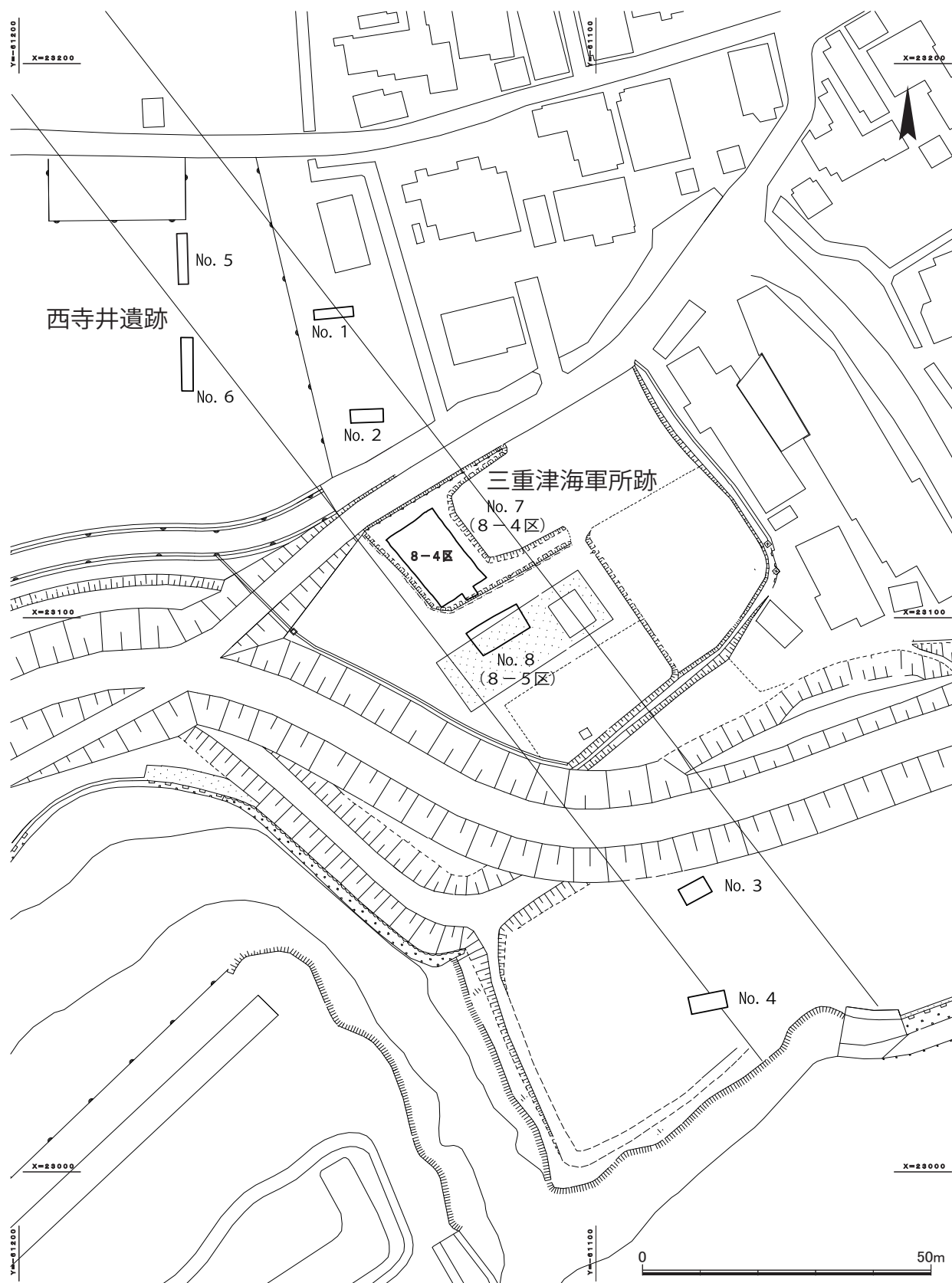


図 30 有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区 調査区 (1/1,000)

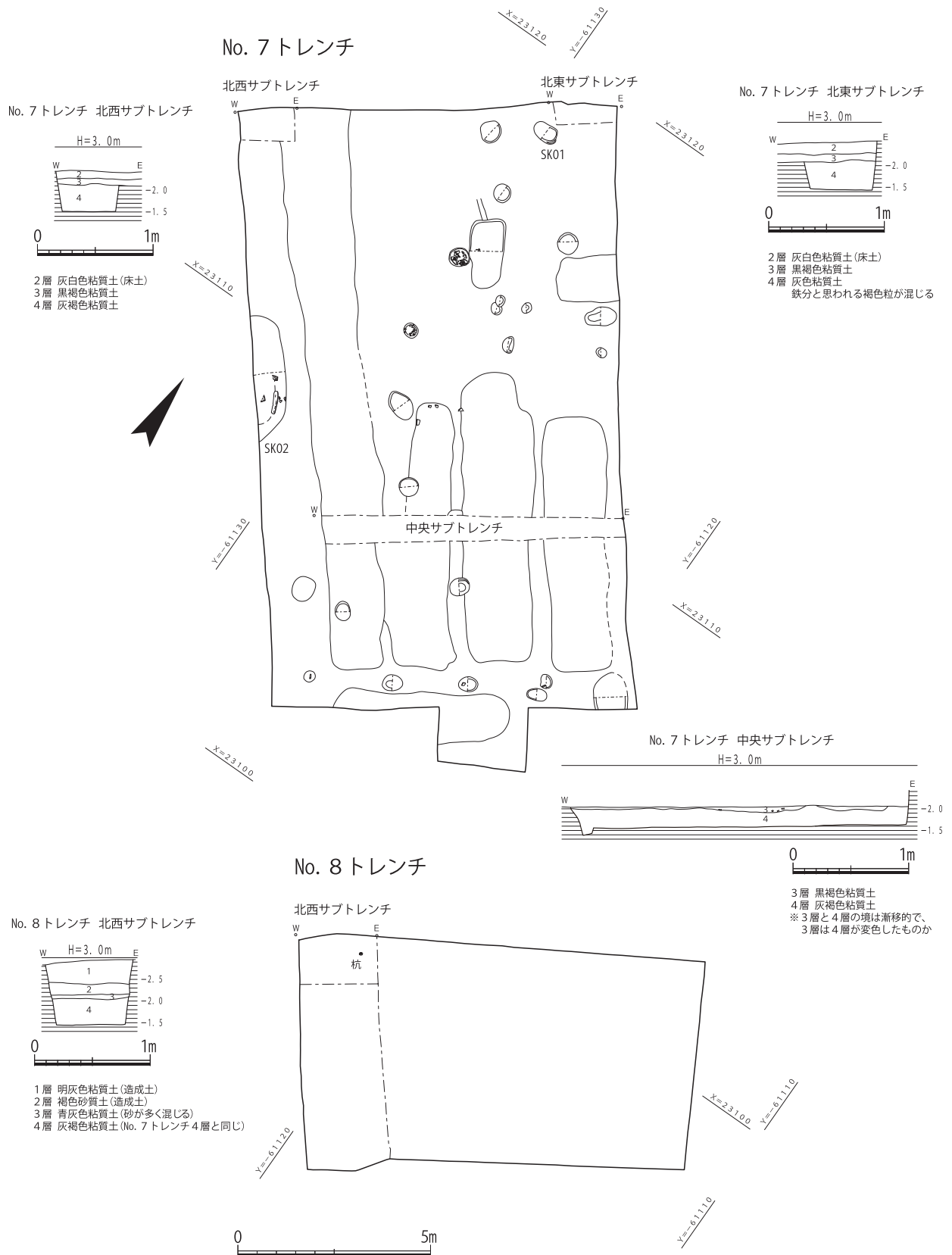


図 31 有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 為重地区 No. 7・8 トレンチ (1/150、1/50)



三重津海軍所跡周辺（佐賀城跡を望む）



三重津海軍所跡周辺（上流側を望む）



三重津海軍所跡周辺（有明海を望む）



三重津海軍所跡全景



No. 7・8トレンチ周辺（舟入地区を望む）



No. 7・8トレンチ周辺（大野島を望む）



No. 7・8トレンチ周辺



No. 7・8トレンチ全景



No. 7 トレンチ 全景



No. 7 トレンチ 遺構検出状況



No. 7 トレンチ SK01 検出状況



No. 7 トレンチ SK01



No. 7 トレンチ SK02



No. 8 トレンチ 土層



No. 3 トレンチ



No. 4 トレンチ



西寺井遺跡 調査地現況



No. 1 トレンチ



No. 1 トレンチ 遺構検出状況



No. 2 トレンチ



No. 2 トレンチ 土坑



No. 5 トレンチ



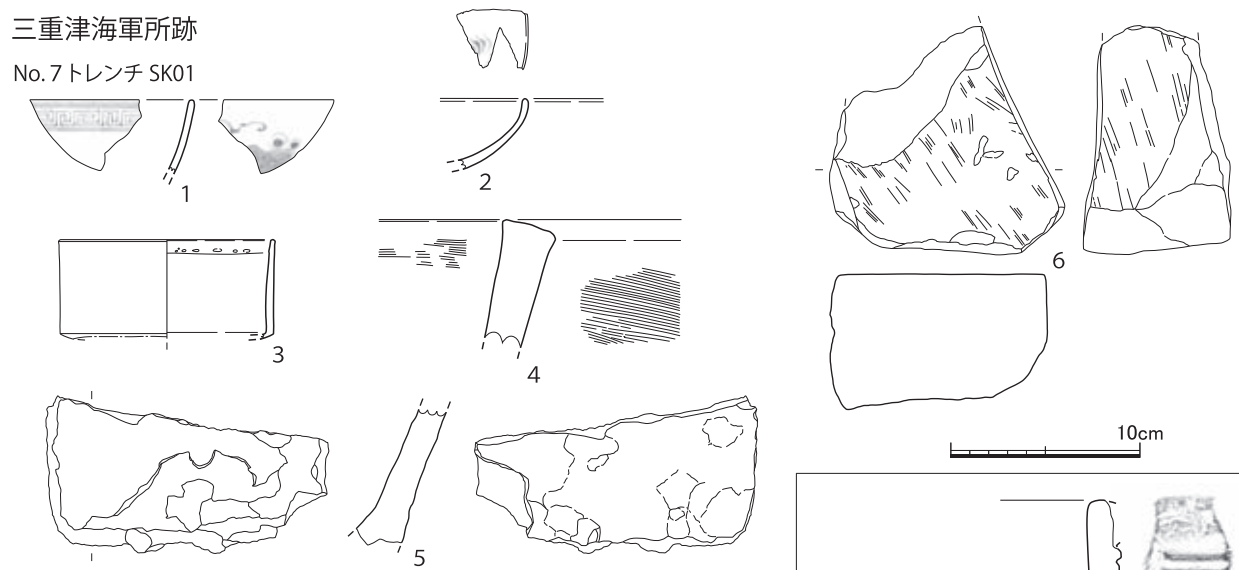
No. 5 トレンチ 遺構検出状況



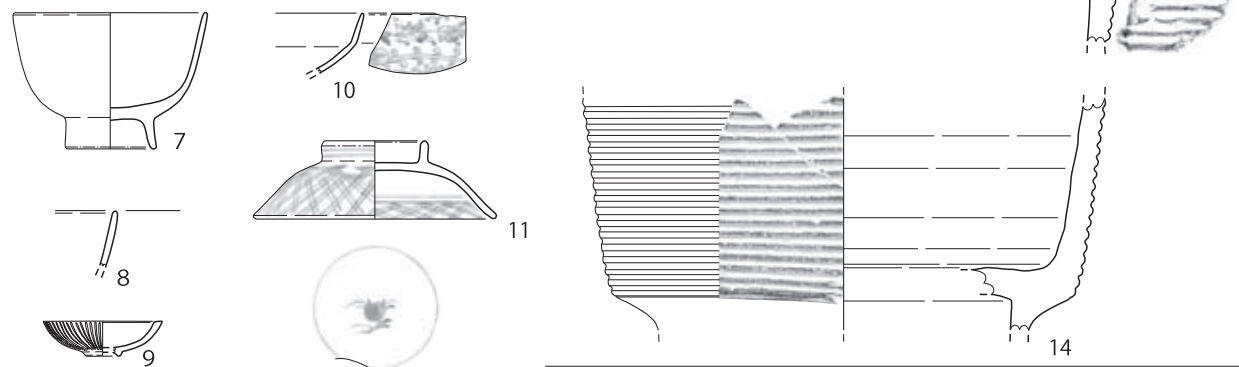
No. 6 トレンチ

三重津海軍所跡

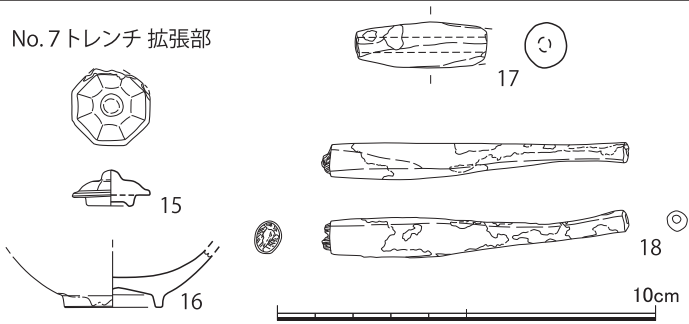
No.7トレンチ SK01



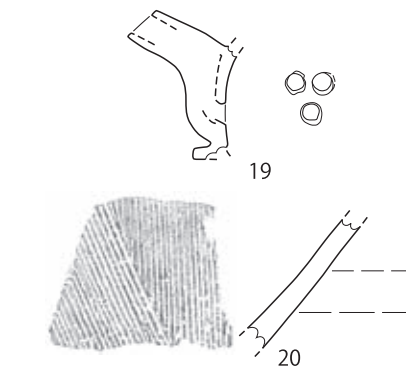
No.7トレンチ SK02



No.7トレンチ 拡張部



No.7トレンチ 中央サブトレンチ



No.8トレンチ

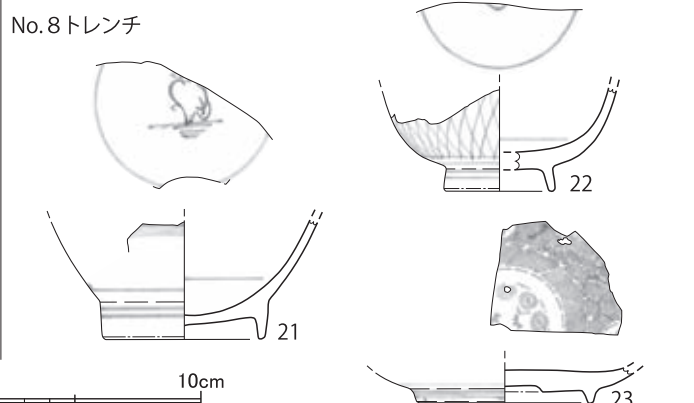
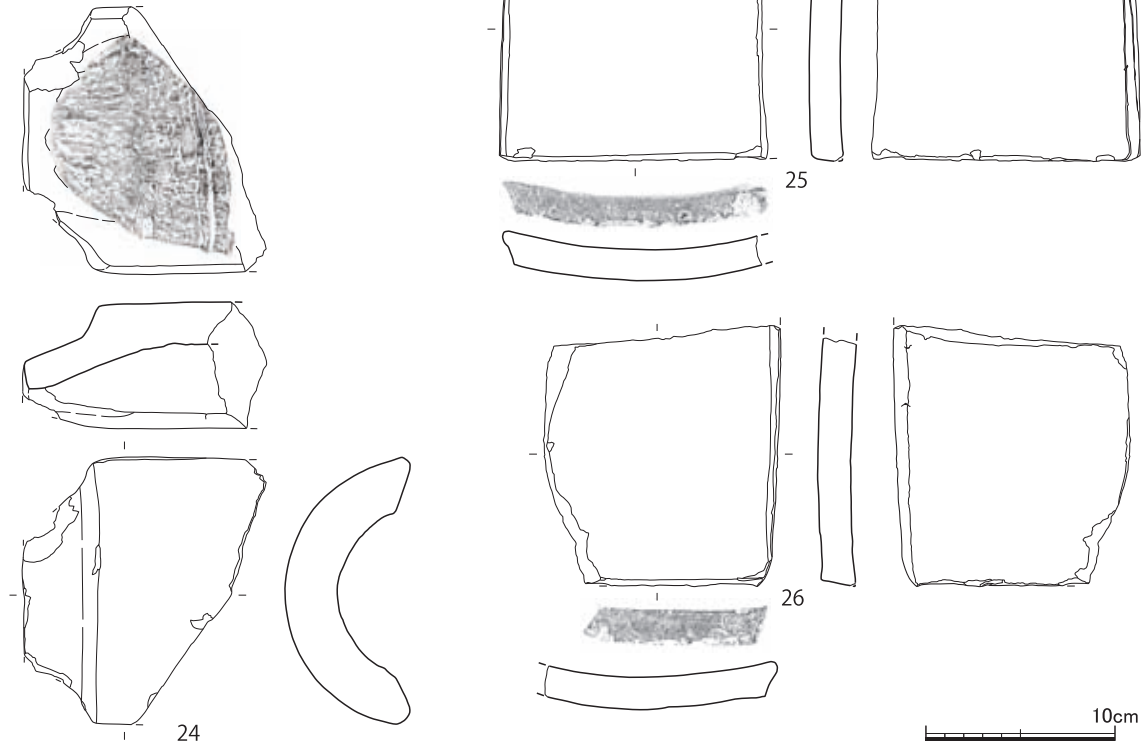


図 32 三重津海軍所跡・西寺井遺跡 出土遺物 1 (1/2、1/3、1/4)

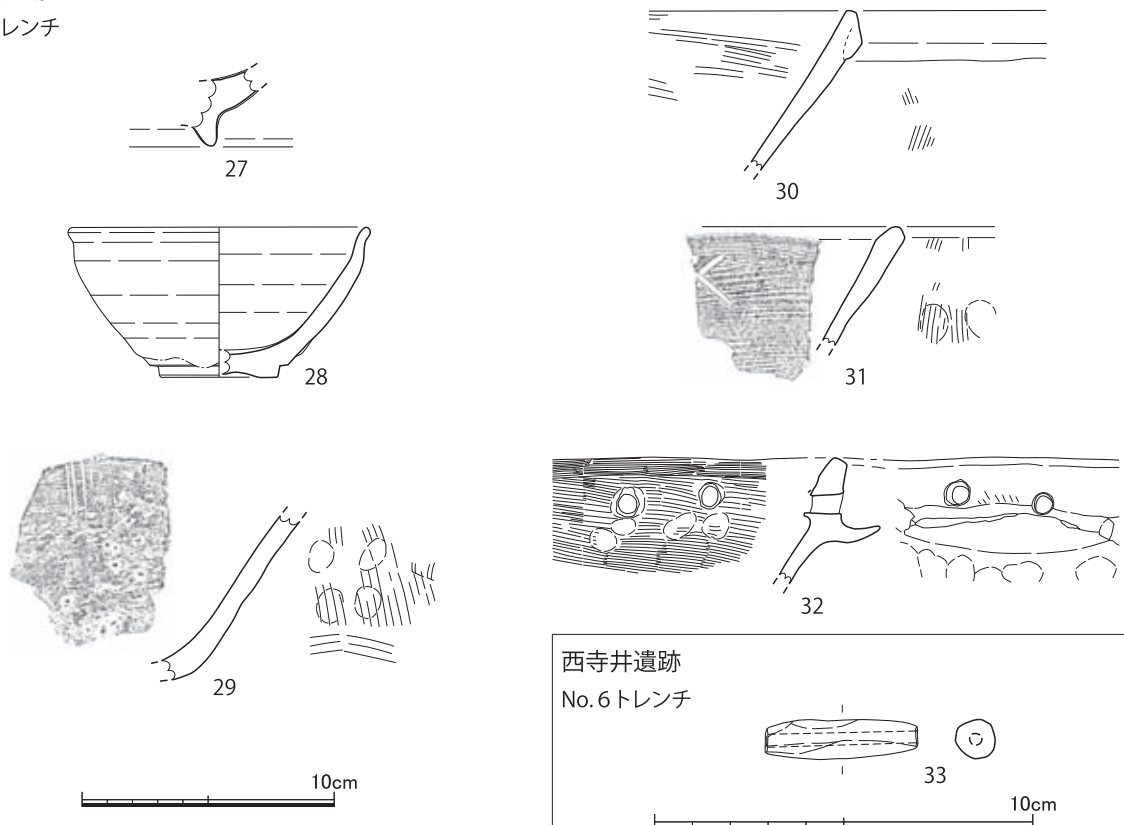
三重津海軍所跡

No.7トレンチ 中央サブトレンチ



西寺井遺跡

No.5トレンチ



西寺井遺跡

No.6トレンチ

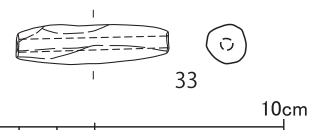


図 33 三重津海軍所跡・西寺井遺跡 出土遺物 2 (1/2、1/3、1/4)



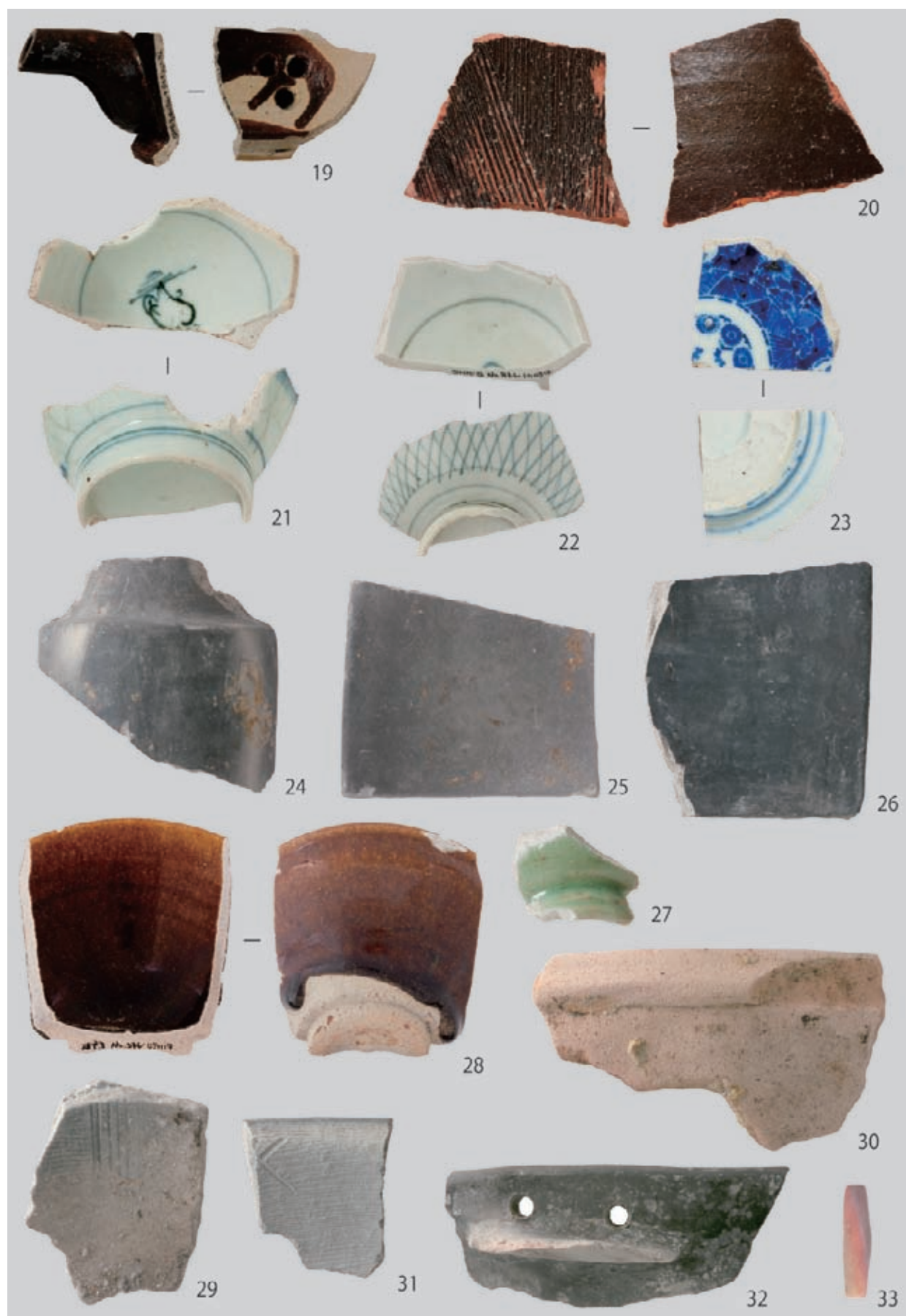


表4 三重津海軍所跡・西寺井遺跡 出土遺物 (寸法は cm、重量は g)

挿図番号	登録番号	トレンチ No.	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	長さ	幅	厚さ	重量	色調	備考
32-1	11002709	No.7 トレンチ	SK01	染付	碗	—	—	—	—	—	—	—	胎土：灰白 (N8.5) 釉：淡青 (3PB8/2)	—
32-2	11002717	No.7 トレンチ	SK01	色絵陶器	皿	—	—	—	—	—	—	—	胎土：黄白 (5Y9/1) 釉：淡赤黄 (2Y9/2)	—
32-3	11002706	No.7 トレンチ	SK01・SK02	陶器	蓋物カ	(8.6)	—	—	—	—	—	—	胎土：黄灰 (5Y7.5/1) 釉：明灰 (N7.5)	—
32-4	11002718	No.7 トレンチ	SK01	土師器	甕	—	—	—	—	—	—	—	にぶい・橙 (7.5YR7/4)	—
32-5	11002722	No.7 トレンチ	SK01	鉄製品	容器カ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
32-6	11002721	No.7 トレンチ	SK01	石製品	砥石	—	—	—	12.1	12.4	7.8	1,105	—	—
32-7	11002705	No.7 トレンチ	SK02	白磁	小碗	(7.7)	3.7	5.4	—	—	—	—	胎土：白 (N9.5) 釉：緑白 (3G9/1)	—
32-8	11002708	No.7 トレンチ	SK02	白磁	小杯カ	—	—	—	—	—	—	—	胎土：白 (N9.5) 釉：緑白 (3G9/1)	—
32-9	11002707	No.7 トレンチ	SK02	白磁	紅皿	(4.7)	(1.4)	1.4	—	—	—	—	胎土：白 (N9.5) 釉：灰白 (N8.5)	—
32-10	11002704	No.7 トレンチ	SK02	色絵磁器	皿	—	—	—	—	—	—	—	胎土：白 (N9.5) 釉：灰白 (N8.5)	—
32-11	11002703	No.7 トレンチ	SK02	染付	碗蓋	(9.7)	4.2	3.1	—	—	—	—	胎土：白 (N9.5) 釉：緑白 (3G9/1)	端反碗
32-12	11002702	No.7 トレンチ	SK02	染付	碗	—	—	—	—	—	—	—	胎土：白 (N9.5) 釉：緑白 (3G9/1)	端反碗
32-13	11002701	No.7 トレンチ	SK02	染付	皿	—	—	—	—	—	—	—	胎土：白 (N9.5) 釉：緑白 (3G9/1)	鍋島
32-14	11002723	No.7 トレンチ	SK02	土師器	火鉢	—	—	—	—	—	—	—	にぶい・橙 (10YR7/3)	—
32-15	11002713	No.7 トレンチ	拡張部	陶器	蓋	1.9	—	1.5	—	—	—	—	胎土：黄白 (5Y9/1) 釉：深緑 (3G4/8.5)	華南彩釉陶 (緑釉)
32-16	11002712	No.7 トレンチ	拡張部	陶器	碗	—	3.9	—	—	—	—	—	胎土：淡赤黄 (2Y9/2) 釉：淡赤黄 (2Y7.5/6)	—
32-17	11002728	No.7 トレンチ	拡張部	土製品	土錘	—	—	—	3.5	1.2	—	3.8	にぶい・橙 (5R7/4)	—
32-18	11002727	No.7 トレンチ	拡張部	銅製品	煙管吸口	—	—	—	7.9	1.1	—	9.0	—	木製軸一部遺存
32-19	11002710	No.7 トレンチ	中央サブトレンチ	陶器	土瓶	—	—	—	—	—	—	—	胎土：黄灰 (5Y7.5/1) 釉：暗灰褐 (8YR2.5/1.5)	—
32-20	11002711	No.7 トレンチ	中央サブトレンチ	陶器	播鉢	—	—	—	—	—	—	—	胎土：濃赤橙 (10YR5/11.5) 釉：暗灰褐 (8YR2.5/1.5)	—
32-21	11002714	No.8 トレンチ	造成層	染付	碗	—	6.4	—	—	—	—	—	胎土：黄白 (5Y9/1) 釉：深白 3G9/1)	広東碗
32-22	11002715	No.8 トレンチ	造成層	染付	碗	—	(4.4)	—	—	—	—	—	胎土：明灰 (N7.5) 釉：黄灰 (5Y7.5/1)	端反碗
32-23	11002716	No.8 トレンチ	造成層	染付	皿	—	(7.0)	—	—	—	—	—	胎土：白 (N9.5) 釉：白 (N9.5)	型紙摺
33-24	11002724	No.7 トレンチ	中央サブトレンチ	瓦	丸瓦	—	—	—	12.9	14.2	—	—	灰 (N7、N6)	—
33-25	11002725	No.7 トレンチ	中央サブトレンチ	瓦	平瓦	—	—	—	11.7	14.2	—	—	灰 (N7、N5)	—
33-26	11002726	No.7 トレンチ	中央サブトレンチ	瓦	平瓦	—	—	—	13.8	12.5	—	—	灰 (N6～N4)	—
33-27	11002719	No.5 トレンチ	—	青磁	碗	—	—	—	—	—	—	—	胎土：明灰 (N7.5) 釉：にぶい・緑 (3G5/5)	竜泉窯系
33-28	11002720	No.5 トレンチ	—	陶器	天目碗	(12.0)	(4.8)	5.9	—	—	—	—	胎土：明褐灰 (8YR7.5/1) 釉：明黄褐 (8YR3.5/6)	瀬戸美濃
33-29	11002732	No.5 トレンチ	—	瓦器	播鉢	—	—	—	—	—	—	—	外：黄灰 (2.5Y6/1～5/1) 内：にぶい・黄橙 (10YR7/2)	—
33-30	11002731	No.5 トレンチ	—	土師器	鍋	—	—	—	—	—	—	—	外：浅黄橙 (7.5YR8/3) 内：灰白 (10YR7/2)	—
33-31	11002730	No.5 トレンチ	—	瓦器	鍋	—	—	—	—	—	—	—	外：灰 (N6) 内：灰 (N7)	内面ヘラ記号
33-32	11002729	No.5 トレンチ	—	瓦器	鍋	—	—	—	—	—	—	—	外・内：黄灰 (2.5Y5/1) 内の一部：灰白 (2.5Y2/1)	—
33-33	11002733	No.6 トレンチ	—	土製品	土錘	—	—	—	4.1	1.1	—	3.2	浅黄橙 (10YR8/4) にぶい・橙 (2.5YR6/4)	—

(2) 小城市

① 佐賀福富道路 道免地区 (図 34 ～ 35、写真図版 25)

調査対象地所在地	小城市芦刈町道免地内
調査対象面積	900㎡ (調査面積 60㎡)
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財指導・世界遺産推進担当 細川金也 文化財指導・世界遺産推進担当 徳島崇
調査期間	平成 23 年 3 月 22 日～3 月 23 日

調査対象地区の立地

調査対象地区は、小城市の南部、標高約 1.5 ～ 2 m の沖積地に位置する。対象地を東西方向に走る旧国道 444 号線沿いに集落がみられるが、この集落以外の地点は、水田が広範囲に広がる。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

調査対象地区は周知の埋蔵文化財包蔵地ではないが、調査対象地東側にある福所江川右岸上流に鴨打氏永林寺館跡、鴨打氏宝泉寺城館跡、陣の森城跡、神代氏芦刈城跡、小路遺跡等の中世城館跡がやや密に分布する。

また、調査地対象地南側には、近世の潮受堤防である松土居が存在する。

調査方法

旧国道 444 号線を挟み、南北に調査地点を設定した。それぞれに 2 箇所ずつ、計 4 箇所のトレンチを設定し、掘り下げを実施した。

調査内容

(検出遺構)

検出しなかった。

(出土遺物)

出土しなかった。

所見・その他

調査地点にトレンチ計 4 箇所設定し、試掘を実施したが、明確な遺構・遺物は検出できなかった。宅地の下であった No. 1・3・4 トレンチでは、比較的硬質の灰白色粘質土を地山としている。畑地部分であった No. 2 トレンチの地山は、しまりのない灰色粘質土で、湧水も認められた。このため、旧宅地部分は、地盤のしっかりした地点を選択していることが分かった。

今回の調査では、調査地点が、宅地や駐車場造成の際に土地の改変を受けていることが判明した。また、遺構及び遺物が検出されなかったことから、当該地区周辺には遺跡の存在の可能性は低いものとみられる。ただし、調査地点北側や南側には、これまでの調査が及んでいない地区が存在することから、踏査または確認調査を実施する必要性がある。

調査後の取り扱い

支障なし。



図 34 有明海沿岸道路整備事業 佐賀福富道路 道免地区 位置 (1/25,000)

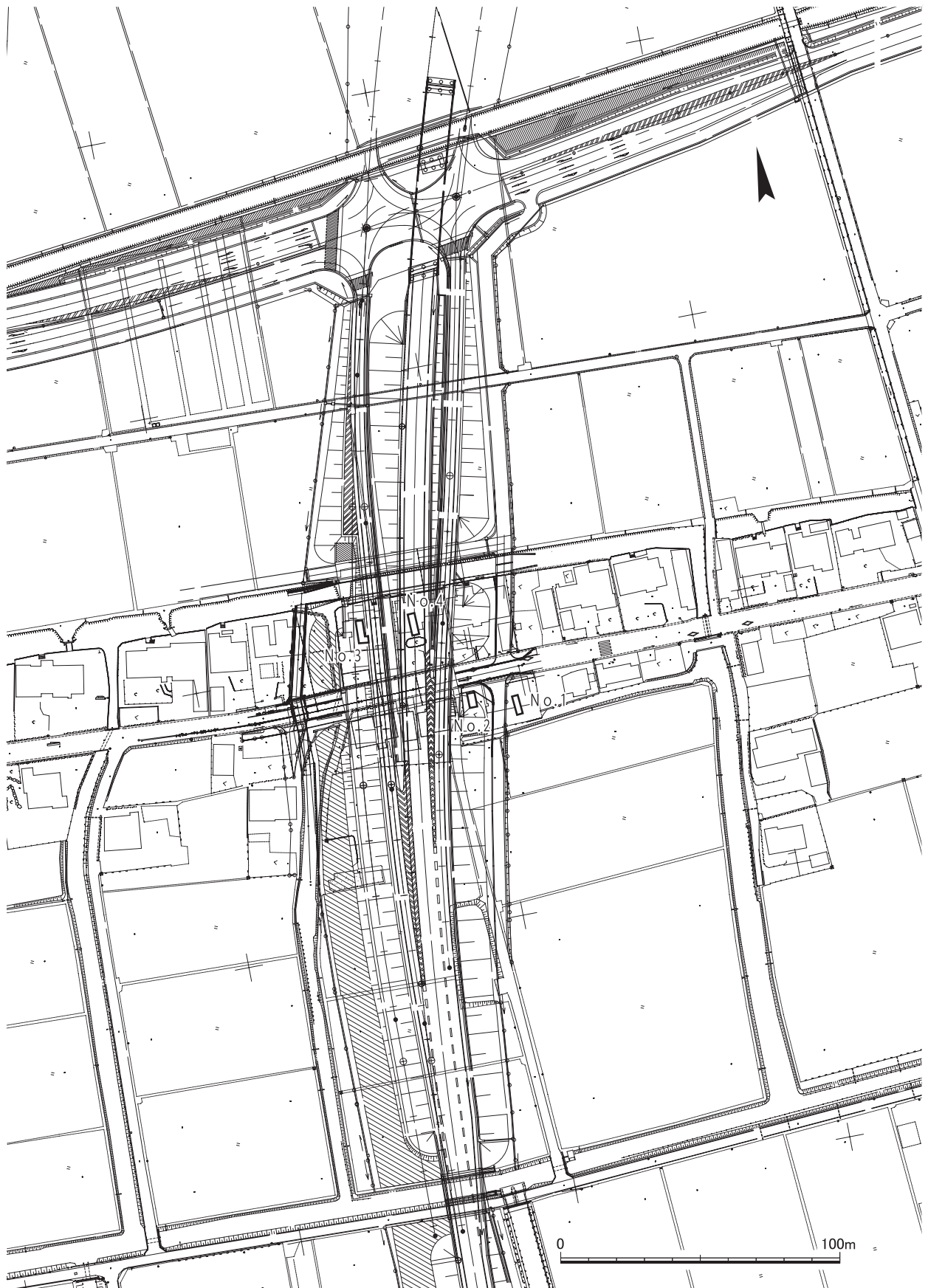


図 35 有明海沿岸道路整備事業 佐賀福富道路 道免地区 調査区 (1/2,000)



調査地現況



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 2 トレンチ土層



No. 3 トレンチ



No. 4 トレンチ



No. 4 トレンチ土層



作業状況

3) 九州新幹線西九州ルート建設事業に係る文化財確認調査

(1) 嬉野市

① 俵坂トンネル東工区 工事ヤード (図 36 ～ 37、写真図版 26)

調査対象地所在地	嬉野市嬉野町大字下野地内
調査対象面積	8,477㎡ (調査面積 37.86㎡)
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財指導・世界遺産推進担当 徳永貞紹
調査期間	平成 22 年 3 月 17 日

調査対象地区の立地

旧嬉野町の市街地が位置する嬉野盆地南東の縁辺部に位置し、標高 53 ～ 55 m の水田部を中心とする。前面には塩田川が北東に流れ、下宿川と共に嬉野盆地の谷底平野を作り出している。

対象地の現況は、丘陵寄りが一段高く塩田川寄りがやや低くなっているが、近年の土地区画整理事業により地形が改変されているため、旧状を反映しているかどうか不詳である。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

対象地は井手川内二本椎遺跡 (中世の散布地) に含まれている。周辺には縄文時代散布地の下宿一本杉遺跡や平野前遺跡、中世散布地の井手川内三本椎遺跡、中世城館跡の山王城跡や高築城跡、中世の嬉野城主墓地、中世寺院跡の極楽寺跡など、縄文時代の遺跡と中世の遺跡が分布しているが、調査事例が少ないため内容の明らかな遺跡がほとんどである。

調査方法

対象地区のうち、濁水処理設備や吹付プラント・骨材搬入ビン施設設置による掘削が予定されていた丘陵側に 4 箇所の試掘坑を設定し、掘削機 (バックホー) を用いて掘り下げた後、作業員による精査を行った。

調査内容

(検出遺構)

検出しなかった。

(出土遺物)

造成土中から近世～現代の遺物が若干量出土した。

所見・その他

いずれのトレンチでも近年の土地区画整理事業に伴う造成土が厚く堆積しており、造成土より下位には、区画整理以前の旧表土層や近現代の造成層、更にその下層では低湿地の様相をうかがわせる均質な粘土が堆積していた。

No. 1 トレンチでは粘土の下層に拳大～人頭大の礫を多く含む河川堆積物が確認された。

今回の対象地区においては、保存措置が必要な遺構や遺物包含層は確認されなかった。

調査後の取り扱い

支障なし。

98

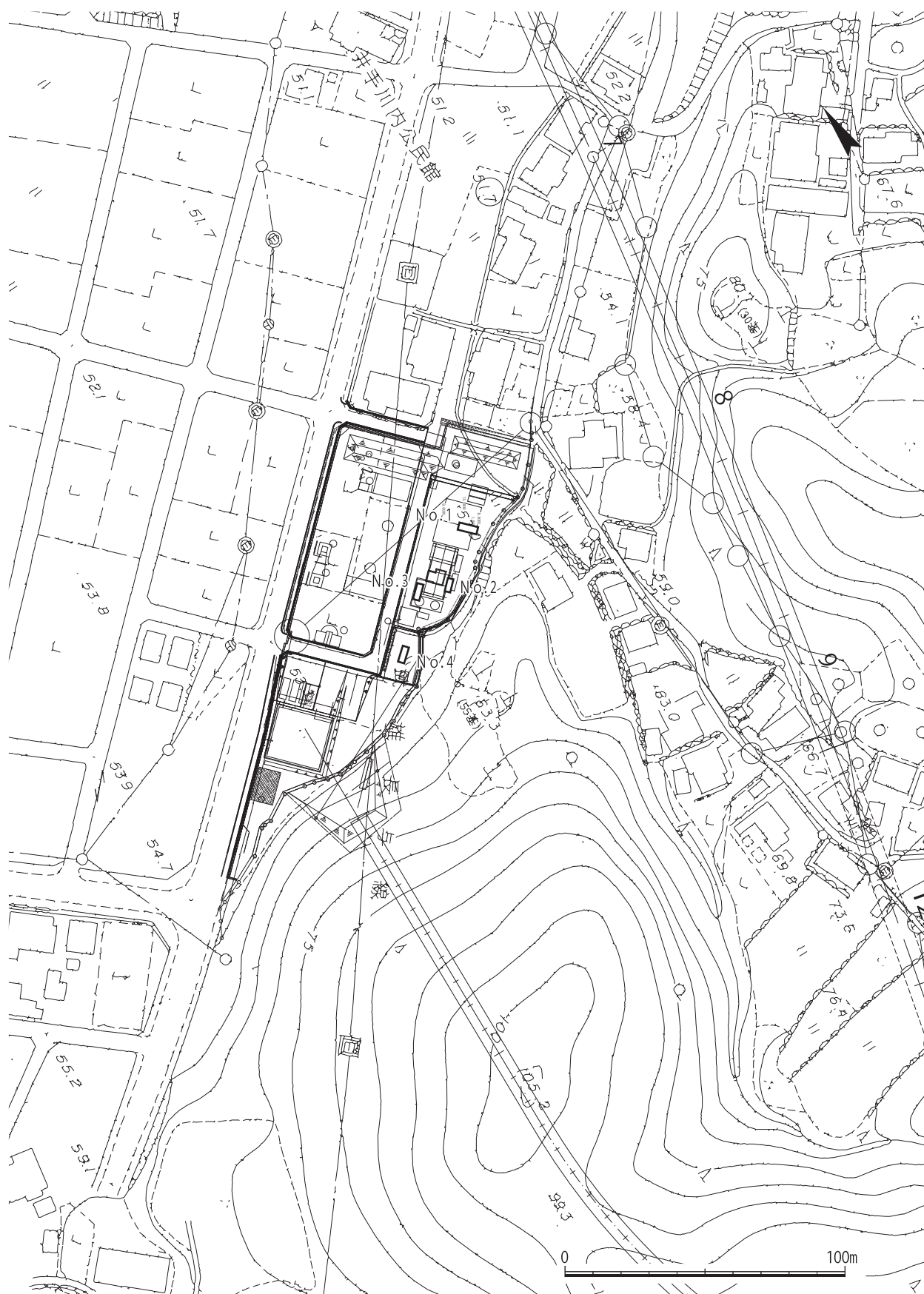


図 37 九州新幹線西九州ルート建設事業 俵坂トンネル東工区 工事ヤード 調査区 (1/2,000)



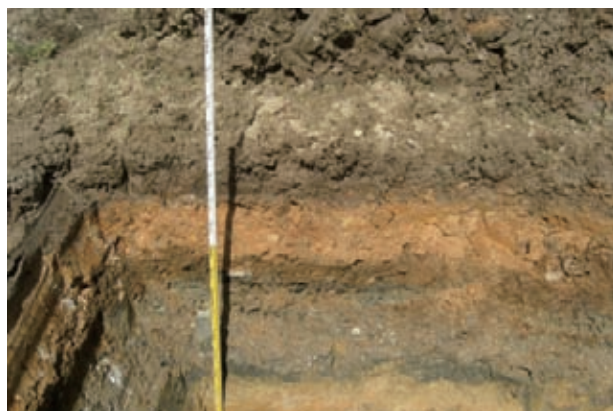
調査地現況



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 2 トレンチ土層



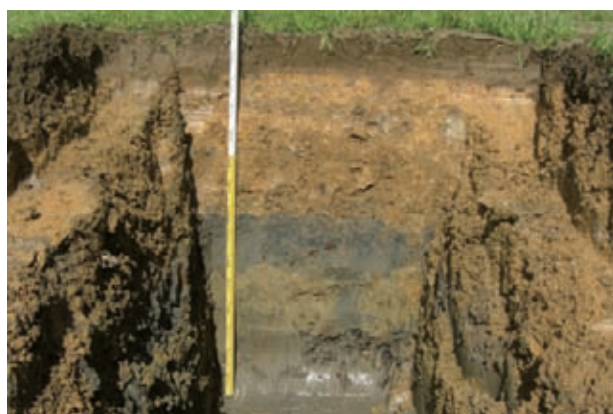
No. 3 トレンチ



No. 3 トレンチ土層



No. 4 トレンチ



No. 4 トレンチ土層

4) 那珂川総合開発事業に係る文化財確認調査

(1) 吉野ヶ里町

① 五ヶ山ダム建設事業 小川内地区 (図 38～39、写真図版 27)

調査対象地所在地	神埼郡吉野ヶ里町松隈地内
調査対象面積	1,800㎡ (調査面積 41㎡)
調査担当者	佐賀県教育庁 社会教育・文化財課 文化財指導・世界遺産推進担当 徳富則久 細川金也 徳島崇
調査期間	平成 22 年 12 月 14 日～12 月 21 日

調査対象地区の立地

調査対象地は、脊振山系東部、玄界灘に向かって流下する那珂川上流部の佐賀県と福岡県の県境地域に位置する。脊振山から九千部山方面に東に向かって延びる山地斜面を、那珂川水系による開析によって谷部が形成され、この谷部に向かって蛤岳から延びる丘陵の裾部に立地する。

周辺の遺跡及び遺跡の内容

この地区を西から東に向かって流れる那珂川上流部は佐賀県（旧肥前国）と福岡県（旧筑前国）の県境となっており、旧藩時代から両国が対峙する特異な地域となっていた。佐賀県側については、平成 17～19 年度に実施した五ヶ山ダム建設予定地の確認調査により旧小川内集落を中心に中世～近世の集落跡が、また旧小川内小学校周辺で近世の集落跡が確認されている。福岡県側については、大山祇神社旧境内と川を挟んで反対側の段丘状の旧東小川内集落を中心とした地域で中世～近世期の集落跡（東小川内遺跡）が調査されている。

なお、今回調査を行った大山祇神社旧境内には、昭和 31 年に佐賀県天然記念物に指定された小川内の杉が所在する。

調査方法

大山祇神社旧境内及び社殿跡地に計 4 箇所のトレンチを設定し、人力により掘削、遺跡の有無等を確認した。併せて、大山祇神社旧境内付近の石垣を清掃し、石垣形態の確認を行った。また、周辺の地形測量を委託により行った。

調査内容

（検出遺構）

平成 20 年 12 月に解体された神社社殿の礎石、大山祇神社の変遷を知ることができる土層等を確認したが、近世以前にさかのぼる遺構は検出しなかった。大山祇神社旧境内を形成する石垣については、近世にさかのぼる可能性があることが確認できた。

（出土遺物）

近現代に属する陶磁器等が出土したのみで、近世以前の遺物は出土しなかった。

所見・その他

現在残っている大山祇神社旧境内の地表面については、その東側を流れる谷部の防砂ダム工事の際にあわせて敷地造成も行われたものと思われ、トレンチの土層断面観察では以前の境内面が確認された。砂防ダムの建設時期は不明であるが、比較的近年のことと考えられる。

平成 20 年に解体された大山祇神社の社殿の本殿と拝殿の建立年代は、墨書板の記載から昭和 28 年である。その後、昭和 58 年に屋根の葺き替え修理が行われている。

大山祇神社は『佐賀県神社誌要』によれば、明治初年以前に存在したことは明らかであり、神社入り口に立っていた石造明神鳥居は、その銘文から文化 5 年（1808）11 月の建立とわかる。

社殿跡後背の斜面は、丘陵を切り取ったことがわかる地形であり、この斜面部には、それ以外の旧地形を残す斜

面部に比べて比較的大きな樹木が生えていないことなどから、現在残っている旧境内を造成する際に切り取った可能性が考えられる。その時期については不明であるが、トレンチから出土する遺物に昭和初年以前のもが見られないこと、今回確認された旧境内面にそれほど長期にわたる変遷が確認できないこと、社殿の礎石が乗っていた面は、切り土された造成面に直接乗っていて、それ以前の表土が観察できないこと等から見て、昭和 28 年に建立に際して大規模な造成工事が行われた可能性が考えられる。

今回の調査では、昭和初年以前の旧境内面を遺構として確認することはできなかった。

しかし、大山祇神社の旧境内を形成する前面と側面の石垣は、伝統的の石積み技術の要素が認められる一方で、ドリル等の工具が使用された石材の混入等といった近現代の補修痕が顕著でなく、近世にさかのぼる石垣である可能性が高いことが確認できた。

調査後の取り扱い

大山祇神社の社殿跡を含む現況の旧境内では近世以前の遺構・遺物は確認されなかったが、旧境内を形成する石垣については、近世にさかのぼることが考えられるものがあり、今後、専門家等の意見を聞いて精査の上、記録保存を行う必要がある。

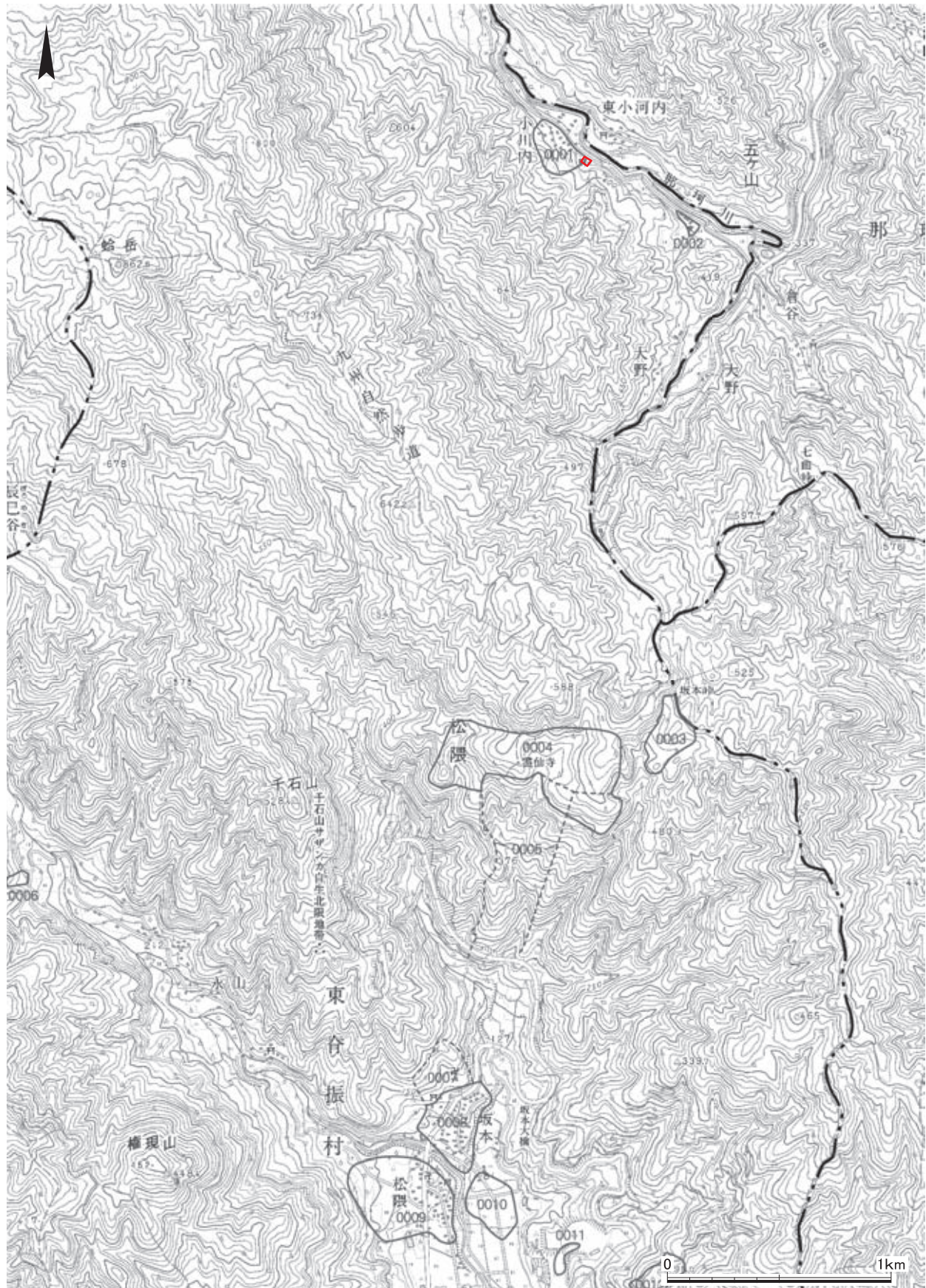


図 38 那珂川総合開発事業 五ヶ山ダム 小川内地区 位置 (1/25,000)



図 39 那珂川総合開発事業 五ヶ山ダム 小川内地区 調査区 (1/500)



調査地現況



調査地前面の石垣



No. 1 トレンチ



No. 2 トレンチ



No. 3 トレンチ



No. 3 トレンチ土層



No. 4 トレンチ



作業状況

Ⅲ まとめ

平成 21・22 年度に実施した確認調査の結果等については表 5・6 にまとめた。ここでは確認された遺構・遺物等を中心に時代ごとに総括しておく。

縄文時代の遺跡は、伊万里市打越遺跡の隣接地で縄文時代の黒曜岩製石器類を多く含む遺物包含層を確認し、打越遺跡の拡大として周知化した。打越遺跡については、平成 23 年度に記録保存のための発掘調査が佐賀県教育委員会により実施された。

弥生時代の遺跡は、佐賀市西山田天神遺跡で検出した大溝もしくは谷部の一部と思われる落ち込みの最下層部から弥生土器が出土した。西山田天神遺跡については、平成 21 年度に記録保存のための発掘調査が佐賀市教育委員会により実施された。

古墳時代の遺跡は、白石町坂田三本松遺跡の隣接地で布留系の土師器甕が出土したが、遺構に伴うものではなく、調査対象地区外に古墳時代前期の集落跡の存在が推定される。

古代の遺跡は、佐賀市西山田天神遺跡で集落跡の一部と思われる土坑・小穴・溝を検出し、平安時代の土師器が出土した。

中世の遺跡は、佐賀市の寺井津地区西側で中世後期から近世の集落跡と考えられる遺構・遺物を確認し、西寺井遺跡として周知化した。寺井津は、応安 6 年（1373）に肥前東部の攻防の中で薩摩樺山氏に「当陣合戦最中也、急速着船於肥前国寺井津、可被致戦功」との軍勢催促が出され（薩藩旧記 28 所収 南北朝遺文九州編 5－5033）、前年には大隅禰寝氏が「寺江之津」から酒見城（大川市）の救援に向かっており（禰寝文書 南北朝遺文九州編 5－5000）、下って天正 12 年（1584）の大友府蘭（義鎮）書状にも「薩衆肥後表へハ難取出候、又海上之行にて候ハ、肥前表てらいあたりニ可為着津候」と記される（大友文書 大日本史料 11－10）等、南北朝から戦国期にかけて交通・軍事上の要衝であったことがわかる。三重津海軍所跡の範囲でも華南彩釉陶が出土しており、一帯に中世遺跡の広がりが見定される。

近世の遺跡は、佐賀市三重津海軍所跡で幕末佐賀藩の海軍所もしくは先行する佐賀藩の施設に関わる遺構・遺物を確認した。三重津海軍所跡は、遺跡の重要性に鑑み、史跡指定を目指した範囲・内容確認のための調査が佐賀市教育委員会により進められており、今回の確認調査で関連する遺構の存在が明らかになった地区については、史跡としての価値を損ねることのないよう事業計画との調整を図っているところである。この他、伊万里市打越遺跡では、近世の絵図に描かれた集落の一部と考えられる遺構を検出し、吉野ヶ里町大山祇神社旧境内の調査では社殿の遺構としては近代以降のものしか遺存していなかったが、旧境内を形成する石垣については近世にさかのぼる可能性があるものも確認できた。

以上の農林業基盤整備事業、西九州自動車道建設事業、有明海沿岸道路整備事業、九州新幹線西九州ルート建設事業、五ヶ山ダム建設事業については、市町教育委員会の協力を得て、佐賀県教育委員会が事業主体となって確認調査等を実施した。

なお、国土交通省佐賀国道事務所所管の事業や佐賀県県土づくり本部の県道整備事業等については適宜、佐賀県教育委員会が事業計画と文化財保護との調整会議を主導し、その調整を図った。特に佐賀県県土づくり本部の土木所管の事業については、県内の各土木事務所単位で協議を行い、事業計画と文化財保護との調整を図った。その後、当該市町教育委員会が調査主体となって確認調査を行うなど埋蔵文化財の保護を行った。

最後に、これら佐賀県内の埋蔵文化財保護行政に際して、御協力をいただいた市町教育委員会や関係各位に厚くお礼を申し上げます。

表 5 平成 21 年度佐賀県内遺跡確認調査結果

【農林業基盤整備事業に伴う文化財確認調査】

地区	市町名	工事地区名	所在地	確認調査 対象面積 (㎡)	調査結果	担当者	備考
三神	みやき町	県営かんがい排水事業 三養基地区	三養基郡みやき町大字箕原地内	2,280	遺構・遺物は確認されなかった	岡 毅	若宮八幡神社遺跡
	佐賀市	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高城線(1)	佐賀市大和町大字川上地内 佐賀市大和町大字久留間地内	1,424	土坑、小穴、溝 弥生土器、平安時代の土師器	松本隆昌	東山田一本杉遺跡 西山田天神遺跡 今山西谷遺跡
佐城	佐賀市	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高城線(2)	佐賀市大和町大字川上地内 佐賀市大和町大字久留間地内	5,010	小穴(攪乱) 遺物は確認されなかった	松本隆昌	今山八幡籠遺跡 卯和尾遺跡 小隈五本松遺跡ほか
	白石町	県営地盤沈下対策事業 白石平野地区(1)	杵島郡白石町大字坂田地内	120	遺構は確認されなかった 古墳時代の土師器、青磁	渡部俊哉	未周知地区 坂田三本松遺跡近接
杵西	伊万里市	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 丸古場ほ場整備	伊万里市山代町福川内地内	30,000	遺構・遺物は確認されなかった	徳久幸江	未周知地区
	伊万里市	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 古子中部農道	伊万里市二里町中里乙地内	1,900	遺構は確認されなかった 黒曜岩の原石・剥片	徳久幸江	腰岳遺跡群
藤津	鹿島市	中山間地域総合整備事業 鹿島地区 大宮田尾地区ほ場整備	鹿島市大字音成地内	45,000	遺構・遺物は確認されなかった	江島賢一 広瀬正孝	未周知地区
	鹿島市	中山間地域総合整備事業 鹿島地区 一本松地区ほ場整備	鹿島市大字飯田地内	21,000	遺構・遺物は確認されなかった	江島賢一 広瀬正孝	未周知地区
	鹿島市	中山間地域総合整備事業 鹿島地区 本浦・善王寺地区ほ場整備	鹿島市大字飯田地内	71,000	遺構・遺物は確認されなかった	江島賢一 広瀬正孝	未周知地区

【その他公共事業に伴う文化財確認調査】

地区	市町名	工事地区名	所在地	確認調査 対象面積 (㎡)	調査結果	担当者	備考
西九州自動車道	伊万里市	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 原屋敷地区	伊万里市南波多町原屋敷地内	3,200	遺構は確認されなかった 黒曜岩	市川浩文	未周知地区 新久田城跡近接
西九州自動車道	伊万里市	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招下地区(1)	伊万里市南波多町府招下地内	5,000	遺構・遺物は確認されなかった	市川浩文	未周知地区 新屋敷遺跡近接
有明海沿岸道路	佐賀市	有明海沿岸道路整備事業 大川佐賀道路 为重地区	佐賀市諸富町大字为重地内	23,500	中世後期～近世の集落跡 近世後期～幕末期の佐賀藩御船 蔵・海軍所跡 陶磁器・土器・土製品・石製品・ 金属製品・瓦	細川金也 吉富清昭	西寺井遺跡(新規) 三重津海軍所跡
九州新幹線 西九州ルート	嬉野市	九州新幹線西九州ルート建設事業 俵坂トンネル東工区 工事ヤード	嬉野市嬉野町大字下野地内	8,477	遺構・遺物は確認されなかった	徳永貞紹	井手川内二本椎遺跡

表 6 平成 22 年度佐賀県内遺跡確認調査結果

【農林業基盤整備事業に伴う文化財確認調査】

地区	市町名	工事地区名	所在地	確認調査 対象面積 (㎡)	調査結果	担当者	備考
佐城 杵	佐賀市	筑後川下流農業水利事業 幹線水路佐賀西部高域線(3)	佐賀市大和町大字川上地内	5,291	遺構・遺物は確認されなかった	松本隆昌	未周知地区 小隈蔵骨器出土地近接
	白石町	県営地盤沈下対策事業 白石平野地区(2)	杵島郡白石町大字辺田地内	266	遺構は確認されなかった 中世の土師器・瓦質土器・青磁・瓦	渡部俊哉	辺田三本松遺跡
	伊万里市	中山間地域総合整備事業 伊万里西部地区 野添農業集落道	伊万里市二里町中里甲地内	377	遺構は確認されなかった 近世～近代の陶磁器	徳久幸江	未周知地区 早川遺跡近接

【その他公共事業に伴う文化財確認調査】

地区	市町名	工事地区名	所在地	確認調査 対象面積 (㎡)	調査結果	担当者	備考
西九州自動車道	伊万里市	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 重橋地区	伊万里市南波多町重橋地内	7,000	遺構・遺物は確認されなかった	市川浩文 徳島 崇	未周知地区 本城跡近接
西九州自動車道	伊万里市	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招下地区(2)	伊万里市南波多町府招下地内	6,500	遺構は確認されなかった 黒曜岩、近世の陶磁器	市川浩文	未周知地区 下万場遺跡近接
西九州自動車道	伊万里市	西九州自動車道建設事業 唐津伊万里道路 府招上地区	伊万里市南波多町府招上地内	9,000	遺構は確認されなかった 黒曜岩、近世の陶磁器	市川浩文 徳島 崇	未周知地区
西九州自動車道	伊万里市	西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 久原地区(1)	伊万里市山代町久原地内	4,000	縄文時代の遺物包含層 近世の集落跡 黒曜岩、近世の陶磁器・土師器・瓦	市川浩文 徳島 崇	打越遺跡(拡大)
西九州自動車道	伊万里市	西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 久原地区(2)	伊万里市山代町久原地内	3,600	小穴(時期不詳) 黒曜岩、近世～近代の陶磁器	市川浩文 徳島 崇	打越遺跡
西九州自動車道	伊万里市	西九州自動車道建設事業 伊万里松浦道路 立岩地区	伊万里市山代町立岩地内	6,000	遺構は確認されなかった 黒曜岩	市川浩文 徳島 崇	未周知地区 観音谷遺跡近接
有明海沿岸道路	小城市	有明海沿岸道路整備事業 佐賀福富道路 道免地区	小城市芦刈町道免地内	900	遺構・遺物は確認されなかった	細川金也 徳島 崇	未周知地区
五ヶ山ダム	吉野ヶ里町	那珂川総合開発事業 五ヶ山ダム 小川内地区	神埼郡吉野ヶ里町松隈地内	1,800	大山祇神社旧境内の石垣 近現代の陶磁器	徳富則久 細川金也 徳島 崇	小川内遺跡

報告書抄録

ふりがな	さがけんないせきかくにんちょうさほうこくしょ 29							
書名	佐賀県内遺跡確認調査報告書 29							
シリーズ名	佐賀県文化財調査報告書							
シリーズ番号	第 198 集							
編著者名	徳永貞紹・御厨廉平							
発行機関	佐賀県教育委員会							
所在地	〒 840-8570 佐賀市城内一丁目 1 番 59 号							
発行年月日	平成 24（西暦 2012）年 3 月 23 日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	° ' "	° ' "		ha	
のうりんぎょう き ばんせい い び じぎょう 農林業基盤整備事業 ち く ない い せき 地区内遺跡 た こうきょうじぎょう その他の公共事業 ち く ない い せき 地区内遺跡	さが けん ない 佐賀県内	-	-	-	-	20090401 ～ 20100331 20100401 ～ 20110331	約 987.45 約 792.60	農林業基盤整備事業等 その他の公共事業
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
農林業基盤整備事業 地区内遺跡 その他の公共事業 地区内遺跡	集落 海軍所	縄文～近世 近世		土坑・溝・小穴 土坑・溝・小穴		石器・土師器・陶磁器 土師器・瓦質土器・陶磁器 土製品・瓦・石製品 金属製品・鉄滓		幕末佐賀藩の海軍所跡

佐賀県文化財調査報告書第 198 集
佐賀県内遺跡確認調査報告書 29



平成 24（2012）年 3 月 23 日

発行 佐賀県教育委員会

〒 840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目 1 番 59 号

印刷 株式会社 三光

〒 848-0022 佐賀県伊万里市大坪町乙 4161 番地 1
